

令和 4 年度

教 育 要 覧



木津川市教育委員会



市章

「人」を組み合わせることで『木』を表し、木津川の清流をイメージしたブルーを基調に動きのあるラインで、「清潔感」と「躍動感」を示しています。

豊かな自然に育まれ、文化を創造し、市民すべての力で大きく飛躍発展する『木津川市』を表現しています。



市の木 桜

市内の各所でその美しい姿を見る能够する「桜」は、一般公募において、最も多くの応募をいただいた木です。

また、初春に誕生しました木津川市にとって、その時を待ちわびたように咲き誇る姿は、まさに木津川市の誕生を祝福すると共に、木津川市の華やかな未来を象徴するにふさわしい木であることから、「桜」を本市の木に制定しました。



市の花 コスモス

木津川市の各所で色様々に咲く「コスモス」は、一般公募において、最も多くの応募をいただいた花です。

また、それぞれに特色・魅力のある3町がひとつになり誕生した木津川市にとって、様々な色のコスモスが寄り添い、ひとつの壮大な景観を造る姿は、木津川市の多様性と調和に満ちた発展を象徴するにふさわしい花であることから、「コスモス」を本市の花に制定しました。

I 木津川市の概要

1 位置・面積等、歴史、展望、沿革

(1) 位置・面積等

位置 東経135度49分・北緯34度44分（市役所位置）

京都府の最南端に位置し、東は和束町、笠置町、西は精華町、北は井手町に接している。

面積 85.13平方キロメートル

人口 総数 79,609人 男 38,488人 女 41,121人（令和4年4月末日現在）

世帯数 32,423世帯（令和4年4月末日現在）

(2) 歴史

この地域では、古代から木津川が交通路として利用され、淀川を通り大和と瀬戸内を結ぶ航路の起点にあった。奈良時代になると、木津が平城京などの都城建設の木材の引揚げ港として栄え、「木津」という地名の由来となっている。天平12（西暦740）年12月には、聖武天皇が平城京から加茂町瓶原を中心とした恭仁京へ遷し、短命ではあったが、日本の首都となった。

また、古くから都と関連の深い地域として発展したこの地域は、近郊農業の地として発展する素地を築いた。

その後、奈良や京都、伊勢、伊賀を結ぶ街道の宿場町として発展するとともに、宇治茶やタケノコなどの主産地として名声を高め、優良な農業地域として栄えた。また、江戸時代には木津川の治水事業や農地の拡大などが進められ、集落が発展し、現在のまちの姿に近いものとなった。

明治時代になると木津川の水運としての役割は小さくなり、鉄道や道路の交通網の整備が進められた。また、茶の栽培や大都市近郊の立地条件を生かした近郊農業が盛んに行われた。

昭和26年に木津町と相楽村が合併し木津町に、加茂町、当尾村、瓶原村の3町村が合併し加茂町に、昭和31年に上狛町、棚倉村、高麗村の3町村が合併し山城町になった。

そして、平成19年3月12日、木津町・加茂町・山城町が合併し「木津川市」が誕生した。

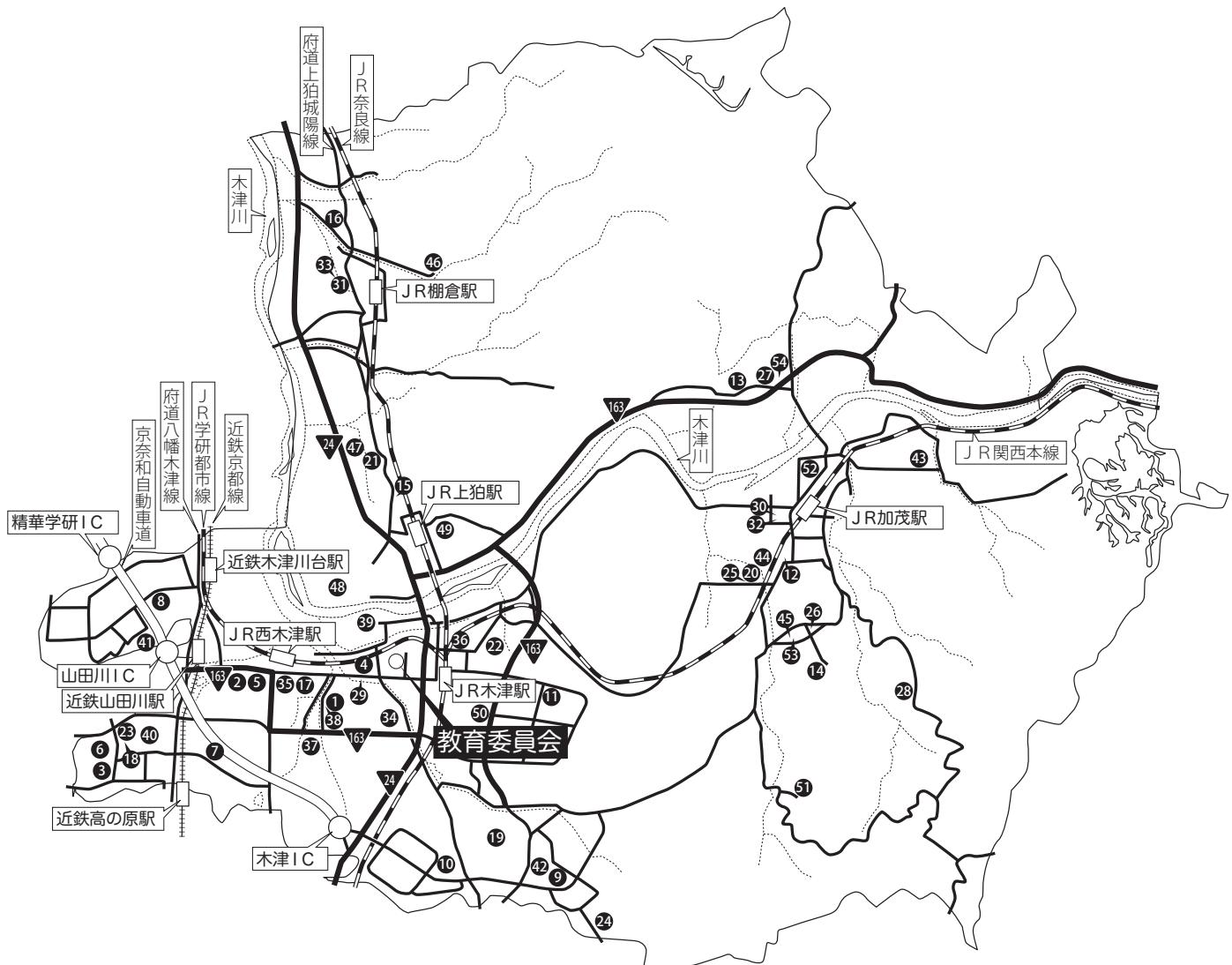
(3) 展望

最先端の科学技術を有する関西文化学術研究都市や、多くの国宝を始めとするロマン溢れる文化財、また、緑豊かな里山や農地、伝統など、先人から受け継がれてきた魅力ある資源を大切に守りながら、ひとが耀きともに創る豊かな未来をめざして、新しい魅力あふれる文化創造都市をつくりあげる。

(4) 沿革

| | |
|-------------|--|
| 平成19年 3月12日 | 木津川市誕生（木津町・加茂町・山城町合併による） 木津川市教育委員会発足（所在地：旧木津町教育委員会） |
| 4月 1日 | 州見台小学校開校 |
| 20年 9月 1日 | 教育委員会事務局、本庁に移転（市役所新庁舎完成に伴う） |
| 22年 4月 1日 | 加茂学校給食センター開所 |
| 5月 1日 | 加茂図書館、加茂支所に移転 |
| 5月21日 | 文化財整理保管センター分室開所 |
| 23年 4月 1日 | 木津南中学校開校 |
| 24年 3月31日 | 当尾小学校閉校 |
| 26年 3月31日 | 木津小学校鹿背山分校閉校 |
| 4月 1日 | 城山台小学校開校 |
| 28年 4月 1日 | 当尾の郷会館リニューアル |
| 29年 3月31日 | 当尾公民館、加茂プール廃止 |
| 30年 3月31日 | 加茂プラネタリウム館廃止、加茂青少年山の家運営停止 |
| 9月30日 | 木津川市民の奈良市立北部図書館の利用開始 |
| 31年 3月31日 | 移動図書館車「いづみ号」廃止 |
| | 市立幼稚園、小中学校全普通教室に空調設備を一斉導入 |
| 令和 2年 3月31日 | 加茂体育館、木津学校給食センター、山城学校給食センター廃止 |
| 4月 1日 | 木津川市立第一学校給食センター開所 木津川市立第二学校給食センターに名称変更 |

2 木津川市の要図



- | | | |
|-----------|----------------|--------------------------------|
| ① 木津幼稚園 | ②1 山城中学校 | ④1 木津川台公園 |
| ② 相楽幼稚園 | ②2 府立木津高等学校 | ④2 梅美台公園 |
| ③ 高の原幼稚園 | ②3 府立南陽高等学校 | ④3 加茂グラウンド |
| ④ 木津小学校 | ②4 第一学校給食センター | ④4 赤田川グラウンド |
| ⑤ 相楽小学校 | ②5 第二学校給食センター | ④5 塚穴公園 |
| ⑥ 高の原小学校 | ②6 南加茂台公民館 | ④6 不動川公園 |
| ⑦ 相楽台小学校 | ②7 瓶原公民館 | ④7 やすらぎタウン山城プール |
| ⑧ 木津川台小学校 | ②8 当尾の郷会館 | ④8 山城コミュニティ運動広場 |
| ⑨ 梅美台小学校 | ②9 中央図書館 | ④9 上狛駅東公園 |
| ⑩ 州見台小学校 | ②10 加茂図書館 | ⑤0 城址公園 |
| ⑪ 城山台小学校 | ②11 山城図書館 | ⑤1 加茂青少年山の家 |
| ⑫ 加茂小学校 | ②12 加茂文化センター | ⑤2 加茂青少年センター |
| ⑬ 恭仁小学校 | ②13 山城総合文化センター | ⑤3 文化財整理保管センター |
| ⑭ 南加茂台小学校 | ②14 中央交流会館 | ⑤4 文化財整理保管センター分室 (くにのみや学習館) |
| ⑮ 上狛小学校 | ②15 西部交流会館 | |
| ⑯ 棚倉小学校 | ②16 東部交流会館 | |
| ⑰ 木津中学校 | ②17 中央体育館 | |
| ⑱ 木津第二中学校 | ②18 市民スポーツセンター | |
| ⑲ 木津南中学校 | ②19 木津グラウンド | |
| ⑳ 泉川中学校 | ②20 兜谷公園 | |

3 各委員等一覧

(1) 教育長及び教育委員 (令和4年4月1日現在)

| 職名 | 氏名 |
|----------|-------|
| 教育長 | 森永重治 |
| 教育長職務代理者 | 有賀やよい |
| 委員 | 小松信夫 |
| 〃 | 高橋史代 |
| 〃 | 佐脇貞憲 |

(2) 社会教育委員 (令和4年4月1日現在)

| 職名 | 氏名 |
|------|-------|
| 委員長 | 高原和子 |
| 副委員長 | 木村勝 |
| 副委員長 | 三上かず子 |
| 委員 | 岡田敏 |
| 〃 | 花田康子 |
| 〃 | 井上若菜 |
| 〃 | 三谷博之 |
| 〃 | 渡邊素子 |
| 〃 | 橋本京子 |
| 〃 | 藤澤正典 |
| 〃 | 今井清美 |
| 〃 | 石田康二 |
| 〃 | 芝原昌代 |
| 〃 | 竹花裕子 |

(3) スポーツ推進委員

(令和4年4月1日現在)

| 職名 | 氏名 | 専門種目 | 職名 | 氏名 | 専門種目 |
|------|------|---------------------|----|------|-----------|
| 委員長 | 木村勝 | ソフトボール、野球、バドミントン | 委員 | 石崎完治 | ソフトバレーボール |
| 副委員長 | 石本将隆 | 全般 | 〃 | 豊田明子 | ソフトバレーボール |
| 副委員長 | 大倉竹次 | バレーボール、ソフトバレーボール | 〃 | 西谷睦美 | 卓球 |
| 委員 | 尾崎田鶴 | レクリエーション、野外活動 | 〃 | 小尾典彦 | 野球 |
| 〃 | 光橋通信 | 野球、スキー | 〃 | 小西良彦 | ソフトバレーボール |
| 〃 | 杉田賢知 | 野球、陸上 | 〃 | 大西崇弘 | ラグビー |
| 〃 | 徳山昌伸 | サッカー、野球、陸上 | 〃 | 福嶋陽介 | ニュースポーツ |
| 〃 | 宮川慶子 | 水泳、バレーボール、ソフトバレーボール | 〃 | 戸嶋良太 | ラグビー |
| 〃 | 松原稔 | 野球、剣道 | 〃 | 原田健司 | フットサル |
| 〃 | 永野彰 | 全般 | 〃 | 山崎健一 | サッカー |
| 〃 | 森川恭美 | ソフトバレーボール、ソフトボール | 〃 | 横井芳正 | バレーボール |
| 〃 | 早川幸子 | ソフトボール、ソフトバレーボール | 〃 | 上原忍 | ソフトボール |

(4) 文化財保護審議員

(令和4年5月1日現在)

| 職名 | 氏名 | 職名 | 氏名 |
|-----|------|-----|------|
| 会長 | 伊東史朗 | 審議員 | 三浦孝啓 |
| 副会長 | 源城政好 | 〃 | 淺田兼弘 |
| 審議員 | 増井正哉 | 〃 | 福本桂子 |
| 〃 | 宗田好史 | 〃 | 辻合久美 |
| 〃 | 岩井照芳 | | |

(5) 木津川市歴史文化基本構想策定委員

(令和4年5月1日現在)

| 職名 | 氏名 | 職名 | 氏名 |
|------|-------|----|------|
| 委員長 | 白石太一郎 | 委員 | 川口直康 |
| 副委員長 | 増井正哉 | 〃 | 辰馬佳司 |
| 委員 | 伊東史朗 | 〃 | 福本桂子 |
| 〃 | 源城政好 | 〃 | 森正 |

(6)第一学校給食センター運営委員

(令和4年7月1日現在)

| 職名 | 氏名 | 職名 | 氏名 |
|-----------------------|---------|-----------------------|-------------|
| 教 育 委 員 | 有 賀 やよい | 木津川台小学校校長 | 田 中 成 一 |
| 教 育 委 員 | 小 松 信 夫 | 〃 P T A 会長 | 田 川 恵里菜 |
| 木 津 中 学 校 校 長 | 加 藤 努 | 城 山 台 小 学 校 校 長 | 竹 花 裕 子 |
| 〃 P T A 副 会 長 | 毛 利 智 子 | 〃 P T A 文 化 保 体 委 員 長 | 杉 浦 友 治 |
| 木 津 第 二 中 学 校 校 長 | 松 原 稔 | 梅 美 台 小 学 校 校 長 | 中 嶋 清 衡 |
| 〃 P T A 会 計 | 亀 井 芽 依 | 〃 P T A 副 会 長 | 砂 津 香 織 |
| 山 城 中 学 校 校 長 | 山 下 智 義 | 上 猶 小 学 校 校 長 | 古 川 覚 |
| 〃 P T A 会 計 | 谷 川 みのり | 〃 P T A 副 会 長 | 伊 達 初 美 |
| 木 津 小 学 校 校 長 | 遠 藤 順 子 | 棚 倉 小 学 校 校 長 | 高 橋 真 弓 |
| 〃 P T A 福 祉 厚 生 委 員 長 | 高 地 尚 子 | 〃 P T A 庶 務 | 中 谷 梨 佳 |
| 相 楽 小 学 校 校 長 | 中 川 翳 郎 | 木 津 幼 稚 園 園 長 | 川 崎 由 記 子 |
| 〃 P T A 会 計 | 山 下 智 子 | 〃 P T A 副 会 長 | 坂 本 由 梨 |
| 高 の 原 小 学 校 校 長 | 島 本 秀 美 | 相 楽 幼 稚 園 園 長 | 谷 原 美 紀 |
| 〃 P T A 副 会 長 | 浦 涼 子 | 〃 P T A 副 会 長 | 山 田 梓 |
| 相 楽 台 小 学 校 校 長 | 谷 本 和 子 | 高 の 原 幼 稚 園 園 長 | 井 ノ 上 恵 己 子 |
| 〃 学 級 委 員 | 細 井 知 代 | 〃 P T A 会 長 | 上 島 由 |

(7)第二学校給食センター運営委員

(令和4年7月1日現在)

| 職名 | 氏名 | 職名 | 氏名 |
|---------------------|-----------|-----------------------|---------|
| 教 育 委 員 | 高 橋 史 代 | 加 茂 小 学 校 校 長 | 久 保 嘉 章 |
| 教 育 委 員 | 佐 脇 貞 憲 | 〃 P T A 書 記 | 加 藤 さをり |
| 泉 川 中 学 校 校 長 | 太 田 智 之 | 恭 仁 小 学 校 校 長 | 市 橋 純 子 |
| 〃 P T A 会 計・体 育 委 員 | 波 田 忍 | 〃 P T A 庶 務 | 泉 監 余 子 |
| 木 津 南 中 学 校 校 長 | 乾 隆 志 | 南 加 茂 台 小 学 校 校 長 | 高 橋 敬 子 |
| 〃 P T A 会 計 | 岡 本 由 香 里 | 〃 P T A 保 健 体 育 委 員 長 | 佐 合 裕 子 |
| 州 見 台 小 学 校 校 長 | 志 賀 徹 | | |
| 〃 P T A 副 会 長 | 坂 口 智 夏 | | |

(8)教育支援委員会

(令和4年4月1日現在)

| 職名 | 氏名 | 所 属 |
|-----------------|---------|-----------------|
| 会 長 | 谷 本 和 子 | 相 楽 台 小 学 校 |
| 副 会 長 | 高 橋 敬 子 | 南 加 茂 台 小 学 校 |
| 〃 | 高 橋 真 弓 | 棚 倉 小 学 校 |
| 〃 | 亀 井 明 美 | 相 楽 保 育 園 |
| 庶 務 | 岡 本 郁 巳 | 泉 川 中 学 校 |
| 庶 務・会 計 | 黒 田 涼 子 | 州 見 台 小 学 校 |
| 就 学 相 談 検 討 委 員 | 新 谷 恭 司 | 通 級 指 導 教 室 |
| 事 務 局・会 計 | 平 井 浩 美 | 学 校 教 育 課 長 |
| 事 務 局・庶 務 | 大 谷 和 久 | 学 校 教 育 指 導 主 事 |

(9)学校(園)評議員一覧

(令和4年6月1日現在)

| 学校(園)名 | 氏名 | 学校(園)名 | 氏名 |
|---------|----------------------|---------|------------------------------|
| 木津小学校 | 山口珠代 光橋通信 伊藤初男 | 棚倉小学校 | 中西豊光 藤田恵美 尾崎吉博 大西晴己 |
| 相楽小学校 | 和田稔 保田美千代 武田義明 | 木津中学校 | 角山稔樹 塚田高司 濱野陽子 |
| 高の原小学校 | 鶴田美幸 田中良典 林英雄 | 木津第二中学校 | 村田正博 鶴田美幸 柳ヶ瀬弘宣 |
| 相楽台小学校 | 辻本久美 岡田敏 中岡暉喜 | 木津南中学校 | 渡部一夫 駒好修 田中久善 村田紀美子 |
| 木津川台小学校 | 横谷富士男 福島祥子 | 泉州中学校 | 濱喜代巳 森好美 佐伯功 大西清司 |
| 梅美台小学校 | 森田省三 森田美佳 藤井千賀 | 山城中学校 | 木村勝 高井啓介 喜多一美 |
| 州見台小学校 | 駒好修 繩田恵里 中島光枝子 | 木津幼稚園 | 奈良宏子 駒正美 |
| 加茂小学校 | 柳原洋子 坂本利正 | 相楽幼稚園 | 明平正覺 山畑節子 |
| 恭仁小学校 | 石崎光二 村井由美子 | 高の原幼稚園 | 林英雄 牧井富子 |
| 南加茂台小学校 | 佐伯功 大西清司 高原和子 | | |

(10)学校運営協議会

(令和4年4月1日現在)

【城山台小学校】

| 職名 | 氏名 | 職名 | 氏名 |
|------|-------|------|------|
| 1号委員 | 井上道治 | 3号委員 | 松本藍 |
| 2号委員 | 大槻和也 | 〃 | 田中幹男 |
| 〃 | 山口あゆみ | 〃 | 芝原昌代 |
| 〃 | 皆川麻紀 | 〃 | 三浦陽子 |
| 3号委員 | 三上かず子 | 4号委員 | 竹花裕子 |

【上狛小学校】

| 職名 | 氏名 | 職名 | 氏名 |
|------|------|------|-------|
| 1号委員 | 大井健司 | 3号委員 | 安井千鶴子 |
| 2号委員 | 佐藤真希 | 〃 | 小嶋秀規 |
| 3号委員 | 喜多一美 | 〃 | 西井敦子 |
| 〃 | 玉井啓介 | 4号委員 | 古川覚 |

(11)市立小学校及び中学校の在り方検討委員会 (令和4年7月22日現在)

| 職名 | 氏名 | 職名 | 氏名 |
|------|------|------|------|
| 委員長 | 榎原禎宏 | 3号委員 | 和田妙子 |
| 1号委員 | 湯藤定宗 | 4号委員 | 松下恭弘 |
| 2号委員 | 中川嗣郎 | 〃 | 行衛満 |
| 〃 | 島本秀美 | 〃 | 坂寄正男 |
| 〃 | 山下智義 | 5号委員 | 福本桂子 |
| 3号委員 | 吉村咲子 | 〃 | 高井啓介 |
| 〃 | 坂口智夏 | 6号委員 | 渡部基信 |

(12)幼・小・中学校(園)長会

(令和4年4月1日現在)

| 職名 | 氏名 | 所属 |
|---------------|-------|---------|
| 校園長会 | 会長 | 山下智義 |
| | 副会長 | 市橋純子 |
| | 副会長 | 乾隆志 |
| | 副会長 | 川崎由記子 |
| | 庶務 | 志賀徹 |
| | 会計 | 高橋眞弓 |
| 人権教育研究会長 | 太田智之 | 泉川中学校 |
| 教育支援委員会長 | 谷本和子 | 相楽台小学校 |
| 小学校体育連盟会長 | 古川覚 | 上狛小学校 |
| 社会科副読本編集委員会 | 古川覚 | 上狛小学校 |
| PTA連絡協議会 | 乾隆志 | 木津南中学校 |
| 不登校対策連絡協議会 | 松原稔 | 木津第二中学校 |
| 道徳教育研究会 | 竹花裕子 | 城山台小学校 |
| 小中連携推進委員会 | 乾隆志 | 木津南中学校 |
| 教務主任会担当 | 太田智之 | 泉川中学校 |
| | 中嶋清衡 | 梅美台小学校 |
| 学校(園)保健会連絡協議会 | 高橋眞弓 | 棚倉小学校 |
| | 川崎由記子 | 木津幼稚園 |
| 青少年育成委員会 | 松原稔 | 木津第二中学校 |
| | 中川嗣郎 | 相楽小学校 |
| 教育研究会 | 市橋純子 | 恭仁小学校 |
| 国際交流協会 | 久保嘉章 | 加茂小学校 |
| 男女共同参画審議会 | 志賀徹 | 州見台小学校 |
| 共同学校事務室推進協議会 | 島本秀美 | 高の原小学校 |
| | 加藤努 | 木津中学校 |
| 特別支援教育推進委員会 | 高橋敬子 | 南加茂台小学校 |

| | | |
|-----------------------------------|-------|---------|
| 「科学のまちの子どもたち」を育てる 木津川市立学校教員研究会 | 加藤 努 | 木津中学校 |
| | 竹花 裕子 | 城山台小学校 |
| 情報教育研究会 | 田中成一 | 木津川台小学校 |
| | 乾 隆志 | 木津南中学校 |
| 木津川市教育振興基本計画推進委員会 | 遠藤 順子 | 木津小学校 |
| | 高橋 真弓 | 棚倉小学校 |
| | 太田 智之 | 泉川中学校 |
| | 松原 稔 | 木津第二中学校 |
| いじめ防止等対策委員会 | 加藤 努 | 木津中学校 |
| | 中嶋 清衡 | 梅美台小学校 |

(13)歴代教育委員

| 氏名 | 就任年月日 | 退任年月日 | 備考 |
|-------|------------|------------|-------|
| 杉本清重 | 平成19年3月12日 | 平成27年5月10日 | 任期4年※ |
| 藤井昇 | 平成19年3月12日 | 平成19年5月10日 | |
| 山本欽一 | 平成19年3月12日 | 平成22年5月10日 | 任期3年※ |
| 原俊一 | 平成19年3月12日 | 平成21年5月10日 | 任期2年※ |
| 久保三左男 | 平成19年3月12日 | 平成23年5月10日 | 任期4年※ |
| 有賀やよい | 平成19年5月11日 | 平成20年5月10日 | 任期1年※ |
| 西井敦子 | 平成20年5月11日 | 平成24年5月10日 | |
| 有賀やよい | 平成21年5月11日 | 現在に至る | |
| 小松信夫 | 平成22年5月11日 | 現在に至る | |
| 森永重治 | 平成23年5月13日 | 平成27年5月12日 | |
| 高橋史代 | 平成24年5月11日 | 現在に至る | |
| 佐脇貞憲 | 平成27年5月14日 | 現在に至る | |

※合併後、最初に任命される委員の任期(平成19年3月12日～5月10日は暫定委員)

(14)歴代教育委員長

| 氏名 | 就任年月日 | 退任年月日 | 備考 |
|------|------------|------------|----|
| 杉本清重 | 平成19年3月12日 | 平成27年5月10日 | |

(15)歴代教育長

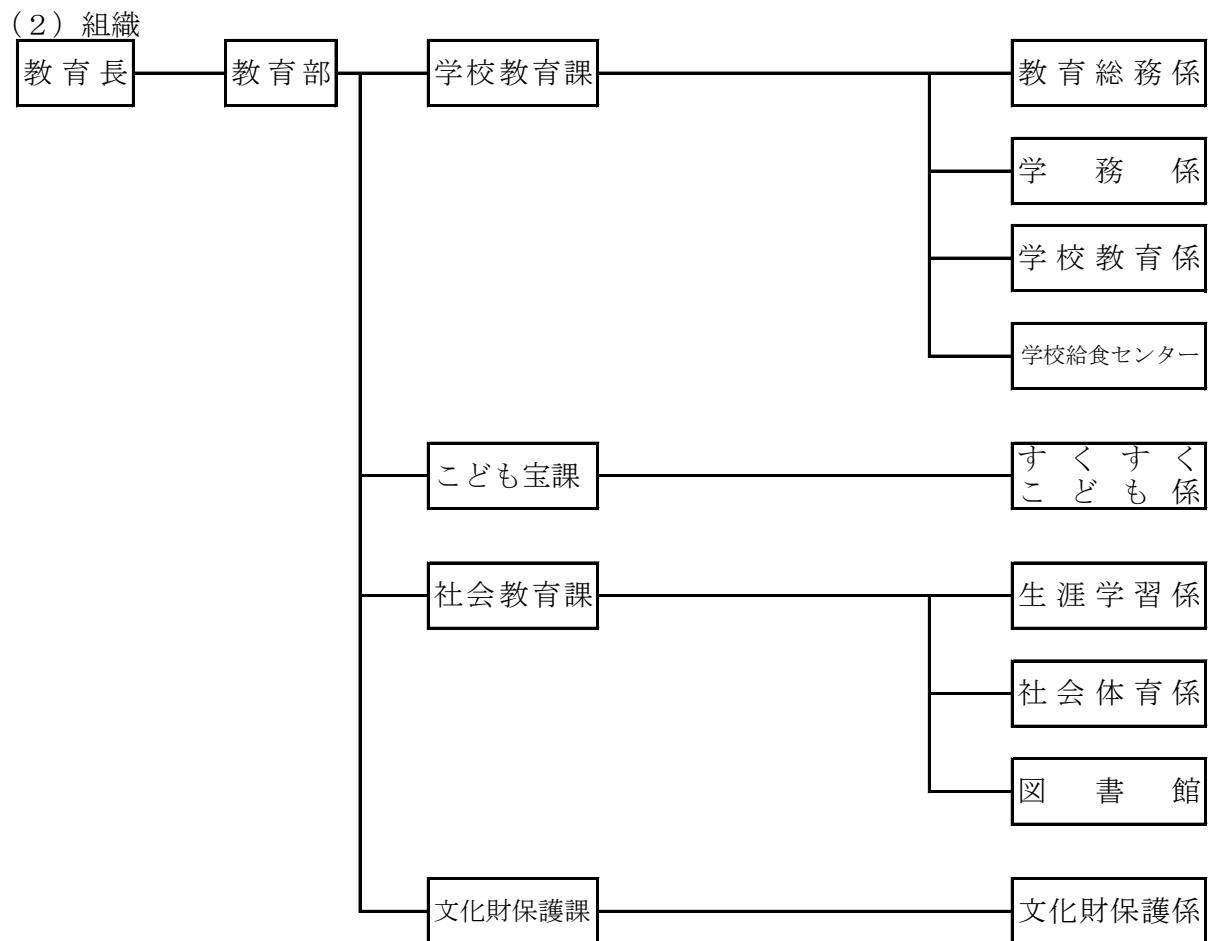
| 氏名 | 就任年月日 | 退任年月日 | 備考 |
|-------|------------|------------|----|
| 久保三左男 | 平成19年3月12日 | 平成23年5月10日 | |
| 森永重治 | 平成23年5月13日 | 平成27年5月12日 | |

※地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正により、木津川市では、平成27年5月13日より教育委員会体制が変更となり、教育長と教育委員長が一本化された「新教育長」体制に移行

| 氏名 | 就任年月日 | 退任年月日 | 備考 |
|------|------------|-------|----|
| 森永重治 | 平成27年5月14日 | 現在に至る | |

4 教育委員会事務局

(1) 所在地 京都府木津川市木津南垣外110番地9
郵便番号 619-0286
電話 (0774) 72-0501 (代)
学校教育課 (0774) 75-1230 (直通)
こども宝課 (0774) 75-1212 (直通)
社会教育課 (0774) 75-1233 (直通)
文化財保護課 (0774) 75-1232 (直通)
F A X (0774) 73-2566 (0774) 75-2083



(3)職員配置(令和4年4月1日現在)

教育長 1名
教育部長 1名
教育部理事 2名
教育部次長 1名

| 課名等 | 課長 | 課長補佐 | 係名等 | 係長 | 係員 |
|--------------|---------------------|------|------------|-----|------------------------------|
| 学校教育課 | 課長1 担当課長2 主幹2 | 5 | 教育総務係 | 1 | 主任 2 主事 3 |
| | | | 学務係 | 1 | 主任 2 |
| | | | 学校教育係 | 1 | 主任 2 |
| | | | 学校教育指導主事 | | 会計年度任用職員 4 |
| | | | 外国語指導助手 | | 会計年度任用職員 3 |
| | | | 適応指導教室 | | 会計年度任用職員 1 |
| | | | 学校安全対策指導員 | | 会計年度任用職員 1 |
| 学校給食センター | 所長(1) | (1) | 第一学校給食センター | | 会計年度任用職員 2 |
| | 所長(1) | | 第二学校給食センター | | 主任専門員 1 会計年度任用職員 1 |
| | | | | | |
| 小学校13校 | | | | | |
| 中学校5校 | | | | | |
| こども宝課 | (課長1) | 1 | すくすくこども係 | 1 | 主任 1 主事 6 主任専門員 1 |
| 木津幼稚園 | 園長1 | 教頭1 | | | 教諭 5 会計年度任用職員 4 |
| 相楽幼稚園 | 園長1 | 教頭1 | | | 教諭 2 会計年度任用職員 3 |
| 高の原幼稚園 | 園長1 | 教頭1 | | | 教諭 3 会計年度任用職員 3 |
| 保育園7園 | | | | | |
| 社会教育課 | 課長1 主幹1 | | 生涯学習係 | 1 | 主任 2 主事 1 会計年度任用職員 2 |
| | | | 社会体育係 | 1 | 担当係長 1 主査 1 |
| 図書館 | 館長(1) | | 中央図書館 | 1 | 主査 1 専門員 1 会計年度任用職員 10 |
| | | | 加茂図書館 | | 主査 1 会計年度任用職員 8 |
| | | | 山城図書館 | | 担当係長 1 会計年度任用職員 7 |
| 加茂文化センター | | | | | |
| 山城総合文化センター | | | | | |
| 中央交流会館 | | | | | |
| 西部交流会館 | | | | | |
| 東部交流会館 | 館長(1) | | | | 主任専門員 1 専門員 1 |
| 南加茂台公民館 | 館長(1) | | | | 主任専門員 1 |
| 瓶原公民館 | | | | | |
| 加茂青少年山の家 | | | | | |
| 加茂青少年センター | | | | | |
| 当尾の郷会館 | | | | | |
| 中央体育館 | 館長(1) | | | | 主任専門員 1 |
| 市民スポーツセンター | | | | | |
| 加茂体育館 | | | | | |
| やすらぎタウン山城プール | | | | | |
| 文化財保護課 | 課長1 | 1 | 文化財保護係 | (1) | 主任 2 |

※()内は兼務職員数

(4) 事務分掌

ア 学校教育課

教育総務係

- ① 教育委員会及び教育部の庶務に関すること。
- ② 教育委員会の会議に関すること。
- ③ 教育委員に関すること。
- ④ 公印の保管に関すること。
- ⑤ 教育委員会の基本的政策の企画立案及び総合調整に関すること。
- ⑥ 公文書の保管その他文書に関すること。
- ⑦ 表彰、叙勲及び寄付受納に関すること。
- ⑧ 京都府教育委員会その他関係機関との連絡調整に関すること。
- ⑨ 教育委員会の職員(府費負担教職員を除く。)の人事、給与、福利厚生等に関すること。
- ⑩ 教育委員会規則等の公布等に関すること。
- ⑪ 教育委員会所掌に係る歳入歳出予算及び決算に関すること。
- ⑫ 教育費の調査及び統計に関すること。
- ⑬ 後援申請に関すること。
- ⑭ 教育委員会に係る教育行政の相談に関すること。
- ⑮ 市立小学校、中学校等に係る財産の取得管理及び処分並びに財産管理台帳に関すること。
- ⑯ 市立小学校、中学校等の施設台帳に関すること。
- ⑰ 市立小学校、中学校等の施設に係る調査に関すること。
- ⑱ 市立小学校及び中学校の施設整備に関すること。
- ⑲ 市立小学校及び中学校の施設の備品管理に関すること。
- ⑳ 市立小学校及び中学校の使用許可に関すること。
- ㉑ 市立小学校及び中学校の施設の国庫支出金及び府支出金に関すること。
- ㉒ 学校教育課の所管となる施設の企画立案、設計計画等に関すること。
- ㉓ 公用車の管理に関すること。
- ㉔ 教育部における他の課に属さない事項等の処理に関すること。
- ㉕ 課の庶務に関すること。

学務係

- ① 学校の組織編成に関すること。
- ② 通学区域に関すること。
- ③ 児童生徒の安全に関する事項(通学路を含む。)。
- ④ 学齢簿の編成及び整備に関すること。
- ⑤ 児童生徒の就学並びに入学、転学及び退学に関する事項。
- ⑥ 児童生徒の就学猶予又は免除に関する事項。
- ⑦ 児童生徒の指定学校の変更及び区域外就学に関する事項。
- ⑧ 市立小学校及び中学校に係る予算・決算の執行管理に関する事項。
- ⑨ 就学時健康診断に関する事項。
- ⑩ 府費負担教職員の人事、給与等に関する事項。
- ⑪ 府費負担教職員の研修に関する事項。
- ⑫ 市立小学校及び中学校の設置及び廃止に係る事務に関する事項。
- ⑬ 所掌に係る調査及び基幹統計に関する事項。

| |
|---|
| ⑯ 児童クラブの施設整備及び運営に関すること。 |
| ⑰ 児童クラブ使用料の賦課及び調定に関すること。 |
| ⑯ 児童クラブ使用料の徴収、滞納対策等に関すること(ただし、収納担当課が取扱うものを除く。)。 |
| ⑰ その他学務に関すること。 |

| |
|----------------------------------|
| 学校教育係 |
| ① 児童生徒の保健及び健康診断に関すること。 |
| ② 教育課程及び学習指導に関すること。 |
| ③ 人権教育、特別支援教育等に関すること。 |
| ④ 人権教育等の教育関係補助金に関すること。 |
| ⑤ 教育支援委員会に関すること。 |
| ⑥ 教科書採択及び教科書無償給与に関すること。 |
| ⑦ 市立小学校及び中学校の教材備品の管理及び取扱いに関すること。 |
| ⑧ 学校医、学校歯科医及び学校薬剤師に関すること。 |
| ⑨ 外国語指導助手に関すること。 |
| ⑩ 学校評議員及びスクールボランティアに関すること。 |
| ⑪ 学校運営協議会に関すること。 |
| ⑫ 就学奨励費に関すること。 |
| ⑬ 就学援助に関すること。 |
| ⑭ 育英資金・高等学校奨学金に関すること。 |
| ⑮ 教育相談に関すること。 |
| ⑯ 児童・生徒の基礎学力向上に関すること。 |
| ⑰ その他学校教育に関すること。 |

| |
|----------------------------|
| 学校給食センター |
| ① 学校給食センターの施設整備及び運営に関すること。 |
| ② 学校給食に関すること。 |

イ こども宝課

| |
|--|
| すぐすぐこども係 |
| ① 子どものための教育・保育給付に関すること。 |
| ② 子育てのための施設等利用給付に関すること。 |
| ③ こども政策に関すること。 |
| ④ 子ども・子育て会議に関すること。 |
| ⑤ 特定教育・保育施設、特定地域型保育事業者、特定子ども・子育て支援施設等の確認に関すること。 |
| ⑥ 教育・保育認定に関すること。 |
| ⑦ 保育施設及び保育事業の利用調整に関すること。 |
| ⑧ 市立幼稚園児の入退園に関すること。 |
| ⑨ 特定教育・保育施設の利用者負担額の決定等に関すること。 |
| ⑩ 保育所及び市立幼稚園の利用者負担額の徴収及び収納に関すること(ただし、収納担当課が取扱うものを除く。)。 |
| ⑪ 保育所、認定こども園、家庭的保育事業等への指導監査に関すること。 |
| ⑫ 保育所、認定こども園及び家庭的保育事業等事業者への助成に関すること。 |

| |
|---|
| ⑬ 保育所、認定こども園、家庭的保育事業所及び小規模保育事業所の整備に関すること。 |
| ⑭ 家庭的保育事業、小規模保育事業、居宅訪問型保育事業及び事業所内保育事業の認可に関すること。 |
| ⑮ 市立幼稚園の設置及び廃止に係る事務に関すること。 |
| ⑯ 市立幼稚園の通園バスに関すること。 |
| ⑰ 私立幼稚園の補助に関すること。 |
| ⑱ 市立保育所及び市立幼稚園の施設整備及び運営管理に関すること。 |
| ⑲ その他幼児教育・保育に関すること。 |

ウ 社会教育課

| |
|---|
| 生涯学習係 |
| ① 社会教育の総合企画及び調整に関すること。 |
| ② 社会教育施設に係る財産の取得管理及び処分並びに財産管理台帳に関すること。 |
| ③ 公民館、交流会館及びその他社会教育施設の施設整備及び運営に関すること。 |
| ④ 社会教育施設の企画立案及び設計計画等に関すること。 |
| ⑤ 社会教育委員及び公民館運営審議会に関すること。 |
| ⑥ 社会教育活動の奨励に関すること。 |
| ⑦ 青少年教育、成人教育、女性教育、高齢者教育、人権教育、障害者教育及び家庭教育に関すること。 |
| ⑧ 社会教育関係団体の指導育成及び援助に関すること。 |
| ⑨ 文化・芸術の振興に関すること。 |
| ⑩ 成人式に関すること。 |
| ⑪ 学校と社会教育との連携に関すること。 |
| ⑫ 社会教育に係る資料の収集・提供及び広報活動に関すること。 |
| ⑬ 生涯学習の総合企画及び調整に関すること。 |
| ⑭ 生涯学習関係団体との連絡調整に関すること。 |
| ⑮ 教育ボランティア及び指導者の育成に関すること。 |
| ⑯ 生涯学習に係る資料の収集・提供及び広報活動に関すること。 |
| ⑰ 生涯学習相談に関すること。 |
| ⑱ 国際交流に関すること。 |
| ⑲ その他生涯学習推進に関すること。 |
| ⑳ 課の庶務に関すること。 |

| |
|---|
| 社会体育係 |
| ① 体育・スポーツの総合企画及び調整に関すること。 |
| ② 社会体育施設に係る財産の取得管理及び処分並びに財産管理台帳に関すること。 |
| ③ 社会体育施設の施設整備及び運営に関すること。 |
| ④ 社会体育施設の企画立案及び設計計画等に関すること。 |
| ⑤ スポーツ推進委員に関すること。 |
| ⑥ 体育・スポーツ及びレクリエーションの奨励に関すること。 |
| ⑦ 社会体育事業の企画立案及び運営に関すること。 |
| ⑧ スポーツ指導者の育成に関すること。 |
| ⑨ 社会体育関係団体の指導者育成及び援助に関すること。 |
| ⑩ 体育・スポーツ及びレクリエーションに係る資料の収集・提供及び広報活動に関すること。 |

| |
|----------------------|
| ⑪ スポーツ相談に関すること。 |
| ⑫ 学校体育施設の開放事業に関すること。 |
| ⑬ その他社会体育に関すること。 |

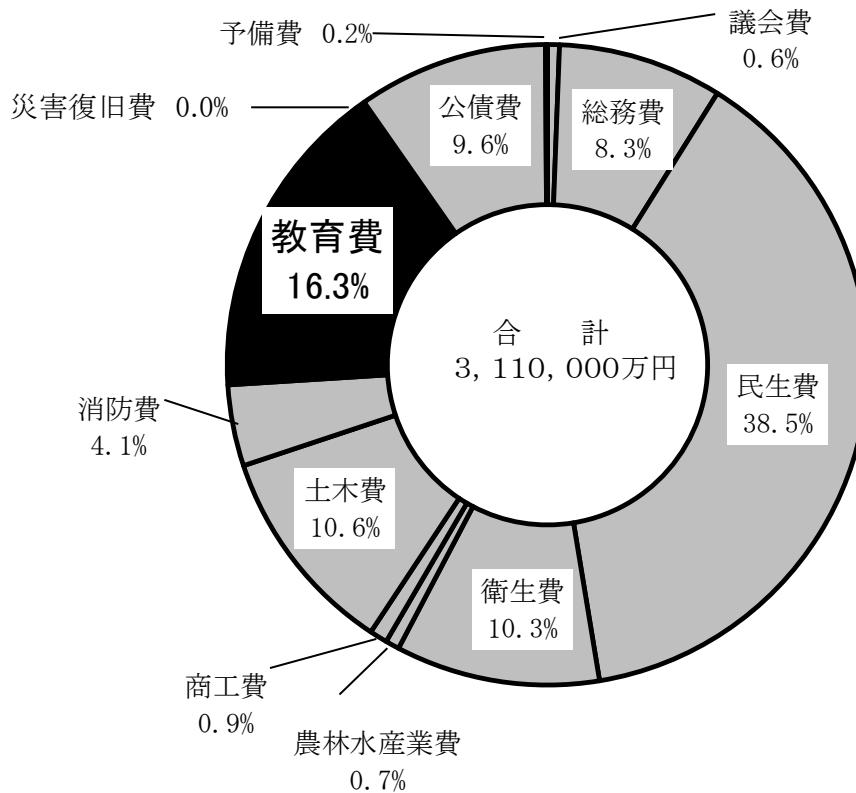
| |
|-------------------------------------|
| 図書館 |
| ① 図書館の総合計画及び調整に関すること。 |
| ② 図書館協議会に関すること。 |
| ③ 図書館に係る財産の取得管理及び処分並びに財産管理台帳に関すること。 |
| ④ 図書館施設の施設整備及び運営に関すること。 |
| ⑤ 図書館施設の企画立案及び設計計画等に関すること。 |
| ⑥ 図書館事業の企画立案及び運営に関すること。 |
| ⑦ 図書館資料の収集、整理及び保存に関すること。 |
| ⑧ 図書館資料の貸出し及び返却に関すること。 |
| ⑨ 図書館資料の利用相談に関すること。 |

エ 文化財保護課

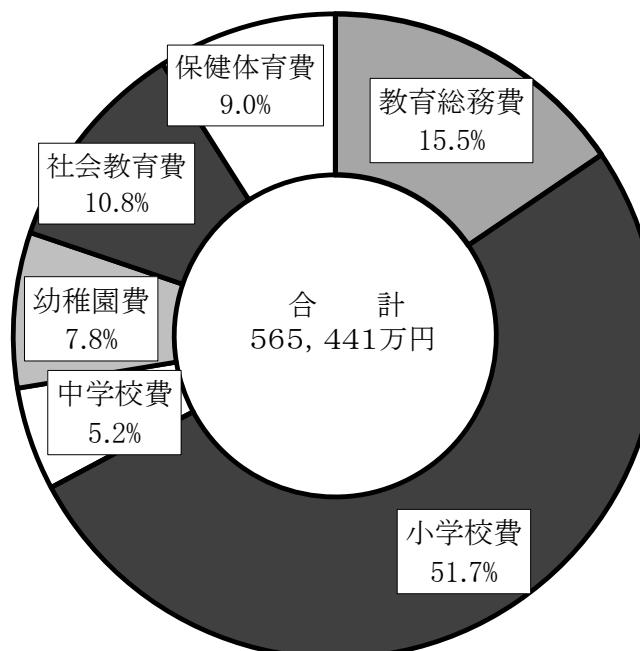
| |
|-------------------------------------|
| 文化財保護係 |
| ① 文化財関係総括に関すること。 |
| ② 文化財関係計画の立案に関すること。 |
| ③ 文化財に係る財産の取得管理及び処分並びに財産管理台帳に関すること。 |
| ④ 文化財保護課の所管となる施設の企画立案及び設計計画等に関すること。 |
| ⑤ 文化財関係施設の整備運営に関すること。 |
| ⑥ 文化財保護審議会等に関すること。 |
| ⑦ 文化財所有者及び保護団体に関すること。 |
| ⑧ 文化財保護関係機関との連絡調整に関すること。 |
| ⑨ 文化財の収集、調査及び研究に関すること。 |
| ⑩ 文化財の保存及び活用に関すること。 |
| ⑪ 講演会、研究会及び展示会等の開催に関すること。 |
| ⑫ 文化財資料の利用者に対する情報提供等に関すること。 |
| ⑬ 文化財補助金に関すること。 |
| ⑭ 市史編さんに関すること。 |
| ⑮ その他文化財の管理調査に関すること。 |
| ⑯ 課の庶務に関すること。 |

5 木津川市の財政

目的別歳出予算(令和4年度)



教育費歳出予算(令和4年度)



II 教育委員会の活動状況

教育委員会の活動状況（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

1. 教育委員について

市教育委員会は、市長が市議会の同意を得て任命した教育長、4人の委員で構成されています。

令和3年度 木津川市教育委員会教育長及び委員

| 役職名 | 氏名 | 備考 |
|----------|-------|----|
| 教育長 | 森永重治 | |
| 教育長職務代理者 | 有賀やよい | |
| 委員 | 小松信夫 | |
| 委員 | 高橋史代 | |
| 委員 | 佐脇貞憲 | |

2. 教育委員会の開催状況

令和3年度教育委員会会議開催状況一覧

| No. | 件名 | 開催日 |
|-----|---------|------------|
| 1 | 第4回定例会 | 令和3年 4月30日 |
| 2 | 第5回定例会 | 令和3年 5月27日 |
| 3 | 第2回臨時会 | 令和3年 6月22日 |
| 4 | 第6回定例会 | 令和3年 6月29日 |
| 5 | 第7回定例会 | 令和3年 7月30日 |
| 6 | 第8回定例会 | 令和3年 8月30日 |
| 7 | 第3回臨時会 | 令和3年 9月15日 |
| 8 | 第9回定例会 | 令和3年10月 4日 |
| 9 | 第10回定例会 | 令和3年10月22日 |
| 10 | 第11回定例会 | 令和3年11月22日 |
| 11 | 第4回臨時会 | 令和3年12月 6日 |
| 12 | 第12回定例会 | 令和3年12月23日 |
| 13 | 第1回定例会 | 令和4年 2月 2日 |
| 14 | 第2回定例会 | 令和4年 2月21日 |
| 15 | 第1回臨時会 | 令和4年 2月25日 |
| 16 | 第2回臨時会 | 令和4年 3月 7日 |
| 17 | 第3回定例会 | 令和4年 3月28日 |

【第4回定例会 令和3年4月22日】

○議 事

議案第18号 木津川市歴史文化基本構想策定委員会委員の委嘱について

議案第19号 木津川市立学校評議員の委嘱について

議案第20号 木津川市立幼稚園評議員の委嘱について

○その他

(1)学校の新型コロナ感染対策について

(2)城山台小学校の取組について(現状報告)

【第5回定例会 令和3年5月27日】

○議 事

議案第21号 木津川市家庭学習用タブレット型情報端末及びモバイル Wi-Fi ルーター貸与事業
実施要綱の制定について

議案第22号 令和3年度木津川市一般会計補正予算第4号について

議案第23号 木津川市立学校運営協議会委員の任命及び委嘱について

議案第24号 木津川市立小学校及び中学校の在り方検討委員会への諮問について

【第2回臨時会 令和3年6月22日】

○議 事

議案第25号 城山台小学校第2体育館及び児童クラブ3号館新築工事請負契約の締結について

議案第26号 小中学校インターネット接続機器の買入れについて

【第6回定例会 令和3年6月29日】

○議 事

議案第27号 木津川市社会教育関係団体事業補助金交付要綱の一部改正について

議案第28号 木津川市文化財保護委審議会審議員の委嘱について

○その他

(1)令和3年第2回木津川市議会定例会 一般質問及び答弁について

(2)保護者ニーズの多様化に対応した幼児教育施設の在り方の検討について

(3)山城陸上大会(中学校)結果報告

【第7回定例会 令和3年7月30日】

○議 事

議案第29号 木津川市立学校給食センター運営委員会委員の委嘱について

議案第30号 木津川市立学校運営協議会委員の任命及び委嘱について
議案第31号 木津川市立小学校及び中学校在り方検討委員会委員の委嘱について
報告第 1号 木津川市育英資金の交付状況等について

○その他

- (1)城山台小学校児童急増対策に係る進捗報告について
- (2)令和3年度相楽地方中学校総合体育大会結果報告

【第8回定例会 令和3年8月30日】

○議 事

議案第32号 令和3年度木津川市一般会計補正予算第6号について
議案第33号 (旧)木津学校給食センター解体工事請負契約の締結について
議案第34号 令和4年度以降使用中学校教科用図書の採択について

○その他

- (1)令和3年度第1回いじめ調査結果について
- (2)令和3年度京都府中学校総合体育大会等結果報告

【第3回臨時会 令和3年9月15日】

○議 事

議案第35号 令和3年度木津川市一般会計補正予算第7号について

【第9回定例会 令和3年10月4日】

○議 事

議案第36号 木津川市高麗寺跡史跡整備委員会委員の委嘱について
議案第37号 木津川市歴史文化基本構想策定委員会委員の委嘱について

○その他

- (1)令和3年第3回木津川市議会定例会 一般質問及び答弁について(9月議会)
- (2)木津川市体育施設条例の一部改正について
- (3)保護者ニーズの多様化に対応した幼児教育施設の在り方の検討について(2)

【第10回定例会 令和3年10月22日】

○議 事

議案第38号 木津川市体育施設条例の一部改正について

○その他

- (1)学校の在り方検討委員会報告
- (2)GIGAスクールハンドブック作成報告

- (3)防災スクールハンドブック作成報告
- (4)山城地方駅伝大会(中学校)結果報告

【第11回定例会 令和3年11月22日】

○議 事

議案第39号 令和3年度木津川市一般会計補正予算第9号について

○その他

- (1)木津川市公立幼稚園再編実施計画(素案)について
- (2)城山台小学校児童急増対策の現状について(報告)

【第4回臨時会 令和3年12月6日】

○議 事

議案第40号 相楽小学校中校舎長寿命化改修工事請負契約の締結について

議案第41号 教員用タブレットPCの買入れについて

【第12回定例会 令和3年12月23日】

○議 事

議案第42号 木津川市立の小学校及び中学校に勤務する府費負担教職員の服務に関する規程
の一部改正に係る臨時代理について

○その他

- (1)令和3年第4回木津川市議会定例会 一般質問及び答弁について(12月議会)
- (2)木津川市立公立幼稚園再編実施計画のパブリックコメントの時期について

【第1回定例会 令和4年2月2日】

○議 事

報告第 1号 木津川市立の小学校及び中学校に勤務する府費負担教職員の服務に関する規程
の一部改正について

○その他

- (1)令和3年度全国学力・学習状況調査結果広報紙「きづがわっ子」の作成報告
- (2)令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果報告
- (3)令和3年度第2回いじめ調査結果について

【第2回定例会 令和4年2月21日】

○議 事

議案第 1号 令和4年度木津川市一般会計予算について

議案第 2号 令和3年度木津川市一般会計補正予算第12号について
議案第 3号 木津小学校校舎改築工事請負契約の締結について
議案第 4号 城山台小学校校舎増築工事(Ⅱ期)請負契約の締結について
議案第 5号 木津川市教育委員会の所管する事務の管理及び執行の状況の点検・評価に関する報告書(令和2年度実施事業)について

○その他

- (1)木津川市立小学校及び中学校における医療的ケア実施要綱について
- (2)木津川市公立幼稚園再編実施計画(案)のパブリックコメント実施結果について

【第1回臨時会 令和4年2月25日】

○議 事

議案第 6号 令和4年度木津川市立小・中学校管理職人事について

【第2回臨時会 令和4年3月7日】

○議 事

議案第 7号 木津川市立小中学校及び幼稚園空調設備整備PFI事業に係る契約の変更契約の締結について

【第3回定例会 令和4年3月28日】

○議 事

議案第 8号 木津川市立図書館協議会委員の任命について
議案第 9号 木津川市子どもの読書活動推進計画(第三次計画)について
議案第10号 木津川市公立幼稚園再編実施計画について

○その他

- (1)令和4年第1回木津川市議会定例会 会派代表質問、一般質問及び答弁について(3月議会)
- (2)令和4年度 学校教育の重点について
- (3)令和4年度 社会教育の重点について

3. 教育委員会の活動状況

令和3年度 研修等参加状況

| 開催日 | 件 名 | 開催場所 |
|------------|--------------------|------|
| 令和3年 5月 | 京都府市町村教育委員会連合会定期総会 | 書面開催 |
| 7月 | 山城地方教育委員会連絡協議会定期総会 | 書面開催 |

| | | |
|------------|------------------------------------|-----------------------|
| 9月2日 | 全国市町村教育委員会オンライン協議会 | オンライン |
| 11月1日 | 近畿市町村教育委員会研修大会 | あましんアルカイック ホール・オクト |
| 11月2日 | 京都府内市町村(組合)教育委員会連合会研修会 | オンライン |
| 令和4年 2月 | 相楽地方教育委員会連絡協議会 教育長・教育長職務代理者合同会議 | 書面開催 |

III 学 校 教 育

令和4年度 学校教育の重点

重点目標1

質の高い学力を
はぐくむ

- (1) 学びに向かう力、人間性等の涵養と学習習慣
- (2) 基礎的・基本的な知識・技能
- (3) 活用する力

- ① 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の推進(1)(2)(3)
- ② 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な授業の実践(1)(2)(3)
- ③ 木津川市独自の授業スタンダードの定着(1)(2)(3)
- ④ ICT機器を活用したわかる授業の推進(1)(2)(3)(15)
- ⑤ 体験を通した授業の工夫(1)(2)(3)
- ⑥ 発達の段階に応じた家庭での学習の習慣化(1)(2)(3)
- ⑦ より円滑な接続を目指した小小連携・小中連携の推進(1)(2)(3)
- ⑧ 基礎・基本の徹底を図る個別補充学習と課題解決型学習の推進(1)(2)(3)
- ⑨ 学力診断テストの実施と分析、検証による授業改善(1)(2)(3)
- ⑩ 外部講師による出前授業や、地域人材の活用など連携した学びの推進(1)(3)

○ホップアップ学習（小学校補充学習）
○木津川市小中学校統一学力診断テスト

○ステップアップ学習（中学校補充学習）
○木津川市立小・中学校学力充実・向上推進会議

◇やましろ授業スタンダード
◇ジュニアわくわくスタディ（小学校）

◇京都府小・中学校学力診断テスト
◇中1振り返り集中学習「ふりスタ」（中学校）

◇全国学力・学習状況調査
◇中2学力アップ集中講座（中学校）

重点目標2

豊かな心と規範意識を
はぐくむ

- (4) 道徳教育
- (5) 生徒指導
- (6) 読書活動

- ① 道徳科における、質の高い多様で効果的な指導方法の実践と研究の推進(4)
- ② 道徳科における、一人一人のよさを伸ばし、成長を促すための評価の充実(4)
- ③ 情報モラルと現代的課題に関する指導の充実(4)(15)
- ④ 生徒指導の機能を活かし、児童生徒の意欲を引き出す教育活動の充実(5)
- ⑤ 多様な他者を尊重する態度を育て、自己肯定感を高める指導の充実(4)(5)
- ⑥ 中学校区毎のあいさつ運動の充実(5)(21)
- ⑦ いじめ等の問題行動に対する迅速な対応及び未然防止に向けた取組の強化(5)
- ⑧ 不登校をはじめとする諸課題に対する相談体制の充実(5)
- ⑨ 就学前からの本に親しむ機会の充実(6)
- ⑩ 学校での読書活動の推進に係る取組の強化(6)

○木津川市いじめ防止等対策委員会
○木津川市不登校対策連絡協議会
○木津川市スクールカウンセラー活用事業
○学校図書館システム整備事業

○木津川市いじめ防止等対策チーム
○木津川市不登校対策運営協議会
○木津川市カウンセリングルーム
○心の教育相談員

○木津川市いじめ・生徒指導担当者会議
○不登校対策チーム
○木津川市適応指導教室（ふれあい教室）
○としょかんスタートセット

◇私たちの道徳
◇京の子ども 明日へのとびら
◇読書大好きアクションプラン
◇スクールカウンセラー活用事業
◇不登校児童生徒支援拠点整備事業
◇子どもの学習・生活支援事業（まなび・生活アドバイザー）

重点目標3

健やかな体を
はぐくむ

- (7) 食育
- (8) 体力
- (9) 健康

- ① 新型コロナウイルス感染症に対する感染防止対策の徹底(9)
- ② 食に関する指導の充実と望ましい健全な食習慣の定着(7)(9)
- ③ 地域社会や家庭と連携した食育の推進(7)
- ④ 安心・安全な学校給食の実施(7)(9)
- ⑤ 体力テストや運動能力の状況を踏まえた取組や授業改善の推進(8)(9)
- ⑥ 学校体育や運動部活動の充実(8)(9)
- ⑦ 中学校部活動の練習時間や休養日、適切な指導の推進(8)
- ⑧ 喫煙・飲酒・薬物乱用等の防止教育の充実(9)
- ⑨ 家庭と連携した生活習慣の確立(9)
- ⑩ 学校保健に関する現代的課題に対応する取組の推進(9)

○木津川市食育推進委員会
○給食の地産地消
○木津川市部活動指導方針
○小学生のためのメンタルヘルス教育

○5分間スタディ
○木津川市立中学校運動部活動連携事業
○中学校部活動指導員・外部指導者

○栄養教諭による出前授業
○木津川市小学校陸上運動交歓記録会
○アレルギー対応マニュアル

◇京の子ども元気なからだスタンダード
◇京都府部活動指導指針
◇京都式「部活動サポート」事業（部活動指導員・外部指

重点目標4

一人一人の個性や能力を伸ばし、社会の形成者としての必要な資質をはぐくむ

- (10) 人権教育
- (11) 特別支援教育
- (12) キャリア教育
- (13) 幼児期の教育
- (14) 貧困対策

- ① 人権教育推進体制の充実及び全体計画や年間計画・指導方法の工夫改善(10)
- ② 人権教育推進のための教職員の認識の深化と実践力・指導力の向上(10)
- ③ 子どもが主体的に学ぶための教材等の開発(10)(11)
- ④ 校種間・家庭・地域・関係機関との連携を図った人権尊重の環境づくり(10)(11)
- ⑤ 「相談支援ファイル」を活用し継続した適切な支援の実施(11)
- ⑥ 木津川市教育支援委員会を中心とした就学相談体制の強化(11)
- ⑦ ユニバーサルデザインの視点に立った授業づくりと教育環境の充実(11)
- ⑧ 地域支援センターや通級指導教室等との連携による支援(11)
- ⑨ 発達の段階に応じた組織的・系統的なキャリア教育の推進(12)
- ⑩ 進路相談体制や支援体制の充実(12)
- ⑪ 様々な人との触れ合いを通して豊かな人間関係の構築(13)
- ⑫ 小学校教育への円滑な接続に向けた保幼小連携の推進・充実(13)
- ⑬ 児童生徒の学習支援の充実(14)
- ⑭ 保護者への経済的支援の充実(14)

○木津川市人権教育研究会
○木津川市教育支援委員会

○相談支援ファイル
○木津川市育英資金制度

○木津川市特別支援教育推進委員会
○要保護及び準要保護児童生徒就学援助制度

◇ KYO発見 仕事・文化体験活動推進事業 ◇ 親のための応援塾 ◇ もうすぐ1年生 体験入学推進事業

重点目標5

社会の変化に対応し、未来を確かに生きる力をはぐくむ

- (15) 情報教育
- (16) グローバル化への対応
- (17) 環境教育

- ① タブレット型PCを活用した情報活用能力の育成(15)
- ② 教員のICT活用指導力及び児童生徒のICT活用力の育成(1)(2)(3)(15)
- ③ 情報活用能力及び情報社会を主体的に生き抜く能力の育成(15)
- ④ 正しい知識と情報モラルを身につけるための教育の充実と教職員の研修の充実(15)
- ⑤ 小中学校の外国語教育の充実(16)
- ⑥ 国際交流等による国際感覚を磨くための取組の充実(16)
- ⑦ 環境保全に向けた自発的活動の充実(17)
- ⑧ 市内施設や企業等を活用した体験的な環境教育の推進(17)

○ I C T 教育推進事業
○小学校英語指導講師 (J T E)

○プログラミング教育
○サンタモニカ交流事業

○外国語指導助手 (A L T)
○日本語学習指導員
○ I C T 支援員
○英語イベントレッスン

重点目標6

魅力ある・信頼される学校・園をつくる

- (18) 学校の組織力と教職員の資質
- (19) 学校・園づくり
- (20) 教育環境

- ① 協働できる体制づくりに向けた学校組織マネジメント能力の向上(18)
- ② OJT等による教職員の資質向上に向けた取組の充実(18)
- ③ 教職員の総勤務時間縮減に向けた取組の充実(18)
- ④ 特色ある学校・園づくりの推進(19)
- ⑤ 学校・園評価(自己評価及び関係者評価)の充実による学校・園運営の改善と「開かれた学校・園」づくりの推進(19)
- ⑥ 地域の人才を活かしつつ学校を中核とした地域の絆を深める取組の充実(19)
- ⑦ 危機管理体制の整備と警察等との連携による教職員の研修の充実(20)
- ⑧ 通学路の定期的な安全点検の実施(20)
- ⑨ 実践的な防犯・安全教育の実施(20)
- ⑩ ユニバーサルデザインの視点に立った教育環境の充実(20)

○木津川市特色ある学校づくり推進事業
○木津川市通学路安全推進会議
○通学路防犯カメラ設置事業

○木津川市地域で支える学校教育推進事業
○幼稚園学校機械警備事業
○防犯研修

○危機等発生時対処要領
○学校安全マップ
○校務用PC整備事業

重点目標7

地域の力を活かして
子どもをはぐくむ

- (21) 子育て支援
(22) 家庭教育支援
(23) 生涯学習環境
(24) 安全対策

- ① 地域コーディネーターと連携した地域ぐるみで子どもを守り育てる体制の充実(21)
- ② 地域の人材を活用した教育活動の充実(21)
- ③ 各中学校区でのあいさつ運動の実施(5)(21)
- ④ 保護者への子育てに対する相談・サポート体制の充実(22)
- ⑤ 保護者が学び合える環境の整備(22)
- ⑥ 児童虐待の早期発見・早期対応の教職員研修の充実と関係機関との連携強化(22)
- ⑦ 保護者の経済的負担軽減(14)(22)
- ⑧ 地域と連携した防犯対策の充実(24)
- ⑨ ボランティア・警察・子ども110番の家等との連携による地域で見守る体制の充実(24)
- ⑩ コミュニティ・スクールについての実践研究の推進(21)

○木津川市地域で支える学校教育推進事業
○木津川市遠距離通学費補助金
○学校安全マップ

○木津川市要保護児童対策地域協議会
○木津川市通学路安全推進会議
○中学校区あいさつ運動

○木津川市育英資金交付事業
○地域見守り箱
○市立学校防災（火災）訓練

◇京のまなび教室事業 ◇親のための応援塾 ◇子育てサロン

重点目標8

地域を学び、郷土を大切
にする心をはぐくむ

- (25) 自然・歴史についての
学習
(26) 地域資源

- ① 関係施設や関係団体との連携を図った地域の文化財を学ぶ機会の充実(25)(26)
- ② 質の高い文化・芸術に触れる機会の充実(25)
- ③ 地域と連携した自然体験学習の充実(25)
- ④ 研究所等との連携による体験的な学習の充実と子どもの科学的知識を深める取組の充実(26)
- ⑤ 研究機関や企業とのネットワークづくりの推進と子どもの知的好奇心の醸成を図る取組の展開(26)
- ⑥ 大学等との連携事業を通した様々な体験活動の充実(25)(26)

○文化財保護課による出前授業

○わたしたちの木津川市（小学校社会科副読本）

○ふるさと学習

◇芸術演劇鑑賞事業 ◇子どもの知的好奇心をくすぐる体験授業

[凡例]

木津川市の現行及び拡充を図っていく主な施策

国及び京都府の主な施策



木津川市教育振興基本計画(後期) 平成31年3月改定

木津川市教育委員会では、本市の豊かな自然環境をはじめ、歴史、文化遺産などの地域資源や豊富な人的資源、とりわけ関西文化学術研究都市の中核地としての立地を活かした、木津川市の教育に関する総合的な計画として、「木津川市教育振興基本計画」を平成26年3月に策定しました。これまで実施してきた様々な施策の成果と課題を整理するとともに、目指す子ども像や教育の目標を明確にし、本市教育行政の基本的な方向を示す計画であります。計画策定から5年が経過し、中間見直しを行い、「木津川市教育振興基本計画(後期)」として、平成31年3月に改定しました。

基本理念

生きる力をはぐくみ
新しい時代を拓く“きづがわっ子”を目指して

目指す子ども像

共に「学び」「喜び」「成長し」未来を力強く生きる子ども

重点目標

- 1 質の高い学力をはぐくむ
- 2 豊かな心と規範意識をはぐくむ
- 3 健やかな体をはぐくむ
- 4 一人一人の個性や能力を伸ばし、社会の形成者としての必要な資質をはぐくむ
- 5 社会の変化に対応し、未来を確かに生きる力をはぐくむ
- 6 魅力ある・信頼される学校・園をつくる
- 7 地域の力を活かして子どもをはぐくむ
- 8 地域を学び、郷土を大切にする心をはぐくむ

目指す教育の姿

子どもの力を伸ばし、
未来に向かって生き
る力をはぐくむ

一人一人が輝き、社
会の一員としての基
盤をはぐくむ

木津川市の力を結集
し、みんなで守りは
ぐくむ

- 視点 1 子どもの将来を見通す
視点 2 木津川市全体で守り育てる
視点 3 木津川市の特色や地域資源を活用する

令和4年度 重点取組事項

1 学力をはぐくむ

学びに向かう力・人間性等

教職員の資質向上

主体的・対話的で深い学びの充実

知識・技能

思考力・判断力・表現力等

カリキュラム・マネジメントの推進

新学習指導要領の着実な実施

「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業改善を組織的に推進し、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」の資質能力をバランスよく児童生徒にはぐくむ。

木津川市 授業スタンダード

- 授業のめあて・流れの提示と視点を明確にした振り返りのある授業
- 一人学びとグループ学習を効果的に取り入れた授業
- ICT機器等教材教具・思考ツールを積極的に活用した授業

- 小学校「ホップアップ学習」、中学校「ステップアップ学習」等の補充学習の推進・充実

学びに向かう力・人間性等 知識・技能

- 学力調査(全国・府・市)の結果分析や問題冊子を活用した取組の充実と授業改善の推進

知識・技能 思考力・判断力・表現力等

- ICT機器を積極的に活用した授業の推進と児童生徒の活用力の向上

学びに向かう力・人間性等 知識・技能 思考力・判断力・表現力等

- 学習の基盤となる言語活動の充実と家庭での学習の習慣化

学びに向かう力・人間性等 思考力・判断力・表現力等

2 豊かな心をはぐくむ

よりよい生き方についての考えを深める道徳教育、人権教育、生徒指導の推進により、主体的に未来を切り拓く豊かな心をはぐくむとともにいじめ、不登校等への対応の更なる充実を図る。

道徳教育・人権教育・生徒指導の充実

- 「考え方、議論する道徳」を推進し、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、よりよく生きるために基盤となる道徳性を育成
- 互いに自己有用感を高め合える人間関係の形成を目指し、自他のよさを認め尊重できる態度を育成
- 今日的状況を踏まえた人権教育、生徒指導を推進し、一人一人が課題に向き合える実践力を育成

いじめ防止

- 児童生徒の状況を把握するためのいじめアンケート・定期的な教育相談の実施
- いじめ防止等対策チーム、いじめ・生徒指導担当者会議による早期対応の徹底
- 各学校いじめ対策委員会による早期発見・早期対応への学校内システムの確立

不登校対策

- 適応指導教室を拠点とした不登校支援事業並びに不登校未然防止対策の充実
- 不登校対策チーム、木津川市不登校対策運営協議会による不登校支援の充実

3 魅力ある学校・園づくり

地域の特色、児童生徒・園児の実態を踏まえ、校・園長のリーダーシップのもと、市内21学校・園は魅力ある学校・園づくりを推進する。

- 『特色ある学校づくり推進事業』『地域で支える学校教育推進事業』『各種研究指定事業』等を活用した特色ある教育活動の推進・充実・普及
- 地域の特性を活かした『ふるさと学習』、地域とのつながりを深める『あいさつ運動』の推進
- 校種間[保幼小中高大等]連携の推進

2 施設

(1) 木津川市立学校給食センター

◆第一学校給食センター

所在地 木津川市梅美台八丁目 2 番地 2

TEL 72-2362 FAX 72-5345

沿革

令 2.2.21 建物竣工、第一学校給食センター新設。

学校給食衛生管理基準・HACCP に沿った施設、調理能力は副食、米飯とも 1 日 7,000 食。

令 2.4. 受配校見直しにより木津小学校・相楽小学校・高の原小学校・木津川台小学校・相楽台小学校・城山台小学校・梅美台小学校・上狛小学校・棚倉小学校・木津中学校・木津南中学校・山城中学校・木津幼稚園・相楽幼稚園・高の原幼稚園に 2 献立制で完全給食を実施。
米飯給食週 4 回。

旧木津学校給食センターから新設第一学校給食センター移転までの沿革

昭 35.10. 1 共同調理場方式で木津小学校にて（鹿背山分校・梅谷分校含む）・相楽小学校の完全給食を実施。

昭 42.11.25 木津幼稚園の副食給食を実施。

昭 43. 4.15 木津中学校の完全給食を実施。

昭 53. 3.10 学校給食センター竣工。

米飯給食設備を備える、調理能力は、副食 1 日 3,000 食、米飯 1 日 750 食。

昭 53. 4.25 相楽幼稚園の副食を実施。

昭 63. 2.29 学校給食センター竣工。

オートメーションシステムを完備したフルドライシステムを採用、調理能力は、副食 1 日 5,000 食、米飯 1 日 2,500 食。

平 元. 4. 高の原幼稚園の副食給食を実施。

平 3. 4. 木津川台小学校の完全給食を実施。

平 5. 4. 相楽台小学校の完全給食を実施。

平 9. 4. 梅美台小学校の完全給食を実施。

平 19. 3. 給食配送車（保冷車）を購入、配送車は合計 4 台になる。

平 19. 4.10 州見台小学校の完全給食を実施。

平 21. 9. 米飯給食週 3 回から週 3.5 回に増やす。

平 22. 4. 1 加茂学校給食センターの新設により梅美台小学校・州見台小学校の配達を加茂学校給食センターへ変更。

平 23.4.12 木津南中学校の完全給食を実施。

平 23.4.21 高の原幼稚園の副食給食を山城学校給食センターへ変更。

平 26.9. 城山台小学校の完全給食を実施。

平 30.4. 相楽幼稚園の副食給食を加茂学校給食センターへ変更。

令 2. 3. 木津学校給食センターを廃止し、新設第一学校給食センターへ移転。

旧山城学校給食センターから新設第一学校給食センター移転までの沿革

昭 39. 4. 1 全校ミルク給食（脱脂粉乳）を実施。

昭 40. 4. 全校生牛乳に切替える。

昭 42. 4. センター方式による完全給食。

昭 52. 5. 炊飯委託で月 1 回米飯給食の実施。

昭 54. 給食施設設備の改善等充実。

昭 63. 給食配送車を更新。

平 2. 4. 米飯給食週 2.5 回のうち 1 回をセンターで炊飯実施。

- 平 4.4. 米飯給食週3回のうち3回ともセンターで炊飯実施。
 平 14.3. 山城学校給食センター竣工。米飯給食週3.5回。
 平 23.4.21 高の原幼稚園の副食給食を実施。
 平 23.7. 給食配送車を購入、配送車は合計2台になる。
 令 2.3. 山城学校給食センターを廃止し、新設第一学校給食センターへ移転。

施設

- 敷地面積 14,799.86m²
 延床面積 3,127.76m²
 構造 鉄骨造2階建
 調理能力 1日7,000食(副食:2献立制)
 1日7,000食(米飯)

輸送

- 配送車 3t積(パワーゲート付) 6台、軽パネルトラック1台

職員数

合計70名

担当課長(第一学校給食センター所長事務取扱) 1名、課長補佐1名、栄養教諭(府職員)2名、栄養士(会計年度任用職員) 2名
 調理配送業務委託 従業者 64名

◆第二学校給食センター(旧加茂学校給食センター)

所在地 木津川市加茂町觀音寺石部61番地1

TEL 76-0031 FAX 76-0032

沿革

- 平 22.4.1 建物竣工、加茂学校給食センター開設。
 平 22.4.12 梅美台小学校・州見台小学校・泉川中学校に完全給食を実施。
 泉川中学校については、完全給食の開始となる。米飯給食週3.5回。
 平 23.4.11 単独調理場から共同調理場への移行により、加茂小学校・恭仁小学校・当尾小学校・南加茂台小学校の完全給食を実施。
 平 24.3.31 当尾小学校閉校。
 平 26.4 城山台小学校の完全給食を実施。
 平 26.9 城山台小学校の配送を木津学校給食センターへ変更。
 平 30.4 相楽幼稚園の副食給食を実施。
 令 2.4 加茂学校給食センターを第二学校給食センターに名称変更。
 受配校見直しにより加茂小学校・恭仁小学校・南加茂台小学校・州見台小学校・泉川中学校・木津南中学校の完全給食を実施。
 米飯給食週4回。

施設

- 敷地面積 2,376.89m²
 建物面積 1,338.92m²
 構造 鉄骨造2階建
 調理能力 1日2,500食(副食)
 1日2,500食(米飯)

輸送

- 配送車 2t積(パワーゲート付) 3台

職員数

合計 37名

主任専門員（第二学校給食センター所長事務取扱）1名、栄養教諭（府職員）2名

栄養士（会計年度任用職員）1名

調理配達業務委託 従業者 33名

給食実施人員数

◆第一学校給食センター

R4.5.1 現在

| 名 称 | 児童・生徒 及び園児数 | 職員数 | 合 計 | 学級数 | 備 考 |
|------------|----------------|-----|-------|-----|-----|
| 木津小学校 | 445 | 31 | 476 | 17 | |
| 相楽小学校 | 400 | 24 | 424 | 16 | |
| 高の原小学校 | 297 | 29 | 326 | 14 | |
| 木津川台小学校 | 292 | 22 | 314 | 13 | |
| 相楽台小学校 | 255 | 24 | 279 | 13 | |
| 城山台小学校 | 1,367 | 88 | 1,455 | 45 | |
| 梅美台小学校 | 838 | 47 | 885 | 29 | |
| 上狹小学校 | 122 | 15 | 137 | 7 | |
| 棚倉小学校 | 256 | 24 | 280 | 12 | |
| 木津中学校 | 683 | 36 | 719 | 19 | |
| 木津第二中学校 | 475 | 30 | 505 | 15 | |
| 山城中学校 | 242 | 14 | 256 | 10 | |
| 木津幼稚園 | 92 | 17 | 109 | 4 | |
| 相楽幼稚園 | 52 | 11 | 63 | 2 | |
| 高の原幼稚園 | 48 | 13 | 61 | 2 | |
| 第一学校給食センター | - | 69 | 69 | - | |
| 合 計 | 5,864 | 494 | 6,358 | 218 | |

◆第二学校給食センター

| 名 称 | 児童及び 生徒数 | 職員数 | 合 計 | 学級数 | 備 考 |
|------------|-------------|-----|-------|-----|-----|
| 州見台小学校 | 613 | 37 | 650 | 22 | |
| 加茂小学校 | 249 | 22 | 271 | 12 | |
| 恭仁小学校 | 44 | 11 | 55 | 5 | |
| 南加茂台小学校 | 139 | 15 | 154 | 7 | |
| 泉川中学校 | 253 | 31 | 284 | 9 | |
| 木津南中学校 | 844 | 49 | 893 | 23 | |
| 第二学校給食センター | - | 35 | 35 | - | |
| 合 計 | 2,142 | 200 | 2,342 | 78 | |

◆全体

| 名 称 | 児童及び 生徒数 | 職員数 | 合 計 | 学級数 | 備 考 |
|-----|-------------|-----|-------|-----|-----|
| 合 計 | 8,006 | 694 | 8,700 | 296 | |

(2) 心の教育施設

ア カウンセリングルーム

- ① 所在地 木津川市立中央図書館 2 階
 ② 設立 平成 8 年 4 月 1 日
 ③ 目的 学習や心身に問題を持つ児童生徒や家庭教育に悩みを持つ保護者及び教職員に対する相談活動を通じて、専門的な立場から指導または援助を行うことにより、心身ともに健全な児童生徒を育成することを目的とする。

イ 適応指導教室「キッズふれあい教室」

- ① 所在地 木津川市立高の原小学校内
 ② 設立 平成 10 年 9 月 1 日
 ③ 目的 心理的な要因で不登校に陥っている児童生徒を対象に、学習支援を中心に相談活動を行う。また、集団生活への適応に向けて様々な体験活動を通じて社会性の育成を図るとともに、その自立を促し、学校生活への復帰を図る。

3 通学区域

| 学 校 名 | 学 校 区 |
|---------|---|
| 木津小学校 | 木津町、駅前一丁目 木津のうち八ヶ坪、門樋、神田、田中前、馬ヶ瀬、西小林、大次、八後、宮ノ内、奈良道（国道 24 号以南の区域を除く区域）、清水、南垣外、殿城、雲村、宮ノ堀、天神山、馬場南、大谷、川端、小川、八色、瓦谷、西垣外 木津宮ノ裏、上戸、池田及び川原田のうち JR 関西本線以西の区域 木津片山のうち 112 番地から 126 番地の区域 市坂宮ノ内及び小谷口のうち国道 24 号以北の区域 |
| 相楽小学校 | 相楽及び吐師のうち近鉄京都線以西の区域を除く区域 木津のうち山田川、下川原、南後背、野色、小釜、石塚 |
| 高の原小学校 | 兜台 |
| 相楽台小学校 | 相楽台 |
| 木津川台小学校 | 木津川台、相楽及び吐師のうち近鉄京都線以西の区域 |
| 梅美台小学校 | 梅美台、梅谷 |
| 州見台小学校 | 州見台、市坂、木津奈良道のうち国道 24 号以南の区域 市坂宮ノ内及び小谷口のうち国道 24 号以北の区域を除く区域 |
| 城山台小学校 | 城山台、鹿背山、木津のうち白口、今城、内田山、東小林 木津宮ノ裏、上戸、池田及び川原田のうち JR 関西本線以西の区域を除く区域 木津片山のうち 112 番地から 126 番地の区域を除く区域 |
| 加茂小学校 | 里、高田、觀音寺、大野、法花寺野、兎並、美浪、北、錢司、山田、駅東一丁目、駅東二丁目、駅東三丁目、駅東四丁目、駅西一丁目、駅西二丁目 |
| 恭仁小学校 | 井平尾、岡崎、河原、西、例幣、奥畠 |
| 南加茂台小学校 | 南加茂台、岩船、東小上、東小下、南大門、北大門、西小、南下手、北下手、森、高去、勝風、大畠、辻、尻枝 |
| 棚倉小学校 | 綺田、平尾 |
| 上狛小学校 | 上狛、椿井、北河原、神童子 |
| 木津中学校 | 木津小学校、相楽小学校、城山台小学校の区域 |
| 木津第二中学校 | 高の原小学校、木津川台小学校、相楽台小学校の区域 |
| 木津南中学校 | 梅美台小学校、州見台小学校の区域 |
| 泉川中学校 | 加茂小学校、恭仁小学校、南加茂台小学校の区域 |
| 山城中学校 | 棚倉小学校、上狛小学校の区域 |

4 園児・児童・生徒数

(1) 幼稚園

ア 園児数

令和4年5月1日現在 (単位:人, 学級)

| 項目 園名 | 3歳児 | | 4歳児 | | 5歳児 | | 計 | |
|----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| | 園児数 | 学級数 | 園児数 | 学級数 | 園児数 | 学級数 | 園児数 | 学級数 |
| 木津幼稚園 | 40 | 2 | 47 | 2 | 45 | 2 | 132 | 6 |
| 相楽幼稚園 | 20 | 1 | 24 | 1 | 28 | 1 | 72 | 3 |
| 高の原幼稚園 | 20 | 1 | 23 | 1 | 25 | 1 | 68 | 3 |
| 計 | 80 | 4 | 94 | 4 | 98 | 4 | 272 | 12 |

イ 園児数の推移

各年 5月1日現在 (単位:人)

| 年 度 | 平成27年 | 平成28年 | 平成29年 | 平成30年 | 令和元年 | 令和2年 | 令和3年 | 令和4年 |
|--------|-------|-------|-------|-------|------|------|------|------|
| 木津幼稚園 | 225 | 237 | 238 | 207 | 156 | 157 | 157 | 132 |
| 相楽幼稚園 | 109 | 105 | 125 | 111 | 94 | 95 | 75 | 72 |
| 高の原幼稚園 | 158 | 172 | 167 | 148 | 148 | 134 | 92 | 68 |
| 計 | 492 | 514 | 530 | 466 | 398 | 386 | 324 | 272 |

(2) 小学校

ア 児童数

令和4年5月1日現在 (単位:人, 学級)

| 項目 学校名 | 年次 | | | | | | | 特別支援学級 | 計 |
|-----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|--------|-------|
| | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | | | |
| 木津小学校 | 児童数 | 57 | 64 | 60 | 78 | 79 | 95 | 12 | 445 |
| | 学級数 | 2 | 2 | 2 | 3 | 3 | 3 | 3 | 18 |
| 相楽小学校 | 児童数 | 53 | 53 | 65 | 73 | 72 | 74 | 10 | 400 |
| | 学級数 | 2 | 2 | 2 | 3 | 2 | 3 | 2 | 16 |
| 高の原小学校 | 児童数 | 44 | 57 | 47 | 51 | 52 | 40 | 6 | 297 |
| | 学級数 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 3 | 3 | 15 |
| 相楽台小学校 | 児童数 | 49 | 37 | 38 | 40 | 47 | 31 | 13 | 255 |
| | 学級数 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 1 | 4 | 15 |
| 木津川台小学校 | 児童数 | 39 | 28 | 43 | 60 | 57 | 60 | 5 | 292 |
| | 学級数 | 2 | 1 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 13 |
| 梅美台小学校 | 児童数 | 108 | 109 | 134 | 137 | 164 | 164 | 22 | 838 |
| | 学級数 | 4 | 4 | 4 | 4 | 5 | 5 | 5 | 31 |
| 州見台小学校 | 児童数 | 77 | 78 | 113 | 103 | 89 | 125 | 28 | 613 |
| | 学級数 | 3 | 3 | 4 | 3 | 3 | 4 | 7 | 27 |
| 城山台小学校 | 児童数 | 288 | 281 | 210 | 233 | 181 | 138 | 36 | 1367 |
| | 学級数 | 9 | 9 | 7 | 7 | 6 | 5 | 9 | 52 |
| 加茂小学校 | 児童数 | 38 | 40 | 45 | 30 | 50 | 40 | 6 | 249 |
| | 学級数 | 2 | 2 | 2 | 1 | 2 | 2 | 2 | 13 |
| 恭仁小学校 | 児童数 | 6 | 9 | 7 | 5 | 9 | 7 | 1 | 44 |
| | 学級数 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 6 |
| 南加茂台小学校 | 児童数 | 14 | 17 | 19 | 26 | 26 | 29 | 8 | 139 |
| | 学級数 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 8 |
| 上猶小学校 | 児童数 | 15 | 20 | 14 | 24 | 23 | 19 | 7 | 122 |
| | 学級数 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 8 |
| 棚倉小学校 | 児童数 | 27 | 44 | 32 | 46 | 31 | 50 | 26 | 256 |
| | 学級数 | 1 | 2 | 1 | 2 | 1 | 2 | 5 | 14 |
| 計 | 児童数 | 815 | 837 | 827 | 906 | 880 | 872 | 180 | 5,317 |
| | 学級数 | 32 | 32 | 31 | 31 | 31 | 32 | 47 | 236 |

イ 児童数の推移

各年 5月1日現在 (単位:人)

| 年 度 | 平成27年 | 平成28年 | 平成29年 | 平成30年 | 令和元年 | 令和2年 | 令和3年 | 令和4年 |
|----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 木津 小学校 | 522 | 529 | 549 | 546 | 531 | 514 | 464 | 445 |
| 相楽 小学校 | 390 | 393 | 407 | 421 | 411 | 417 | 413 | 400 |
| 高の原 小学校 | 365 | 357 | 333 | 336 | 308 | 296 | 300 | 297 |
| 相楽台 小学校 | 246 | 235 | 228 | 229 | 233 | 229 | 240 | 255 |
| 木津川台 小学校 | 620 | 579 | 529 | 495 | 446 | 401 | 330 | 292 |
| 梅美台 小学校 | 1007 | 1035 | 1,080 | 1,054 | 1,018 | 979 | 895 | 838 |
| 州見台 小学校 | 810 | 775 | 782 | 729 | 712 | 671 | 620 | 613 |
| 城山台 小学校 | 188 | 308 | 432 | 597 | 828 | 991 | 1,185 | 1,367 |
| 加茂 小学校 | 375 | 353 | 331 | 310 | 291 | 271 | 256 | 249 |
| 恭仁 小学校 | 48 | 44 | 42 | 44 | 44 | 48 | 48 | 44 |
| 南加茂台 小学校 | 222 | 200 | 181 | 172 | 167 | 159 | 139 | 139 |
| 上狹 小学校 | 187 | 189 | 181 | 182 | 173 | 142 | 139 | 122 |
| 棚倉 小学校 | 334 | 336 | 338 | 316 | 295 | 282 | 275 | 256 |
| 計 | 5,314 | 5,333 | 5,413 | 5,431 | 5,457 | 5,400 | 5,304 | 5,317 |

(3) 中学校

ア 生徒数

令和4年 5月1日現在 (単位:人, 学級)

| 項目 学校名 | 1年 | | 2年 | | 3年 | | 特別支援学級 | | 計 | |
|-----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|--------|-----|-------|-----|
| | 生徒数 | 学級数 | 生徒数 | 学級数 | 生徒数 | 学級数 | 生徒数 | 学級数 | 生徒数 | 学級数 |
| 木津 中学校 | 231 | 6 | 235 | 6 | 200 | 6 | 17 | 4 | 683 | 22 |
| 木津第二中学校 | 133 | 4 | 167 | 5 | 160 | 5 | 15 | 2 | 475 | 16 |
| 木津南中学校 | 238 | 7 | 300 | 8 | 297 | 8 | 10 | 2 | 845 | 25 |
| 泉州 中学校 | 63 | 3 | 89 | 3 | 88 | 3 | 13 | 3 | 253 | 12 |
| 山城 中学校 | 77 | 3 | 74 | 3 | 84 | 3 | 7 | 2 | 242 | 11 |
| 計 | 742 | 23 | 865 | 25 | 829 | 25 | 62 | 13 | 2,498 | 86 |

イ 生徒数の推移

各年 5月1日現在 (単位:人)

| 年 度 | 平成27年 | 平成28年 | 平成29年 | 平成30年 | 令和元年 | 令和2年 | 令和3年 | 令和4年 |
|---------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 木津 中学校 | 408 | 454 | 469 | 476 | 528 | 561 | 649 | 683 |
| 木津第二中学校 | 595 | 571 | 578 | 550 | 544 | 510 | 508 | 475 |
| 木津南中学校 | 618 | 673 | 717 | 755 | 779 | 830 | 870 | 845 |
| 泉州 中学校 | 330 | 333 | 324 | 314 | 281 | 277 | 266 | 253 |
| 山城 中学校 | 242 | 244 | 244 | 230 | 237 | 253 | 252 | 242 |
| 計 | 2,193 | 2,275 | 2,332 | 2,325 | 2,369 | 2,431 | 2,545 | 2,498 |

IV 社 会 教 育

1 社会教育指導の重点

～生涯学習推進計画を着実に進めるために～

木津川市では、平成26年3月に「木津川市生涯学習推進計画～きずなプラン～」を策定しました。この計画の基本理念である「人をはぐくみ こころを結び まちを創る」の実現を目指し、年度ごとの目標や具体的な施策などを社会教育関係者等に示すことを目的として、令和4年度「社会教育の重点」を定めます。

重点課題1 生涯学習を支える基盤整備を行う

①学習情報の総合的な収集・整理を行い、市民に情報を提供する

- ・生涯学習関連情報の提供

②気軽に生涯学習に取り組むことができるよう機会の充実を図る

- ・夜間、休日開催講座の充実
- ・人権に関する学習機会の充実
- ・男女共同参画社会実現に向けた学習機会の充実
- ・子どもの体験活動の推進
- ・親子でふれあえる機会の拡大
- ・ニュースポーツの普及

③地域的課題や現代的課題に対応した学習内容の設定を行う

- ・地域課題解決のための支援
- ・市民の防災意識を高めるための学習機会の充実
- ・郷土への愛着を深めるための取り組み
- ・放課後の子どもたちの安全な居場所づくり

④気軽に相談を行うことができるよう相談体制の充実を図る

- ・気軽に相談ができる窓口の設置
- ・市内で活動する団体、サークルの活動状況の把握
- ・団体、サークルが求める情報の提供

⑤生涯学習施設をより利用しやすい施設とするための整備を行う

- ・利用者の声を施設運営に反映させる
- ・各施設の機能の充実を図る

重点課題2 市民との連携・協働を図る

①学校・地域・家庭の連携・協働を促進し、地域による学校支援充実を図る

- ・放課後子ども総合プラン推進事業の充実
- ・地域学校協働本部事業の充実
- ・社会総がかりで子どもを守り、育てる体制づくりを行う

②NPOや企業・高等教育機関との連携を図る

- ・NPOや民間教育事業者等との連携を行う
- ・京都府や関係機関と連携した学習支援の充実を図る

- ・学研都市研究所等との連携を図る

③地域交流活動を支援し、人と人とのネットワークづくりを推進する

- ・世代を超えた交流を図る事業への支援を行う
- ・多くの人が参加できる催しの開催
- ・国際理解を深めるための取り組みの推進

④リーダーとなる人材の発掘と育成を図る

- ・幅広い年齢層におけるリーダーの育成を行う
- ・特技や能力を持った人材の掘り起しと活動の場の提供に努める

重点課題3 生涯学習推進都市を目指す

①講師・ボランティア情報の収集と整理を行い、市民に的確な情報を提供する

- ・指導者、ボランティア情報の一元化を図る
- ・登録者に講師を依頼するなど積極的な活用を図る

②自主グループ活動への支援を行い、地域コミュニティ活動を推進する

- ・市民主体の地域づくりにつながる事業を推進する
- ・地域的課題解決の支援を行う
- ・地域子ども会の育成、支援を行う

③学んだ成果を発表できる場の提供や成果を活かせる機会を積極的に創出する

- ・学びの成果を発表する機会の充実を図る
- ・発表の場が交流の場となるよう内容の充実を図る

④市民の様々な活動を支援し、まちづくりへの発展を促進する

- ・ボランティア活動に関するコーディネート機能の充実を図る
- ・社会教育施設間のネットワーク化を図る

2 施設

(1) 公民館

| | |
|---------|------------------------------|
| 名 称 | 南加茂台公民館 |
| 所 在 地 | 南加茂台5丁目2番地3 |
| 開 館 時 間 | 午前9時～午後10時（但し、水・木・日は午後5時まで） |
| 電 話 | 76-5959 |
| 休 館 | 月曜日、祝日、12月29日～翌年1月3日 |
| 設 備 | ホール、和室、集会室、料理室、トレーニングルーム、工作室 |

| | |
|---------|----------------------|
| 名 称 | 瓶原公民館 |
| 所 在 地 | 加茂町岡崎考14番地 |
| 開 館 時 間 | 午前9時～午後10時 |
| 休 館 | 月曜日、祝日、12月29日～翌年1月3日 |
| 設 備 | 会議室大、会議室小、和室、料理室 |

(2) 図書館

| | |
|---------|--|
| 名 称 | 中央図書館 |
| 所 在 地 | 木津町内垣外36番地 |
| 電 話 | 72-2980 |
| 資 料 数 | (資料数は令和4年3月31日現在) 総合計 146, 374冊 |
| | 内 図書 134, 035冊 (一般書92, 150冊、児童書41, 885冊) 雑誌 8, 931冊 (タイトル123誌) 視聴覚資料 3, 408タイトル (VHS・DVD・CD・カセットテープ) |
| | 新聞 9紙 |
| 開 館 時 間 | 火～金曜日 午前9時30分～午後6時 土・日曜日 午前9時30分～午後5時 |
| 休 館 日 | 月曜日・祝日・館内整理日 (毎月最終金曜日。ただし12月のみ28日)・ 年末年始・特別整理期間 |
| 名 称 | 加茂図書館 |
| 所 在 地 | 加茂町里南古田156番地 |
| 電 話 | 76-6466 |
| 資 料 数 | (資料数は令和4年3月31日現在) 総合計 84, 848冊 |
| | 内 図書 81, 336冊 (一般書51, 237冊、児童書30, 099冊) 雑誌 3, 100冊 (タイトル 77誌) 視聴覚資料 412タイトル (VHS・CD・DVD) 新聞 7紙 |
| 開 館 時 間 | 火～金曜日 午前9時30分～午後6時 土・日曜日 午前9時30分～午後5時 |
| 休 館 日 | 月曜日・祝日・館内整理日 (毎月最終金曜日。ただし12月のみ28日)・ 年末年始・特別整理期間 |
| 名 称 | 山城図書館 |
| 所 在 地 | 山城町平尾前田24番地 (山城総合文化センターアスピアやましろ内) |
| 電 話 | 86-5001 |
| 資 料 数 | (資料数は令和4年3月31日現在) 総合計 110, 587冊 |
| | 内 図書 105, 993冊 (一般書69, 952冊、児童書36, 041冊) 雑誌 3, 153冊 (タイトル92誌) 視聴覚資料 1, 441タイトル (VHS・DVD) 新聞 8紙 |
| 開 館 時 間 | 火～金曜日 午前9時30分～午後6時 土・日・祝日 午前9時30分～午後5時 |
| 休 館 日 | 月曜日・祝日の翌日・館内整理日 (毎月最終金曜日。ただし12月のみ2 |

8日)・年末年始・特別整理期間

(3) 文化ホール

| | |
|---------|--|
| 名 称 | 加茂文化センター（あじさいホール） |
| 所 在 地 | 加茂町里南古田156番地 |
| 電 話 | 76-4611 |
| 開 館 時 間 | 午前9時～午後10時 |
| 休 館 日 | 月曜日（祝日の場合は翌日と翌々日）、祝日の翌日 12月28日～翌年1月4日 |
| 設 備 | ホール、楽屋、リハーサル室、研修室、プレイルーム、展示コーナー、調理室、ランチルーム、音楽室、創作室、工作室、和室、茶室、録音室 |
| 名 称 | 山城総合文化センター（アスピアやましろ） |
| 所 在 地 | 山城町平尾前田24番地 |
| 電 話 | 86-5851 |
| 開 館 時 間 | 午前9時～午後10時 |
| 休 館 日 | 月曜日、祝日の翌平日（月曜日と重なる場合はその翌日） 12月28日～翌年1月4日 |
| 設 備 | ホール、控室、練習室、研修室、視聴覚室、和室、創作室、スクエア、イベント広場 |

(4) 交流会館

| | |
|---------|------------------------------------|
| 名 称 | 中央交流会館（いづみホール） |
| 所 在 地 | 木津宮ノ内92番地 |
| 電 話 | 72-8800 |
| 開 館 時 間 | 午前9時～午後10時 |
| 休 館 日 | 月曜日、12月29日～翌年1月3日 |
| 設 備 | 多目的ホール、研修室、クラフト室、調理教室、会議室、和室、多目的広場 |
| 名 称 | 西部交流会館 |
| 所 在 地 | 相楽高下4番地9 |
| 電 話 | 73-6888 |
| 開 館 時 間 | 午前9時～午後10時 |
| 休 館 日 | 月曜日、12月29日～翌年1月3日 |
| 設 備 | 集会室、会議室、和室 |
| 名 称 | 東部交流会館 |
| 所 在 地 | 木津宮ノ堀149番地 |
| 電 話 | 71-8130 |
| 開 館 時 間 | 午前9時～午後10時 |
| 休 館 日 | 月曜日、12月29日～翌年1月3日 |
| 設 備 | 多目的ホール、調理教室、カルチャールーム1・2、和室1・2、屋外広場 |

(5) スポーツ施設

| | |
|-----|-------|
| 名 称 | 中央体育館 |
|-----|-------|

| | |
|-------|--|
| 所 在 地 | 木津石塚147番地 |
| 貸出時間 | 午前9時～午後10時 |
| 休館日 | 火曜日、12月28日～翌年1月3日 |
| 名 称 | 市民スポーツセンター（アリーナ・テニスコート2面） |
| 所 在 地 | 木津田中前40番地1 |
| 貸出時間 | 午前9時～午後10時 |
| 休館日 | 月曜日、12月28日～翌年1月3日 |
| 名 称 | 木津グラウンド |
| 所 在 地 | 木津川端69番地1 |
| 貸出時間 | 午前8時～日没 |
| 休業日 | 12月28日～翌年1月3日 |
| 名 称 | 兜谷公園（グラウンド・テニスコート2面） |
| 所 在 地 | 兜台6丁目4番地 |
| 貸出時間 | グラウンド 午前9時～日没 テニスコート 午前9時～午後10時 |
| 名 称 | 木津川台公園（グラウンド・テニスコート3面） |
| 所 在 地 | 木津川台6丁目4番地3 |
| 貸出時間 | グラウンド 午前9時～日没 テニスコート 午前9時～午後10時 |
| 名 称 | 梅美台公園（テニスコート2面） |
| 所 在 地 | 梅美台一丁目9番地 |
| 貸出時間 | テニスコート 午前9時～午後10時 |
| 名 称 | 加茂グラウンド |
| 所 在 地 | 加茂町大野中字称57番地 |
| 貸出時間 | 午前8時～日没 |
| 休業日 | 12月28日～翌年1月3日 |
| 名 称 | 赤田川グラウンド |
| 所 在 地 | 加茂町里赤田川1番地 |
| 貸出時間 | 午前8時～日没 |
| 休業日 | 12月28日～翌年1月3日 |
| 名 称 | 塚穴公園（テニスコート2面） |
| 所 在 地 | 南加茂台6丁目14番地 |
| 貸出時間 | 午前9時～午後5時 |
| 休業日 | 12月28日～翌年1月3日 |
| 名 称 | 不動川公園（多目的広場・テニスコート） |
| 所 在 地 | 山城町平尾大谷1番地 |
| 貸出時間 | 多目的広場 午前8時30分～午後5時30分季節により時間が変わります。 テニスコート 午前9時～午後5時 季節により時間が変わります。 |

| | |
|---------|---|
| 名 称 | やすらぎタウン山城プール |
| 所 在 地 | 山城町椿井柳田 26 番地 |
| 貸 出 時 間 | 午前 10 時 30 分～午後 8 時 30 分 時期により時間が変わります。 |
| 名 称 | 上狹駅東公園 (テニスコート 3 面兼フットサルコート) |
| 所 在 地 | 山城町上狹北野田芝 60 番地 |
| 貸 出 時 間 | 午前 9 時～午後 9 時 |
| 名 称 | 山城コミュニティ運動広場 (グラウンドゴルフ専用) |
| 所 在 地 | 山城町上狹川原 3 番地 |
| 貸 出 時 間 | 午前 8 時～日没 |
| 休 業 日 | 12 月 28 日～翌年 1 月 3 日 |
| 名 称 | 城址公園 (グラウンド・テニスコート 3 面) |
| 所 在 地 | 城山台 8 丁目 5 |
| 貸 出 時 間 | グラウンド 午前 9 時～午後 5 時 テニスコート 午前 9 時～午後 5 時 |

(6) その他の施設

| | |
|---------|------------------------------------|
| 名 称 | 加茂青少年山の家 (平成 30 年 4 月 1 日から運営停止) |
| 所 在 地 | 加茂町尻枝七辻 15 番地 1 |
| 設 備 | 和室 35 料、和室 15 料 2 室、和室 10 料 6 室、食堂 |
| 名 称 | 青少年育成施設 (テニスコート・ゲートボール場) |
| 所 在 地 | 加茂町尻枝七辻 15 番地 1 |
| 受 付 | 南加茂台公民館 (電話 76-5959) |
| 貸 出 時 間 | 午前 8 時～午後 10 時 |
| 休 業 日 | 12 月 28 日～翌年 1 月 4 日 |
| 名 称 | 加茂青少年センター |
| 所 在 地 | 加茂町里中森 101 番地 |
| 電 話 | 76-6900 |
| 開 館 時 間 | 午前 10 時～午後 10 時 |
| 休 館 日 | 月曜日、祝日、12 月 29 日～翌年 1 月 3 日 |
| 設 備 | 会議室、いこいの部屋、ふれ合い室、学習室、多目的ホール |
| 名 称 | 当尾の郷会館 |
| 所 在 地 | 加茂町辻下垣外 16 番地 |
| 電 話 | 76-2234 |
| 開 館 時 間 | 午前 9 時～午後 10 時 |
| 休 館 日 | 月曜日、祝日、12 月 29 日～翌年 1 月 3 日 |
| 設 備 | 会議室、研修室、調理室、工作室、体育館、グラウンド、サロン |

V 文化財保護

1 木津川市の歴史と文化財

木津川市は、近畿地方の中心、京都府南部の山城地域に位置し、南は奈良（大和）と境界を接し、京都・大阪の中心部から30km圏内にあります。本市は北東部の山塊と南西部の京阪奈丘陵に挟まれ、中央を東西に貫流する木津川は、古来、淀川を通じて瀬戸内海に入り、東アジアの国々と繋がる大和の北の玄関口として一翼を担いながら、この地に遡って流入する人や物資、文化の痕跡や大和の影響を色濃く残す特異な文化を発展させてきました。

日本の国が統一されていく時期に重要な位置を占めていた有力者の首長墓である椿井大塚山古墳（国史跡）や渡来人との関係が指摘される古代寺院の高麗寺（国史跡）などは木津川を見下ろす位置に造られています。

古代には、大和の北入口として木津川沿いに「泉津」が設けられ、都の外港として建築部材や物資の集積地となり、これが「木津」の地名の由来となっています。泉津から遡った瓶原には恭仁宮（国史跡）が造営され、短命ではありましたが、日本の首都として国政の中心となり、国分寺・国分尼寺建立の詔などもこの地で出されました。

都が平城京から平安京へ移り、この地は二都の間の地域として、水路と陸路の往還地となり、多様で豊かな農業生産が発展しました。また、大和の背後に位置する当尾地域では、淨瑠璃寺（特別名勝庭園、国宝本堂、同三重塔、同九体阿弥陀仏など）や岩船寺（重要文化財三重塔、同木造阿弥陀如来坐像など）を中心に南都仏教の修行場が形成され、北東部の山間地域においても海住山寺（国宝五重塔、重要文化財木造四天王立像など）や神童寺（重要文化財本堂、同木造愛染明王坐像ほか）が復興されています。

中世には自治的な村落ができ、米・麦などとともに、早くから茶が栽培されるようになり、交通の要衝地として商業活動も活発となりました。戦乱の世になると、この地の土豪たちを中心に起こった山城国一揆により「自治」の郷づくりをめざしました。

近世には農地も増え、綿、茶、豆類、大根、ごぼう、柿、筍など多くの作物が生産され、今日の近郊農業の基盤となりました。特に茶は幕末から明治にかけて木津川水運を利用して海外への輸出が増大し、その集散地として発展しました。また、高級麻織物である奈良晒の技術を活かした相楽木綿は京都府域最大の産地として昭和戦前まで続きました。

合併により昭和26年に木津町と加茂町が、昭和31年には山城町が成立しました。そして、平成19年には3町が合併して現在の木津川市が誕生しました。

このように、歴史に恵まれた木津川市には、国宝6件、特別名勝1件、重要文化財45件、国史跡7件のほか多数の府指定等文化財、市指定文化財があります。これらの文化財を守るために平成28年3月に木津川市文化財保存活用基本計画を策定しました。

2 木津川市の文化財保存活用基本計画の方針

文化財の保存・活用には、まず文化財の基礎調査およびその特性の研究が必要です。ここでは文化財の調査、整理、指定、管理、整備、修復、活用までの基本方針を示します。

本計画において取り扱う文化財とは、椿井大塚山古墳、高麗寺跡、恭仁宮跡（山城国分寺跡）、

奈良山瓦窯跡などの史跡や蟹満寺、淨瑠璃寺、海住山寺などが所有する国宝および重要文化財に指定された建造物や美術工芸品をはじめ、府指定・登録や木津川市指定などの有形・無形民俗文化財、地域の風土（自然）、地勢、街道、街並みなどの環境に根ざした文化財を対象とします。また、未指定である文化財も対象とします。

（1）調査・研究

第1段階は、各文化財の保存・活用の基礎となる調査を個別に行います。

既存資料を整理した上で、木津川市を構成する文化財の整理、通常職務に際しての情報把握によりその内容を充実させ、その文化財がどのような環境におかれ、歴史的な位置付けができるのか評価します。

第2段階は、認知された文化財の保護の緊急性や重要性を把握するための詳細調査を文化財個別に行います。文化財の特性を研究し把握することで、その後の保護の方向性を捉え、報告書等の作成を推進します。

なお、詳細調査は、滅失等の危険性が高い文化財の記録を優先することとし、本市にとって重要な文化財については実態の解明に努めます。

（2）整理・共有化

各文化財の調査・研究を踏まえて、文化財台帳の記録整理によりデータベースの構築を図ります。特に重要な文化財は、定期的な実態調査を実施し、文化財指定等へ向けて指定台帳等への記録に応えうる整理を行います。

文化財種別ごとのデータベースにより、今後の登録や指定の措置の枠組みの確保ができます。また、既存の指定・登録文化財については、将来に継承していくため所有者等との協働による市の文化財について情報の共有化を図ります。なお、多種多様な文化財については、市民等の参画による発見とモニター等の導入を検討し、本市の歴史文化の理解と維持保全に努めます。

（3）指 定

指定しようとする文化財を前もって選定することで、木津川市文化財保護審議会に対して調査案件の事前周知を図るなど、今後の計画的かつ効率的な文化財指定を目指します。

また、緊急に指定による保護が必要な物件等については、即時に諮問可能な体制が必要であり、諮問機会の増加と連携強化を図ります。多くの文化財を滅失の危機から救うと同時に、どういったものが文化財なのかを市民等に実態としてわかりやすくなります。

（4）保存管理

文化財の保護は、その特性に応じて個々に講じられるものです。文化財保護法や木津川市文化財保護条例の文化財種別の中で整備に取り組み、今後の登録や指定による保護措置の枠組みを確保します。

指定や登録された文化財は、所有者等の同意を得て着実な保護に取り組みつつ、特に土地に帰属するあるいは面的な広がりのある文化財については、保存の方針を専門家や所有者等、周辺住民をはじめとする市民等と協働で作成するなど幅広い方々の意向や創造性を取り込んだ保護を検討します。

指定文化財に限らず全ての文化財は、実態と台帳内容との齟齬（そご）を避け、その配置や形態等の変化を具体的に把握するため、所有者や地域と連携協力しながら文化財の価値を維持するための保存（予防・修復・管理計画の策定と実施）を図ります。

また、管理主体が木津川市である史跡や建造物等では地域や団体と連絡調整を行うとともに、各種関連法令等に基づき管理します。

文化財を木津川市の貴重な遺産として、将来にわたって末永く継承していくため、市民等と

市の協働によるまちづくりを展望し、多種多様の文化財の特性や現状等を常に市民と共有しておくことが求められます。

(5) 整備・活用・修復

指定された文化財は、本市の歴史文化を広く周知するために広報誌やホームページ、地域の各種団体、小中学校などへの積極的な公開を推進します。当面は府内データベースとして関係各課によるまちづくりへの活用を要請する一方で、所有者等の理解を得ながら将来的な公開を実現します。

国指定史跡等は、本市の歴史文化の理解を深めるために関係機関との連携により必要な環境整備を検討します。修復が必要な文化財については、国・府・所有者等と調整しながら適切な処置を行います。文化財に関する講演会や展示も市広報誌やホームページ等を活用して広く市内外へ情報発信していきます。

また、地域基盤を形作った身近な文化財でも周知されていないものが多いことから、整備や修復を実施した後は公開に努めます。

3 文化財普及啓発活動の取組み

文化財を大切にする心を育むため以下の取り組みを行います。

- ・木津川市ふれあい文化講座（年4回）
- ・学研立地企業や市内小中学校、地域への出前授業への職員派遣
- ・市内小中学校教員新規採用者への文化財現地説明
- ・市役所多目的スペース（住民活動スペースや2階エレベーター前展示ロビーなど）や市内小中学校での文化財展示事業
- ・発掘調査現場での体験学習、調査成果の公開
- ・「くにのみや学習館」、「アスピア山城」での恭仁宮跡・椿井大塚山古墳の紹介
- ・史跡恭仁宮跡公有地における花栽培
- ・文化財パンフレットの刊行・配布、旧町史など文化財書籍販売

4 施設

| | |
|---------|--------------------------------------|
| 名 称 | 文化財整理保管センター |
| 所 在 地 | 南加茂台6丁目18番地 |
| 電 話 | 75-1232（文化財保護課） |
| 開 館 時 間 | 午前9時～午後5時 |
| 休 館 日 | 祝日、12月28日～翌年1月4日 |
| 設 備 | 多目的室 |
| 名 称 | 文化財整理保管センター分室（くにのみや学習館） |
| 所 在 地 | 加茂町岡崎28番地 |
| 電 話 | 76-9202 |
| 開 館 時 間 | 午前9時～午後5時 |
| 休 館 日 | 月曜日（月曜日が休日の場合翌日が休館） 12月28日～翌年1月4日 |
| 設 備 | 多目的室、資料展示室 |

木津川市の文化財

●美術・工芸品の部

| No. | 指定級 | 名 称 | 種 別 | 員 数 | 年 代 | 指 定 日 | 所 有 者・管 理 者 | 所 在 地 |
|-----|-----|-----------------------|-------|---------|------------------------------|-------------|-------------|--|
| 1 | 国 | 銅造釈迦如来坐像 | 彫刻 | 1 軸 | 奈良時代 | 明治30年12月28日 | (宗)寶満寺 | 山城町綺田浜36 |
| 2 | 宝 | 木造四天王立像 | 彫刻 | 4 軸 | 平安時代 | 明治34年3月27日 | (宗)淨瑠璃寺 | 増長天・持國天：本堂 広目天：東京国立博物館館勧告 多聞天：京都国立博物館館勧告 |
| 3 | | 木造阿弥陀如来坐像 | 彫刻 | 9 軸 | 平安時代 | 明治34年8月2日 | (宗)淨瑠璃寺 | 加茂町西小札場40 |
| 1 | | 厨子入木造吉祥天立像 | 彫刻 | 1 軸 | 建暦 2 (1212) | 明治30年12月18日 | (宗)淨瑠璃寺 | 加茂町西小札場40 |
| 2 | | 木造馬頭觀音立像 | 彫刻 | 1 軸 | 仁治 2 (1241) | 明治34年8月2日 | (宗)淨瑠璃寺 | 奈良国立博物館勧告 |
| 3 | | 木造地蔵菩薩立像 | 彫刻 | 1 軸 | 平安時代 | 明治34年8月2日 | (宗)淨瑠璃寺 | 加茂町西小札場40 |
| 4 | | 木造渠師如来坐像 | 彫刻 | 1 軸 | 永承 2 (1047) | 明治34年8月2日 | (宗)西明寺 | 加茂町大野大野27 |
| 5 | | 木造渠師如来坐像 | 彫刻 | 1 軸 | 平安時代 | 明治37年2月18日 | (宗)淨瑠璃寺 | 加茂町西小札場40 |
| 6 | | 木造地蔵菩薩立像 | 彫刻 | 1 軸 | 平安時代 | 明治37年2月18日 | (宗)淨瑠璃寺 | 東京国立博物館勧告 |
| 7 | | 木造十一面觀音立像 | 彫刻 | 1 軸 | 平安時代 | 明治42年4月5日 | (宗)大智寺 | 木津雲村42-1 |
| 8 | | 木造十一面觀音立像 | 彫刻 | 1 軸 | 平安時代 | 明治42年4月5日 | (宗)法泉寺 | 相樂才ノ神43 |
| 9 | 重 | 木造十一面觀音菩薩立像 | 彫刻 | 1 軸 | 平安時代 | 明治42年4月5日 | (宗)海住山寺 | 加茂町例幣海住山20 |
| 10 | | 木造十一面觀音菩薩立像 | 彫刻 | 1 軸 | 平安時代 | 明治42年4月5日 | (宗)海住山寺 | 奈良国立博物館承認 |
| 11 | 要 | 絹本着色法華経曼荼羅図 | 絵画 | 1 幅 | 鎌倉時代 | 明治42年4月5日 | (宗)海住山寺 | 京都国国立博物館寄託 |
| 12 | | 木造不動明王及二童子立像 | 彫刻 | 3 軸 | 応長元(1311) | 明治43年4月20日 | (宗)淨瑠璃寺 | 加茂町西小札場40 |
| 13 | | 木造阿弥陀如来坐像 | 彫刻 | 1 軸 | 天慶 9 (946) | 明治43年8月29日 | (宗)岩船寺 | 加茂町岩船上ノ門43 |
| 14 | | 厨子入木造普賢菩薩像 | 彫刻 | 1 軸 | 平安時代 | 明治43年8月29日 | (宗)岩船寺 | 加茂町岩船上ノ門43 |
| 15 | 文 | 木造文殊菩薩坐像 | 彫刻 | 1 軸 | 鎌倉時代 | 大正2年4月14日 | (宗)大智寺 | 木津雲村42-1 |
| 16 | | 木造愛染明王坐像 | 彫刻 | 1 軸 | 鎌倉時代 | 大正2年4月14日 | (宗)現光寺 | 加茂町北山ノ上 9 |
| 17 | | 木造不動明王立像 | 彫刻 | 1 軸 | 平安時代 | 大正2年4月14日 | (宗)神童寺 | 山城町神童子不晴谷112 |
| 18 | 化 | 木造不動明王立像 | 彫刻 | 1 軸 | 平安時代 | 大正2年4月14日 | (宗)神童寺 | 山城町神童子不晴谷112 |
| 19 | | 木造阿弥陀如来坐像 | 彫刻 | 1 軸 | 平安時代 | 大正2年4月14日 | (宗)神童寺 | 山城町神童子不晴谷112 |
| 20 | | 木造毘沙門天立像 | 彫刻 | 1 軸 | 平安時代 | 大正2年4月14日 | (宗)神童寺 | 山城町神童子不晴谷112 |
| 21 | 財 | 木造日光月光菩薩立像 | 彫刻 | 2 軸 | 平安時代 | 大正2年4月14日 | (宗)神童寺 | 山城町神童子不晴谷112 |
| 22 | | 木造伎楽面 | 彫刻 | 1 面 | 建久 7 (1196) | 大正2年4月14日 | (宗)神童寺 | 奈良国立博物館寄託 |
| 23 | | 石燈籠 | 工芸 | 2 基 | 1 基：貞治 5 (1366) 1 基：南北朝時代 | 昭和38年2月14日 | (宗)淨瑠璃寺 | 加茂町西小札場40 |
| 24 | | 海住山寺文書 | 古文書 | 24通・16巻 | 鎌倉～室町時代 | 昭和47年5月30日 | (宗)海住山寺 | 京都国国立博物館寄託 |
| 25 | | 木造渠師如来坐像 | 彫刻 | 1 軸 | 平安時代 | 昭和49年6月8日 | (宗)高田寺 | 加茂町高田奥奥畠54 |
| 26 | | 三重塔初重壁画十六羅漢像 | 絵画 | 16面 | 平安時代 | 昭和52年6月11日 | (宗)淨瑠璃寺 | 加茂町西小札場40 |
| 27 | | 絹本着色仏涅槃図 附寛正三年六月施入旧裏書 | 絵画 | 1 幅・1巻 | 鎌倉時代 | 昭和52年6月11日 | (宗)常念寺 | 京都国国立博物館寄託 |
| 28 | | 淨瑠璃寺流記 附淨瑠璃寺縁起 | 書跡・典籍 | 1 冊・1巻 | 南北朝時代 | 平成4年6月22日 | (宗)淨瑠璃寺 | 加茂町西小札場40 |
| 29 | | 木造四天王立像 | 彫刻 | 4 軸 | 鎌倉時代 | 平成9年6月30日 | (宗)海住山寺 | 奈良国立博物館寄託 |

| | | | | | | | | |
|----|---|------------------------|---------|---|-------------------------|----------------------|---------------|------------------|
| 1 | 木造薬師如来坐像 | 彫刻 | 1 軸 | 平安時代 | 昭和58年4月15日 | (宗)西念寺 | 鹿背山鹿曲田65 | |
| 2 | 梵鐘 | 工芸 | 1 口 | 正嘉元(1257) | 昭和58年4月15日 | (宗)海住山寺 | 奈良国立博物館寄託 | |
| 3 | 当尾磨崖仏 阿弥陀如来及兩脇侍坐像 弥勒如来立像・不動明王立像 | 彫刻 | 5 軸 | 阿：永仁7(1299) 弥：文永11(1274) 不：弘安10(1287) | 昭和60年5月15日 | 岩船区 | 加茂町岩船 | |
| 4 | 当尾磨崖仏 不動明王立像・毘沙明天立像 | 彫刻 | 2 軸 | 不：正中3(1326) | 昭和63年4月15日 | (宗)八幡宮 | 加茂町森陀羅尼田1 | |
| 5 | 木造四天王立像 | 彫刻 | 4 軸 | 毘：鎌倉時代 正応6(1293) | 昭和60年5月15日 | (宗)岩船寺 | 加茂町岩船上ノ門43 | |
| 6 | 絹本著色釋迦三尊十六羅漢図 附絹本着色三千 | 絵画 | 3幅・3幅 | 建武4～5 (1337～1338) | 昭和61年4月15日 | (宗)海住山寺 | 奈良国立博物館寄託 | |
| 7 | 府 指 定 | 木造扁額「海住山寺」 | 工芸 | 2 面 | 1面：承元2(1208) 1面：鎌倉時代 | 平成4年4月14日 | (宗)海住山寺 | 奈良国立博物館寄託 |
| 8 | 絹本著色春日宮曼荼羅十六善神図 | 絵画 | 1幅 | 鎌倉時代 | 平成4年3月26日 | (宗)海住山寺 | 京都国立博物館寄託 | |
| 9 | 曳覆曼荼羅版木 | 歴史資料 | 2 枚 | 永和元(1375) | 平成17年3月18日 | (宗)西明寺 | 加茂町大野大野27 | |
| 10 | 狛文書 | 古文書 | 25点 | 室町～江戸時代 | 平成24年3月23日 | 個人 | 京都府立山城郷土資料館寄託 | |
| 11 | 埴輪(上人ヶ平古墳群・上人ヶ平埴輪猪跡群出土) | 考古資料 | 一括(26点) | 古墳時代 | 平成30年3月23日 | 木津川市 | 木津川市 | |
| 12 | 木造千手観音立像 木造不空羈索觀音立像 木造十一面觀音立像 木造馬頭観音立像 附木造不空羈索觀音立像納入品 金剛能作性塔 | 彫刻 | 5 軸 | 鎌倉～南北朝時代 | 平成31年3月29日 | 一般財団法人川合 京都仏教美術財團 | 加茂町鬼並寺山44 | |
| 13 | 木造彩色宝珠台 | 工芸 | 1基 | 鎌倉～南北朝時代 | 令和4年3月22日 | (宗)海住山寺 | 加茂町例幣海住山20 | |
| 1 | 府 登 録 | 木造十王坐像 | 彫刻 | 十：10軸 俱：2軸 奪：1軸 | 文明6～8 (1474～1476) | 昭和59年4月14日 | (宗)常念寺 | 京都国立博物館寄託 |
| 2 | 木 不 造 | 木造俱生神半跏像 木造奪衣婆坐像 | 彫刻 | 1 軸 | 永仁4(1296) | 昭和60年5月15日 | (宗)淨瑠璃寺 | 加茂町西小社場40 |
| 3 | 木 紙 絵 | 木造日光・月光菩薩立像 木造色泊秀綱像 | 彫刻 | 2 軸 | 永正11(1514) | 昭和62年4月15日 | (宗)西念寺 | 鹿背山鹿曲田65 |
| 4 | 道 縫 | 木造阿弥陀如来立像 | 絵画 | 1幅 | 桃山時代 | 昭和62年4月15日 | (宗)西福寺 | 山城町上猪良町3 |
| 5 | 標 (伊賀街道) | 木造地蔵菩薩立像 | 工芸 | 11個 | 室町時代～近代 | 昭和63年4月15日 | (宗)淨瑠璃寺 | 加茂町西小社場40 |
| 1 | 木 袋 中 市 | 木造阿弥陀如來立像 | 歴史資料 | 4 基 | 江戸時代 | 昭和49年6月1日 | 木津川市 | 木津川市 |
| 2 | 製 錠 | 木造地蔵菩薩坐像 | 考古資料 | 1 口 | 弥生時代 | 昭和61年11月6日 | 木津川市 | 京都府立山城郷土資料館常設展示陳 |
| 3 | 木 袋 中 上 人 絵 詞 伝 | 木造地蔵菩薩立像 | 彫刻 | 1 軸 | 平安時代 | 昭和63年3月31日 | (宗)地藏院 | 加茂町中貝戸37 |
| 4 | 木 袋 中 上 人 絵 詞 伝 | 袋中上人絵詞伝 | 絵画 | 2巻 | 寛延2(1749) | 昭和63年3月31日 | (宗)鷲滻寺 | 京都府立山城郷土資料館寄託 |
| 5 | 木 泉 橋 寺 | 木造地蔵菩薩坐像 | 彫刻 | 1 軸 | 平安時代 | 昭和63年4月1日 | (宗)西教寺 | 木津雲村3 |
| 6 | 木 木 泉 橋 寺 | 木造阿弥陀如來立像 | 彫刻 | 1 軸 | 鎌倉時代 | 昭和63年4月1日 | (宗)心楽寺 | 梅谷南中ノ谷69 |
| 7 | 木 木 泉 橋 寺 | 木造如來形坐像 | 彫刻 | 1 軸 | 奈良時代 | 平成6年5月6日 | (宗)蟹満寺 | 山城町綺浜36 |
| 8 | 木 木 泉 橋 寺 | 泉橋寺石造地蔵菩薩坐像 | 彫刻 | 1 軸 | 鎌倉時代 | 平成11年5月11日 | (宗)泉橋寺 | 山城町上猪西下55 |
| 9 | 木 木 泉 橋 寺 | 木造牛頭天王半跏像 | 彫刻 | 2 軸 | 平安時代 | 平成13年4月9日 | (宗)松尾神社 | 京都府立山城郷土資料館寄託 |
| 10 | 木 木 泉 橋 寺 | 木造女神坐像 | 彫刻 | 2 軸 | 平安時代 | 平成13年4月9日 | (宗)松尾神社 | 京都府立山城郷土資料館寄託 |
| 11 | 狂 言 福 | 狂言福の神図並びに能猩々図絵馬 | 絵画 | 1面 | 江戸時代 | 平成13年4月9日 | (宗)松尾神社 | 京都府立山城郷土資料館寄託 |
| 12 | 絹本著色方便法身尊像 | 絵画 | 1幅 | 江戸時代 | 平成13年4月9日 | (宗)円成寺 | 山城町上猪西下52 | |
| 13 | 高井手瓦窯出土土鬼瓦 | 考古資料 | 4点 | 奈良時代 | 平成13年4月9日 | 木津川市 | 木津川市 | |

| | | | | | | | |
|----|---------------------|-------|--------------|------------|------------|---------|---------------|
| 14 | 山城国相楽郡鷲田村検地帳 | 古文書 | 1点 | 江戸時代 | 平成13年4月9日 | 木津川市 | 京都府立山城郷土資料館寄託 |
| 15 | 城州相楽郡平尾村入組片桐主膳正領分絵図 | 古文書 | 1点 | 江戸時代 | 平成13年4月9日 | 木津川市 | 京都府立山城郷土資料館寄託 |
| 16 | 大般若経 | 古文書 | 602巻 | 江戸時代 | 平成17年3月22日 | (宗)玉臺寺 | 京都府立山城郷土資料館寄託 |
| 17 | 木造弁才天十五童子像 | 彫刻 | 1基 | 江戸時代 | 平成18年3月31日 | (宗)泉橋寺 | 山城町椿井天敷堂37 |
| 18 | 木造地蔵菩薩立像 | 彫刻 | 1軀 | 鎌倉時代 | 平成19年2月26日 | 木津川市 | 山城町上泊西下55 |
| 19 | 山城町の考古遺物 | 考古資料 | 10点 | 弥生～古墳時代 | 平成26年3月31日 | (宗)安福寺 | 木津川市 |
| 20 | 木造阿弥陀如来坐像 | 彫刻 | 1軀 | 平安時代 | 平成26年3月31日 | (宗)岩船寺 | 木津宮ノ裏274 |
| 21 | 紙本着色岩船寺縁起 | 書跡・典籍 | 1巻 | 江戸時代 | 平成26年3月31日 | (宗)御靈神社 | 木津宮ノ裏43 |
| 22 | 木津浜絵馬 | 歴史資料 | 1面 | 文政11(1828) | 平成26年3月31日 | (宗)大智寺 | 木津雲村42-1 |
| 23 | 紙本着色桶注寺縁起 | 絵画 | 3巻 | 江戸時代 | 平成27年3月31日 | (宗)海住山寺 | 木津川市 |
| 24 | 紙本着色海住山寺縁起 | 絵画 | 2巻 | 江戸時代 | 平成27年3月31日 | (宗)海住山寺 | 木津雲村20 |
| 25 | 鹿背山焼陶磁器資料 | 歴史資料 | 107件 249点 | 江戸～明治時代 | 平成29年3月24日 | 木津川市 | 木津川市 |
| 1 | 緑本着色地蔵十五王図 地蔵菩薩像 | 絵画 | 1幅 | 中国・元時代 | 平成29年9月29日 | (宗)海住山寺 | 加茂町例幣海住山20 |
| 2 | 緑本着色地蔵十五王図 秦王像 | 絵画 | 1幅 | 中国・元時代 | 平成29年9月29日 | (宗)海住山寺 | 加茂町例幣海住山20 |
| 3 | 緑本着色地蔵十五王図 初江王像 | 絵画 | 1幅 | 中国・元時代 | 平成29年9月29日 | (宗)海住山寺 | 加茂町例幣海住山20 |
| 4 | 緑本着色地蔵十五王図 宗帝王像 | 絵画 | 1幅 | 中国・元時代 | 平成29年9月29日 | (宗)海住山寺 | 加茂町例幣海住山20 |
| 5 | 緑本着色地蔵十五王図 五官王像 | 絵画 | 1幅 | 中国・元時代 | 平成29年9月29日 | (宗)海住山寺 | 加茂町例幣海住山20 |
| 6 | 緑本着色地蔵十五王図 閻魔王像 | 絵画 | 1幅 | 中国・元時代 | 平成29年9月29日 | (宗)海住山寺 | 加茂町例幣海住山20 |
| 7 | 緑本着色地蔵十五王図 変成王像 | 絵画 | 1幅 | 中国・元時代 | 平成29年9月29日 | (宗)海住山寺 | 加茂町例幣海住山20 |
| 8 | 緑本着色地蔵十五王図 泰山王像 | 絵画 | 1幅 | 中国・元時代 | 平成29年9月29日 | (宗)海住山寺 | 加茂町例幣海住山20 |
| 9 | 緑本着色地蔵十五王図 平等王像 | 絵画 | 1幅 | 中国・元時代 | 平成29年9月29日 | (宗)海住山寺 | 加茂町例幣海住山20 |
| 10 | 緑本着色地蔵十五王図 都市王像 | 絵画 | 1幅 | 中国・元時代 | 平成29年9月29日 | (宗)海住山寺 | 加茂町例幣海住山20 |
| 11 | 緑本着色地蔵十五王図 五道輪王像 | 絵画 | 1幅 | 中国・元時代 | 平成29年9月29日 | (宗)海住山寺 | 加茂町例幣海住山20 |
| 12 | 板絵本着色十一面觀音來迎図 | 絵画 | 1幅 | 文明5(1473) | 平成29年9月29日 | (宗)海住山寺 | 加茂町例幣海住山20 |
| 13 | 板絵本着色補陀落山淨土図 | 絵画 | 1幅 | 文明5(1473) | 平成29年9月29日 | (宗)海住山寺 | 加茂町例幣海住山20 |
| 14 | 絹本着色阿弥陀淨土図 | 絵画 | 1幅 | 鎌倉時代 | 平成29年9月29日 | (宗)海住山寺 | 加茂町例幣海住山20 |
| 15 | 紙本着色海住山寺縁起(市指定と重複) | 絵画 | 1幅 | 江戸時代 | 平成29年9月29日 | (宗)海住山寺 | 加茂町例幣海住山20 |
| 16 | 緑本着色大威徳明王像 | 絵画 | 1幅 | 鎌倉時代 | 平成29年9月29日 | (宗)海住山寺 | 加茂町例幣海住山20 |
| 17 | 緑本着色十六羅漢図 その一 | 絵画 | 1幅 | 室町時代 | 平成29年9月29日 | (宗)海住山寺 | 加茂町例幣海住山20 |
| 18 | 緑本着色十六羅漢図 その二 | 絵画 | 1幅 | 室町時代 | 平成29年9月29日 | (宗)海住山寺 | 加茂町例幣海住山20 |
| 19 | 緑本着色十六羅漢図 その三 | 絵画 | 1幅 | 室町時代 | 平成29年9月29日 | (宗)海住山寺 | 加茂町例幣海住山20 |
| 20 | 緑本着色十六羅漢図 その四 | 絵画 | 1幅 | 室町時代 | 平成29年9月29日 | (宗)海住山寺 | 加茂町例幣海住山20 |
| 21 | 緑本着色十六羅漢図 その五 | 絵画 | 1幅 | 室町時代 | 平成29年9月29日 | (宗)海住山寺 | 加茂町例幣海住山20 |
| 22 | 緑本着色十六羅漢図 その六 | 絵画 | 1幅 | 室町時代 | 平成29年9月29日 | (宗)海住山寺 | 加茂町例幣海住山20 |
| 23 | 緑本着色十六羅漢図 その七 | 絵画 | 1幅 | 室町時代 | 平成29年9月29日 | (宗)海住山寺 | 加茂町例幣海住山20 |

| | | | | | | | |
|----|------------------------|-------|----------------|----------------------------|-------------|---------|------------------|
| 24 | 絹本着色十六羅漢図 その八 | 絵画 | 1幅 | 室町時代 | 平成29年9月29日 | (宗)海住山寺 | 加茂町例幣海住山20 |
| 25 | 絹本着色十六羅漢図 その九 | 絵画 | 1幅 | 室町時代 | 平成29年9月29日 | (宗)海住山寺 | 加茂町例幣海住山20 |
| 26 | 絹本着色十六羅漢図 その十 | 絵画 | 1幅 | 室町時代 | 平成29年9月29日 | (宗)海住山寺 | 加茂町例幣海住山20 |
| 27 | 絹本着色十六羅漢図 その十一 | 絵画 | 1幅 | 室町時代 | 平成29年9月29日 | (宗)海住山寺 | 加茂町例幣海住山20 |
| 28 | 絹本着色十六羅漢図 その十二 | 絵画 | 1幅 | 室町時代 | 平成29年9月29日 | (宗)海住山寺 | 加茂町例幣海住山20 |
| 29 | 絹本着色十六羅漢図 その十三 | 絵画 | 1幅 | 室町時代 | 平成29年9月29日 | (宗)海住山寺 | 加茂町例幣海住山20 |
| 30 | 絹本着色十六羅漢図 その十四 | 絵画 | 1幅 | 室町時代 | 平成29年9月29日 | (宗)海住山寺 | 加茂町例幣海住山20 |
| 31 | 絹本着色十六羅漢図 その十五 | 絵画 | 1幅 | 室町時代 | 平成29年9月29日 | (宗)海住山寺 | 加茂町例幣海住山20 |
| 32 | 絹本着色十六羅漢図 その十六 | 絵画 | 1幅 | 室町時代 | 平成29年9月29日 | (宗)海住山寺 | 加茂町例幣海住山20 |
| 33 | 絹本着色愛染明王像 | 絵画 | 1幅 | 鎌倉時代 | 平成29年9月29日 | (宗)海住山寺 | 加茂町例幣海住山20 |
| 34 | 絹本着色衆迦如来像 | 絵画 | 1幅 | 南北朝時代 | 平成29年9月29日 | (宗)海住山寺 | 加茂町例幣海住山20 |
| 35 | 絹本着色文殊菩薩像 | 絵画 | 1幅 | 南北朝時代 | 平成29年9月29日 | (宗)海住山寺 | 加茂町例幣海住山20 |
| 36 | 絹本着色普賢菩薩像 | 絵画 | 1幅 | 南北朝時代 | 平成29年9月29日 | (宗)海住山寺 | 加茂町例幣海住山20 |
| 37 | 絹本着色蓮華化生図 | 絵画 | 1幅 | 南北朝時代 | 平成29年9月29日 | (宗)海住山寺 | 加茂町例幣海住山20 |
| 38 | 絹本着色弥勒菩薩像 | 絵画 | 1幅 | 南北朝時代 | 平成29年9月29日 | (宗)現光寺 | 奈良国立博物館寄託 |
| 39 | 瓦谷1号墳出土品 | 考古資料 | 鉄短甲一領、 鉄冑一頭 | 古墳時代 | 平成29年9月29日 | 木津川市 | |
| 40 | 灰釉羊頭 橋ノ口遺跡出土 | 考古資料 | 一点 | 奈良時代 | 平成29年9月29日 | 木津川市 | |
| 41 | 海住山寺文書 | 古文書 | 一括 | 鎌倉～明治時代 | 平成29年12月27日 | (宗)海住山寺 | 加茂町例幣海住山20 |
| 42 | 鹿背山区有文書 | 古文書 | 一括 | 江戸～昭和 | 平成29年12月27日 | 鹿背山区 | 鹿背山鹿曲田77 |
| 43 | 三十八神社棟札類 | 古文書 | 一括 | 永正5 (1508)～ 昭和60 (1985) | 平成29年12月27日 | 観音寺区 | 加茂町観音寺中貝戸37垣添4の1 |
| 44 | 大般若経 | 書跡・典籍 | 599帖 | 平安～南北朝時代 | 平成30年3月23日 | (宗)海住山寺 | 加茂町例幣海住山20 |
| 45 | 般若心経 (千部心経) | 書跡・典籍 | 98巻 | 鎌倉時代 | 平成30年3月23日 | (宗)海住山寺 | 加茂町例幣海住山20 |
| 46 | 紺紙金字般若心経 | 書跡・典籍 | 7巻 | 鎌倉時代 | 平成30年3月23日 | (宗)海住山寺 | 加茂町例幣海住山20 |
| 47 | 般若心経 (五巻本) | 書跡・典籍 | 5巻 | 鎌倉時代 | 平成30年3月23日 | (宗)海住山寺 | 加茂町例幣海住山20 |
| 48 | 般若心経 (紙背消息本) | 書跡・典籍 | 1巻 | 鎌倉時代 | 平成30年3月23日 | (宗)海住山寺 | 加茂町例幣海住山20 |
| 49 | 鉄板 西山古墓出土 | 考古資料 | 2点 | 奈良時代 | 平成30年3月23日 | 木津川市 | 木津川市 |
| 50 | 弥生土器 砂原山墳墓出土 | 考古資料 | 2点 | 弥生時代 | 平成30年3月23日 | 木津川市 | 木津川市 |
| 51 | 甲冑埴輪 瓦谷遺跡2号埴輪窯出土 | 考古資料 | 1点 | 古墳時代 | 平成30年3月23日 | 木津川市 | 木津川市 |
| 52 | 三彩小壺 橋ノ口遺跡出土 | 考古資料 | 1点 | 奈良時代 | 平成30年3月23日 | 木津川市 | 木津川市 |
| 53 | 変形四首鏡 瓦谷古墳第2主体部出土 | 考古資料 | 1面 | 古墳時代 | 平成30年3月23日 | 木津川市 | 木津川市 |
| 54 | 六獸形鏡 内田山B1号墳出土 | 考古資料 | 1面 | 古墳時代 | 平成30年3月23日 | 木津川市 | 木津川市 |
| 55 | 紙本金地著色西王母葡萄桃図・紙本金地著色明皇 | 絵画 | 1双 | 桃山時代 | 令和2年3月27日 | (宗)海住山寺 | 加茂町例幣海住山20 |
| 56 | 紙本金地著色明皇擊梧桐図襖 | 絵画 | 4面 | 桃山時代 | 令和2年3月27日 | (宗)海住山寺 | 加茂町例幣海住山20 |
| 57 | 紙本墨画淡彩西湖図 | 絵画 | 4面 | 桃山時代 | 令和2年3月27日 | (宗)海住山寺 | 加茂町例幣海住山20 |
| 58 | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|----|-------------------|----|----|---------|-----------|---------|---------------|
| 59 | 絹本着色最勝曼荼羅図 | 絵画 | 1幅 | 鎌倉時代 | 令和3年3月30日 | (宗)現光寺 | 加茂町北山ノ上9 |
| 60 | 木造牛頭天王半跏像(市指定と重複) | 彫刻 | 2軀 | 平安時代 | 令和3年3月30日 | (宗)松尾神社 | 京都府立山城郷土資料館寄託 |
| 61 | 木造女神坐像(市指定と重複) | 彫刻 | 2軀 | 平安時代 | 令和3年3月30日 | (宗)松尾神社 | 京都府立山城郷土資料館寄託 |
| 62 | 木造大日如来坐像 | 彫刻 | 1軀 | 平安～鎌倉時代 | 令和4年3月22日 | (宗)淨瑠璃寺 | 加茂町西小札場40 |
| 63 | 木造阿弥陀如来坐像 | 彫刻 | 1軀 | 平安時代 | 令和4年3月22日 | (宗)現光寺 | 加茂町北山ノ上9 |
| 64 | 木造四天王立像 | 彫刻 | 4軀 | 鎌倉時代 | 令和4年3月22日 | (宗)現光寺 | 加茂町北山ノ上9 |

●建造物の部

| No. | 指定級 | 名 称 | 員 数 | 概 要 | 年 代 | 指 定 日 | 所 有 者・管 理 者 | 所 在 地 |
|-----|-----|-------------------|--------|----------------|------------|-------------|-------------|--------------|
| 1 | 国 宝 | 淨瑠璃寺三重塔(九体寺三重塔) | 1 基 | 三間三重塔 婆、檜皮葺 | 平安時代 | 昭和30年12月28日 | (宗)淨瑠璃寺 | 加茂町西小札場40 |
| 2 | 国 宝 | 淨瑠璃寺本堂(九体寺本堂) | 1 棟 | 一重、寄棟 造、本瓦葺 | 嘉承2(1107) | 昭和30年12月28日 | (宗)淨瑠璃寺 | 加茂町西小札場40 |
| 3 | | 海住山寺五重塔 | 1 基 | 三間五重塔 婆、本瓦葺 | 建保2(1214) | 明治31年12月28日 | (宗)海住山寺 | 加茂町例幣海住山20 |
| 1 | 重 | 五輪塔 | 1 基 | 石造、總高 3.47m | 正応5(1292) | 昭和32年2月19日 | 木津川市 | 木津清水27 |
| 2 | | 岩船寺三重塔 附隅木受飾東 | 1 基・1個 | 三間三重塔 婆、本瓦葺 | 嘉吉2(1442) | 明治32年4月5日 | (宗)岩船寺 | 加茂町岩船上ノ門43 |
| 3 | | 海住山寺文殊堂 | 1 棟 | 一重、寄棟 造、銅板葺 | 鎌倉時代 | 明治32年4月27日 | (宗)海住山寺 | 加茂町例幣海住山20 |
| 4 | | 相楽神社本殿 | 1 棟 | 三間社流造、 檜皮葺 | 室町時代 | 明治44年4月17日 | (宗)相楽神社 | 相楽清水1 |
| 5 | 重 | 松尾神社本殿 附拝所、棟札 | 1 棟 | 一間社春日 造、檜皮葺 | 文化5(1808) | 大正2年4月14日 | (宗)松尾神社 | 山城町椿井松尾41 |
| 6 | 要 | 御靈神社本殿 | 1 棟 | 三間社流造、 檜皮葺 | 室町時代 | 大正10年4月30日 | (宗)御靈神社 | 加茂町兎並寺山41 |
| 7 | 文 | 神童寺本堂 附棟札、銘札、旧鬼瓦 | 1 棟 | 一重、寄棟 造、本瓦葺 | 応永13(1406) | 大正12年3月28日 | (宗)神童寺 | 山城町神童子不晴谷112 |
| 8 | 化 | 十三重塔 | 1 基 | 石造 | 永仁6(1298) | 昭和12年7月29日 | 千日墓地管理組合 | 加茂町辻三田25番地の1 |
| 9 | | 岩船寺十三重塔 | 1 基 | 石造 | 鎌倉時代 | 昭和27年11月22日 | (宗)岩船寺 | 加茂町岩船上ノ門43 |
| 10 | | 岩船寺石室 | 1 棟 | 石造(仏龕 | 応長2(1312) | 昭和27年11月22日 | (宗)岩船寺 | 加茂町岩船上ノ門43 |
| 11 | 財 | 石造岩船寺五輪塔 | 1 基 | 石造 | 鎌倉時代 | 昭和27年11月22日 | (宗)岩船寺 | 加茂町岩船上ノ門43 |
| 12 | | 白山神社本殿 附棟札 | 1 棟 | 一間社春日 造、檜皮葺 | 嘉吉2(1442)重 | 昭和28年3月31日 | (宗)白山神社 | 加茂町岩船上ノ門94 |
| 13 | | 五輪塔 | 2 基 | 石造 | 鎌倉時代 | 昭和31年6月28日 | 木津川市 | 加茂町西小、長尾共同墓地 |
| 14 | | 泉橋寺五輪塔 | 1 基 | 石造、高さ 2.36m | 室町時代 | 昭和32年2月19日 | (宗)泉橋寺 | 山城町上猶西下55 |
| 15 | | 天神社十三重塔 | 1 基 | 石造 | 建治3(1277) | 昭和32年2月19日 | (宗)天神神社 | 山城町神童子不晴谷177 |
| 16 | | 小林家住宅 附家之普請合力覚、古図 | 1 棟 | 切妻造、茅葺 | 寛文5(1665) | 平成15年12月25日 | 個人 | 山城町上猶東林1番地1 |

| | | | | | | | | |
|---|--------------------|----------------------------------|----|---|--|------------|---------------|---------------|
| 1 | 国登録 | 旧松原家住宅主屋 | 1棟 | 平屋建、瓦葺 切妻造、棟瓦葺 | 明治42 (189) | 平成31年3月29日 | 個人 | 山城町上猶学校 7 |
| 1 | | 小林家住宅長屋門・土蔵 | 2棟 | 享保 6 (1721) | 平成4年4月14日 | 個人 | 山城町上猶東林1番地 1 | |
| 2 | 府 指定 不動川砂防施設 | | 1構 | 石積堰堤 8基 | 明治時代 | 平成9年3月14日 | 国土交通省 | 山城町平尾 |
| 3 | | 岡田鴨神社本殿・摂社天満宮本殿・末社金刀比羅神社本殿 | 3棟 | 一間社春日造、檜皮葺 | 江戸時代 | 平成30年3月23日 | (宗)岡田鴨神社 | 木津川市加茂町北鳴村44 |
| 4 | | 天王神社本殿 | 1棟 | 一間社春日造、銅版葺 | 江戸時代 | 平成30年3月23日 | (宗)天王神社 | 木津川市木津清水1 |
| 1 | | 天神神社本殿 | 1棟 | 切妻造、銅板葺 | 室町時代 | 昭和58年4月15日 | (宗)天神神社 | 山城町神童子不晴谷177 |
| 2 | | 松尾神社拝殿・境内社御靈神社本殿・表門 | 3棟 | 拝：切妻造、 棟瓦葺 御：一間社春日造、檜皮葺 門：元脚門、 切妻造、本瓦 | 江戸時代 門：元和3 (1617) | 昭和58年4月15日 | (宗)松尾神社 | 山城町椿井松尾41 |
| 3 | | 和伎座天乃夫岐瓈神社本殿 附棟札 相樂神社末社若宮神社本殿 | 1棟 | 三間社造、 銅版葺 | 元禄 5 (1692) | 昭和58年4月15日 | (宗)和伎座天乃夫岐瓈神社 | 山城町平尾里屋敷54 |
| 4 | | | 1棟 | 一間社春日造、檜皮葺 | 室町時代 | 昭和60年5月15日 | (宗)相樂神社 | 相楽清水1 |
| 5 | | 白山神社摂社春日神社本殿 附棟札 | 1棟 | 一間社春日造、檜皮葺 | 江戸時代 | 昭和62年4月15日 | (宗)白山神社 | 加茂町岩船上ノ門94 |
| 6 | 府 登 録 | 岡田国神社本殿・拝殿・舞台・南北氏子詰所 | 6棟 | 本：一間社春日造、檜皮葺 拝：一重、切妻造、本瓦葺 舞：方一間、 切妻造、棟瓦葺 氏：一重、切妻造、 棟瓦葺 | 安永 3 (1774) 本：元和 6 (1620) 拝：江戸時代 舞：明治時代 | 昭和63年4月15日 | (宗)岡田国神社 | 木津大谷1 |
| 7 | | 大智寺本堂・庫裏・鐘楼・表門 | 4棟 | 本：入母屋造、本瓦葺 庫：入母屋造、本瓦葺 鐘：一重、切妻造、 本瓦葺 | 寛文 9 (1669) 本：江戸時代 他：江戸時代 | 平成10年3月13日 | (宗)大智寺 | 木津雲村42-1 |
| 8 | | 春日神社本殿 附棟札 | 1棟 | 一間社春日造、銅版葺 | 弘化 2 (1845) | 平成18年3月17日 | (宗)春日神社 | 加茂町鎌司宮小谷3 6⑦4 |

| | | | | | | | |
|----|-----------------------|-----|-----------------------|-------------|------------|---------------|--------------|
| 1 | 涌出宮石灯籠 | 2 基 | 石造 | 南北朝時代 | 昭和49年6月1日 | (宗)和伎座天乃夫岐壳神社 | 山城町平尾里屋敷54 |
| 2 | 神童寺護摩堂 | 1 棟 | 方三間方形 造、本瓦葺 | 江戸時代 | 昭和58年4月1日 | (宗)神童寺 | 山城町神童子不晴谷112 |
| 3 | 泉橋寺表門 | 1 棟 | 一間 横門 切妻造、本瓦葺 | 元禄2 (1689) | 平成6年5月6日 | (宗)泉橋寺 | 山城町上猶西下55 |
| 4 | 神童寺表門 | 1 棟 | 切妻造、本瓦葺 | 江戸時代 | 平成13年4月9日 | (宗)神童寺 | 山城町神童子不晴谷112 |
| 5 | 和伎座天乃夫岐壳神社表門 | 1 棟 | 四脚門、切妻 造、本瓦葺 | 室町時代 | 平成13年4月9日 | (宗)和伎座天乃夫岐壳神社 | 山城町平尾里屋敷54 |
| 6 | 和伎座天乃夫岐壳神社拝殿 | 1 棟 | 切妻造、棟瓦 葺 | 江戸時代 | 平成17年3月22日 | (宗)和伎座天乃夫岐壳神社 | 山城町平尾里屋敷54 |
| 1 | 岡田國神社摂社惠美須神社本殿 | 1 棟 | 二間社流見世 棚造、桧皮葺 | 江戸時代中期 | 平成29年9月29日 | (宗)岡田國神社 | 木津大谷 1 |
| 2 | 海住山寺本堂 | 1 棟 | 一重、入母屋 造、本瓦葺 | 明治17 (1884) | 平成29年9月29日 | (宗)海住山寺 | 加茂町例幣海住山20 |
| 3 | 海住山寺鐘樓 | 1 棟 | 一重、切妻 造、本瓦葺 | 寛文3 (1663) | 平成29年9月29日 | (宗)海住山寺 | 加茂町例幣海住山20 |
| 4 | 海住山寺春日社 | 1 棟 | 一間社春日見 世棚造、棟瓦 葺 | 江戸時代 | 平成29年9月29日 | (宗)海住山寺 | 加茂町例幣海住山20 |
| 5 | 海住山寺天満宮 | 1 棟 | 一間社春日見 世棚造、棟瓦 葺 | 江戸時代 | 平成29年9月29日 | (宗)海住山寺 | 加茂町例幣海住山20 |
| 6 | 海住山寺稻荷社 | 1 棟 | 四脚門、切妻 造、本瓦葺 | 江戸時代 | 平成29年9月29日 | (宗)海住山寺 | 加茂町例幣海住山20 |
| 7 | 海住山寺中門 | 1 棟 | 江戸時代 | 平成29年9月29日 | (宗)海住山寺 | 加茂町例幣海住山20 | |
| 8 | 海住山寺山門 | 1 棟 | 四脚門、切妻 造、本瓦葺 | 享保3 (1718) | 平成29年9月29日 | (宗)海住山寺 | 加茂町例幣海住山20 |
| 9 | 府 曹 定 登 錄 | 1 棟 | 一間社春日 造、銅板葺 | 江戸時代 | 平成29年9月29日 | (宗)国栖神社 | 加茂町辻下垣外21 |
| 10 | 国栖神社本殿 | 1 棟 | 一間 春日 造、銅板葺 | 天保5 (1844) | 平成29年9月29日 | (宗)恭仁神社 | 加茂町西宮ノ東35 |
| 11 | 現光寺本堂 | 1 棟 | 一重、入母屋 造、棟瓦葺 | 文化15 (1819) | 平成29年9月29日 | (宗)現光寺 | 加茂町北山ノ上9 |
| 12 | 御靈神社本殿 | 1 棟 | 一間社流造、 銅板葺 | 享保15 (1730) | 平成29年9月29日 | (宗)御靈神社 | 木津宮ノ裏285 |
| 13 | 西念寺本堂 | 1 棟 | 一重、寄棟 造、棟瓦葺 | 宝永3 (1730) | 平成29年9月29日 | (宗)西念寺 | 鹿背山鹿曲田65 |
| 14 | 西念寺藥師堂 | 1 棟 | 一重、寄棟 造、本瓦葺 | 江戸時代初期 | 平成29年9月29日 | (宗)西念寺 | 鹿背山鹿曲田65 |
| 15 | 西明寺本堂 | 1 棟 | 四脚門、切妻 造、本瓦葺 | 江戸時代 | 平成29年9月29日 | (宗)西明寺 | 加茂町大野大野27 |
| 16 | 相樂神社山門 | 1 棟 | 切妻 造、本瓦葺 | 江戸時代 | 平成29年9月29日 | (宗)相樂神社 | 相樂清水1 |
| 17 | 正覚寺本堂 | 1 棟 | 一重、入母屋 造、本瓦葺 | 寛政10 (1798) | 平成29年9月29日 | (宗)正覚寺 | 木津町西垣外85 |
| 18 | 正覚寺觀音堂 | 1 棟 | 一重、入母屋 造、本瓦葺 | 江戸時代 | 平成29年9月29日 | (宗)正覚寺 | 木津町西垣外85 |
| 19 | 淨留璃寺大日如來灌頂堂 | 1 棟 | 一重、入母屋 造、棟瓦葺 | 慶安5 (1652) | 平成29年9月29日 | (宗)淨留璃寺 | 加茂町西小札場40 |

●無形民俗文化財の部

| | | | | | | | |
|-----|------|--------------|-----|-------|-------------|-----------------|-------------|
| No. | 指定級 | 名 称 | 員 数 | 年 代 等 | 指 定 日 | 所有者・管理者 | 所 在 地 |
| 1 | 国 指定 | 涌出宮の宮座行事 | | | 昭和61年1月14日 | 涌出宮宮座行事 保存会 | 山城町平尾・綺田 |
| 1 | 府 指定 | 相楽の御田と正月行事 | | | 昭和59年4月14日 | 相楽神社宮座 | 相楽清水 1 |
| 2 | 府 指定 | 相楽木綿 | | | 令和2年3月27日 | 相楽木綿の会 | 精華町精華 6 - 1 |
| 1 | 1 | 岩船のおかげ踊 | | | 昭和59年4月14日 | 岩船おかげ踊 保存会 | 加茂町岩船 |
| 2 | 2 | 西教寺六齋念仏 | | | 昭和60年5月15日 | 西教寺六齋念仏講 | 木津雲村 3 |
| 3 | 3 | 上狹の精靈踊 | | | 昭和60年5月15日 | しょうらい踊り 保存会 | 山城町上狹 |
| 4 | 4 | 仏生寺六齋念仏 | | | 昭和60年5月15日 | 仏生寺六齋念仏 保存会 | 加茂町仏生寺 |
| 5 | 5 | 錢司の獅子舞・田楽・相撲 | | | 昭和62年4月15日 | 錢司宮座行事 保存会 | 加茂町錢司 |
| 1 | 市 指定 | 木津御輿太鼓祭 | | | 平成14年10月18日 | 木津御輿太鼓 運営委員会 | 木津・木津町 |

●有形民俗文化財の部

| | | | | | | | |
|-----|-------|------------|------|-----------|------------|-------------------|------------|
| No. | 指定級 | 名 称 | 員 数 | 年 代 等 | 指 定 日 | 所有者・管理者 | 所 在 地 |
| 1 | 府 | 泉川座人形淨瑠璃用具 | 118点 | 明治時代 | 平成3年4月19日 | 木津川市 | 木津川市 |
| 2 | 登 錄 | おかげ踊絵馬 | 1点 | 慶応4(1868) | 平成12年4月17日 | (宗)春日若宮社 | 加茂町里口薬井17 |
| 3 | 登 錄 | おかげ踊絵馬 | 1点 | 明治元(1868) | 平成12年4月17日 | (宗)白山神社 | 加茂町岩船上ノ門94 |
| 1 | 府 登 記 | 木津の渡し船 | 1隻 | 明治時代 | 平成29年9月29日 | 木津川市 | 木津南垣外110番9 |
| 2 | 登 記 | 涌出宮の踊団絵馬 | 1点 | 江戸時代 | 平成29年9月29日 | (宗)和伎座天乃 夫岐壳神社 | 山城町平尾里屋敷54 |

●史跡名勝天然記念物の部

| | | | | | | | | |
|-----|-------|--------------|------|----------------------------|-------|--|----------|--------------|
| No. | 指定級 | 名 称 | 種 别 | 員 数 | 年 代 等 | 指 定 日 | 所有者・管理者 | 所 在 地 |
| 1 | 1 | 淨瑠璃寺庭園 | 特別名勝 | 11, 505. 04m ² | 平安時代 | 昭和60年1月18日 | (宗)淨瑠璃寺他 | 加茂町西小札場 |
| 1 | 国 指 定 | 恭仁宮跡（山城國分寺跡） | 史跡 | 266, 298. 39m ² | 奈良時代 | 昭和32年7月1日 平成19年2月6日 平成20年7月28日 平成22年2月22日 平成27年3月10日 平成29年3月10日 平成30年2月13日 平成31年2月26日 | 木津川市他 | 加茂町例幣・河原・岡崎他 |
| 2 | | 高麗寺跡 | 史跡 | 20, 100. 50m ² | 飛鳥時代 | 昭和15年8月30日 平成22年2月22日 | 木津川市 | 山城町上狹高麗寺・森ノ前 |
| 3 | | 淨瑠璃寺庭園 | 史跡 | 11, 505. 04m ² | 平安時代 | 昭和40年11月12日 | (宗)淨瑠璃寺他 | 加茂町西小札場 |

| | | | | | | | | |
|---|-------------|--------------------|-------|--------------------------|------|-------------------------|------------------|--------------------------------------|
| 4 | 国 | 奈良山瓦礫跡 | 史跡 | 39,918.41m ² | 奈良時代 | 平成22年8月5日 平成28年3月1日 | 木津川市・奈良市 | 市坂・相楽台・州見台・梅美台・ 城山台・奈良市中山町・奈良市歌姫町 |
| 5 | 指 | 石のカラト古墳 | 史跡 | 4,925m ² | 奈良時代 | 平成8年7月16日 | 木津川市・奈良市 | 兜台2・奈良市神功1 |
| 6 | 定 | 椿井大塚山古墳 | 史跡 | 15,715.89m ² | 古墳時代 | 平成12年9月6日 | 木津川市他 | 山城町椿井三階・大平 |
| 7 | | 神雄寺跡 | 史跡 | 399,918.41m ² | 奈良時代 | 平成27年3月10日 平成29年2月9日 | 木津川市 | 城山台13丁目4番地他 |
| 1 | 府 | 錢司遺跡 | 史跡 | 418m ² | 奈良時代 | 昭和59年4月14日 | 個人 | 加茂町錢司金鑄山23-1 |
| 2 | 指 定 | 当尾の豊岡柿 | 天然記念物 | | 明治時代 | 平成2年4月17日 | | 加茂町大畠柘榴谷 |
| 1 | 市 | 上泊環濠集落(環濠・大井戸・郷井戸) | 史跡 | | 室町時代 | 昭和49年6月1日 | 山城町上泊良町・巽町・坤町・乾町 | |
| 2 | | 稻荷山 | 史跡 | | 室町時代 | 昭和49年6月1日 | 山城町北河原北谷 | |
| 3 | 指 | 鳶ヶ城跡 | 史跡 | | 室町時代 | 昭和49年6月1日 | 山城町神童子横峰 | |
| 4 | 定 | 弁天山 | 名勝 | | 室町時代 | 昭和49年6月1日 | 山城町椿井天數堂 | |
| 5 | | 泉橋寺境内 | 史跡 | 976m ² | 奈良時代 | 平成11年5月11日 | (宗)泉橋寺 | 山城町上泊西下54・55-1・55-2 |
| 1 | 府 | 岩船寺境内 | 史跡・名勝 | | 室町時代 | 平成29年12月27日 | (宗)岩船寺 | 加茂町岩船上ノ門43番 |
| 2 | 登 暫 定 | 神童寺境内 | 史跡 | | 室町時代 | 平成29年12月27日 | (宗)神童寺 | 山城町神童寺不晴谷112番 |
| 3 | | 鹿背山不動院境内 | 史跡 | | 室町時代 | 令和4年3月22日 | (宗) 西念寺 | 鹿背山大木谷6番4、48番、74番、75番 |

●環境保全地域・地区の部

| No. | 指定級 | 名 称 | 員 数 | 年 代 等 | 指 定 日 | 所 有 者・管 理 者 | 所 在 地 |
|-----|-----|---------------------|-----------------------|-------|-------------|---------------|--------------|
| 1 | | 京都府歴史的自然環境保全地域(当尾) | 196,800m ² | | 昭和60年12月20日 | | 加茂町西小・岩船 |
| 1 | | 天神神社文化財環境保全地区 | | | 昭和58年4月15日 | (宗)天神神社 | 山城町神童子不晴谷177 |
| 2 | | 松尾神社文化財環境保全地区 | | | 昭和58年4月15日 | (宗)松尾神社 | 山城町椿井松尾41 |
| 3 | 府 | 和伎座天乃夫岐亮神社文化財環境保全地区 | | | 昭和58年4月15日 | (宗)和伎座天乃夫岐亮神社 | 山城町平尾里屋敷54 |
| 4 | 決 | 相楽神社文化財環境保全地区 | | | 昭和60年5月15日 | (宗)相楽神社 | 相楽清水42番1 |
| 5 | 定 | 当尾磨崖仏文化財環境保全地区 | | | 昭和60年5月15日 | 岩船区 | 加茂町岩船 |
| 6 | | 白山神社文化財環境保全地区 | | | 昭和62年4月15日 | (宗)白山神社 | 加茂町岩船上ノ門94 |
| 7 | | 岡田国神社文化財環境保全地区 | | | 昭和63年4月15日 | (宗)岡田国神社 | 木津大谷105番 |
| 8 | | 八幡宮文化財環境保全地区 | | | 昭和63年4月15日 | (宗)八幡宮 | 加茂町森・高去 |

●文化財件数

| 国指定文化財 | | | | | | | |
|--------|-------|-------|----|-------|------|---------|-------|
| 国宝 | | 重要工芸品 | | 有形文化財 | | 重要民俗文化財 | |
| 絵画 | 彫刻 | 工芸品 | 書跡 | 古文書 | 考古資料 | 歴史資料 | 建造物 |
| 3 | 26(3) | 1 | 1 | 1 | | | 19(3) |
| | | | | | | | 1 |
| | | | | | | | |

※上段が国指定文化財、下段が国登録文化財である。○内は重要文化財内の国宝数及び史跡名勝天然記念物内の特別指定数である。
※史跡数には2府県にわたるもの2件を含む。

府指定・登録文化財

| 有形文化財 | | | | | | | |
|-------|----|-----|----|-----|------|------|-----|
| 美術 | | 工芸品 | | 書跡 | | 古文書 | |
| 絵画 | 彫刻 | 工芸品 | 書跡 | 古文書 | 考古資料 | 歴史資料 | 建造物 |
| 2 | 5 | 3 | | 1 | 1 | 1 | 4 |
| 1 | 3 | 1 | | | | | 8 |
| 42 | 5 | 5 | 5 | 4 | 8 | 20 | |
| | | | | | | | |

※上段が指定文化財数、中段が登録文化財数、下段が暫定登録文化財数である。

市指定文化財

| 有形文化財 | | | | | | | |
|-------|----|-----|----|-----|------|------|-----|
| 美術 | | 工芸品 | | 書跡 | | 古文書 | |
| 絵画 | 彫刻 | 工芸品 | 書跡 | 古文書 | 考古資料 | 歴史資料 | 建造物 |
| 5 | 10 | 1 | 1 | 3 | 3 | 3 | 6 |
| | | | | | | | 1 |
| | | | | | | | |

計
60(7)

1

7

1(1)

1

4

1

37

3

2

1

20

21

89

VI 学校（園）の概要

木津川市立木津幼稚園



木津幼稚園園歌

作詞 尾上昭典
(木津幼稚園職員)

一、お庭に咲いてる
ランランみんな
げんきな笑顔で
たのしいたのしい
きれいな花も
おともだち
あそびましょう
木津幼稚園

二、お空でうたう
ランランみんな
大きな声で
たのしいたのしい
かわいい小鳥

おともだち
歌いましょう
木津幼稚園

三、赤いほっぺの
ランランみんな
きょうも仲良く
たのしいたのしい
きみとぼく
おともだち
手をつなごう
木津幼稚園

郵便番号 619-0214

所在地 京都府木津川市木津田中前30番地

電話 (0774) 72-0101

FAX (0774) 72-0800

E-mail kizu-yo@city.kizugawa.lg.jp

1. 園の沿革

昭和

32. 3. 12 園舎落成
4. 8 木津小学校附属幼稚園として発足。初代園長 竹田正司（小学校兼務）
33. 「幼児の健康教育について」研究発表会開催
39. 「視聴覚経験を生かした効果的な保育について」研究発表会開催
40. 1. 23 放送教育研究発表会開催
41. 3. 17 昭和40年度学校安全努力園として表彰を受ける
42. 4. 4 創立10周年記念挙行
11. 25 完全給食実施
44. 園舎増築工事地鎮祭
4. 1 2年保育実施
5. 30 園舎増築完成
46. 「社会領域においての各年令ごとの重点的な指導のねらいと内容について」
京都府教育委員会指定研究発表（第一年次）
49. 11. 1 「豊かな心情をめざし生き生きとしたことばを育てる指導」
京都府教育委員会指定研究発表（第二年次）
50. 10. 23 「豊かな心情をめざし生き生きとしたことばを育てる 一発展的な遊びの経過を通して一」
第二年次研究発表会開催
51. 11. 20 関西幼稚園連合会教育研究大会で研究発表（同上テーマについて）
52. 3. 1 創立20周年記念式及び記念行事生活発表会挙行、園歌作成
4. 12 園舎増築工事（プレハブ教室2教室及び倉庫）及び旧倉庫撤去工事完成
6. 1 三地区（鹿背山、梅谷、市坂）の園児送迎の通園バス運行実施
9. 18 創立20周年記念バザーとよい子のまつり開催
53. 3. 園舎一部改造（給食準備室、資料室）
4. 完全給食再実施
54. 9. 水洗便所増設
55. 5. 10 小プール設置（中嶋哲太郎氏寄贈）
57. 4. 1 専任園長制となる
9. 22 新園舎起工式
58. 2. 28 新園舎工事完成
3. 2 新園舎へ移転
3. 9 園舎竣工感謝のつどい
3. 30 プール工事完成
59. 11. 1 山城地方公立幼稚園教育研究会指定研究発表会
「心を動かす子どもをもとめて」－こどもの思いを正しく理解し育てるためには－
61. 11. 12 創立30周年記念式挙行、30年のあゆみ刊行、園歌入り額作成
62. 5. 19 「なかよし号」新規購入・運行

平成

- 元. 4. 1 園名 木津幼稚園と変更
11. 30 平成元年度歯科指導努力園として表彰を受ける
3. 10. 23 山城地方公立幼稚園教育研究会指定研究発表会
「一人一人が自己充実し感性を豊かにするには」
6. 4 園児送迎の通園バス町運営となる
8. 11. 24 創立40周年記念式典挙行、40年のあゆみ刊行
10. 8. 4 平成10年度幼稚園教育課程京都府研究大会発表
11. 4. 1 3年保育実施（1学級20名）
13. 4. 1 文部科学省調査研究委託 木津町教育委員会研究指定（13・14年度）
幼稚園における道徳性を培う活動等の充実に関する調査研究事業指定（2年間）
14. 4. 1 幼稚園における道徳性を培う活動等の充実に関する調査研究事業指定（2年間）
15. 2. 21 文部科学省委託「幼稚園における道徳性を培う活動等の充実に関する調査研究」

| | |
|------------|---|
| | 発表会「豊かな心のはぐくみをめざして」－やさしく・たくましく・いきいきと－ |
| 11. 7 | 第53回全国学校保健研究大会 課題別研究協議会発表（青森大会） 「幼稚園における心の健康つくりをめざす教育活動について」 |
| 16. 8 | 園舎増築（2教室） |
| 17. 7. 30 | 第52回全国国公立幼稚園教育研究協議会（埼玉大会） ポスターセッション展示発表 「豊かな心のはぐくみをめざして」 |
| 18. 7 | 園児用トイレ改修工事 |
| 18. 10. 15 | 創立50周年記念式挙行、50年のあゆみ刊行、50周年記念植樹「きんもくせい」 |
| 19. 3. 12 | 木津川市誕生により木津川市立木津幼稚園と改称 |
| 21. 1. 26 | 平成20年度山城地方学校安全研究協議会実践発表 「幼児が安全で伸びやかに活動できる環境や援助とは」 |
| 23. 8. 26 | 平成23年度幼稚園教育課程理解推進事業京都府研究大会発表 |
| 26. 10. 23 | 平成26年度全国国公立幼稚園長会特別事業近畿ブロック研修会発表 |
| 28. 12. 10 | 創立60周年記念行事挙行 |
| 30. 11. 7 | 京都府公立幼稚園こども園教育研究会指定研究発表 「心豊かに育ち合う子どもの育成～身近な人とのつながりを通して～」 |
| 令和 | |
| 元. 11. 6 | 第121回関西幼稚園・こども園連合会教育研究大会京都大会発表 |

2. 教育

（1）幼稚園教育目標

やさしさ・豊かさ・たくましさをもった子どもの育成

（2）本園のめざす幼児像

- ・心も身体も健康な子
- ・互いの良さを認め合える子
- ・夢中になって遊べる子
- ・やさしさ、思いやりのある子

（3）教育方針

- ・見通しをもって活動に取組んだり、目的に向って最後までやり遂げたりする満足感や達成感を味わう。
- ・友達との関わりを通して、相手の思いに気付いたり、認め合ったりしながら人とつながる喜びや思いやりの気持ちを育む。
- ・経験したことや考えたことを自分なりに表現したり、絵本に親しんだりする中で、豊かな感性や表現力を養う。
- ・様々な体験を通して、好奇心や探究心を育む。
- ・小学校教育への円滑な接続に向けて、子どもの学びや生活の連続性を踏まえた連携を図る。

木津川市立相楽幼稚園



相樂幼稚園園歌

作詞 吉岡
作曲 中俊守
道

一、おそらくおひさまばつかばか
おはなもゆれてるにつこにこ
みんななかよしだたのしいな
さがなかさがなかようちえん

二、

おにわにぶらんこぎつこぎい
すーべりだいだよすなやまだ
みんなげんきなこたのしいな
さがなかさがなかようちえん

三、

おへやにせんせいおともだち
おはなしあゆうぎターランラン
みんなかんがえるたのしいな
さがなかさがなかようちえん

郵便番号 619-0222

所在地 京都府木津川市相楽清水1番地

電話 (0774) 72-1822

FAX (0774) 72-0666

E-mail saga-yo@city.kizugawa.lg.jp

1. 園の沿革

昭和

52. 4. 15 相楽小学校附属幼稚園として開園
53. 4. 25 完全給食実施
54. 4. 5 園舎増築（プレハブ 1 教室）
8. 23 京都府教育課程研究発表
「幼児に自発的・自主的な活動を促すためには、どのように環境を構成し、どのような指導上の配慮や工夫が必要か。」
57. 2. 27 園舎新築完成
4. 1 専任園長制となる
11. 5 第30回京都府美術教育研究大会
「自分の目と心と頭と手を通してつくるよろこびを、ゆたかな創造性とたしかな表現をめざして」
62. 1. 26 山城地方学校安全研究協議会提案
「幼児の安全能力を育てる ー自分で判断し機敏に行動できる子をめざしてー」
2. 25 創立10周年記念式挙行
3. 1 高の原地区の園児送迎の通園バス運行
11. 11 山城地方公立幼稚園教育研究会指定園研究発表
「環境を生かし精一杯とりくむ子どもを育てよう」

平成

- 元. 3. 31 高の原幼稚園開園のため通園バス運行中止
4. 1 園名 木津町立相楽幼稚園と変更
6. 4. 1 吐師・木津川台地区の園児送迎の通園バス運行
7. 5 京都府公立幼稚園 P T A 連絡協議会・山城地方公立幼稚園 P T A 連絡協議会、総会並びに研修会開催
9. 2. 1 創立20周年記念式挙行
4. 1 3年保育試行実施（1学級20名）
10. 4. 1 3年保育試行2年目実施（1学級20名）
11. 4. 1 3年保育実施（1学級20名）
13. 4. 1 歯・口の健康づくり推進事業指定（3年間）
15. 10. 23 歯・口の健康づくり推進事業指定研究発表会（公開保育・実践発表）
16. 4. 1 幼稚園評議員制度実施（2名に委嘱）
11. 12 全国学校歯科保健研究大会 幼稚園・保育園部会で実践報告
「しなやかな心と体の健康をはぐくむ」
18. 12. 5 創立30周年記念式挙行
19. 3. 12 木津川市誕生により木津川市立相楽幼稚園と改称
20. 10. 29 平成19・20年度京都府公立幼稚園教育研究会研究指定園、研究発表
「自分が好き 友達が好き 幼稚園が好き」
26. 10. 23 全国国公立幼稚園長会特別事業近畿ブロック研修会発表
27. 1. 26 山城地方学校安全研究協議会実践発表
29. 1. 10 創立40周年記念式典挙行

2. 教育

「やさしさ」と「豊かさ」そして「たくましさ」をもった子どもの育成をめざし、友だちとともに生活する楽しさを味わわせながら、人格形成の基礎を培う。

(2) めざす児童像

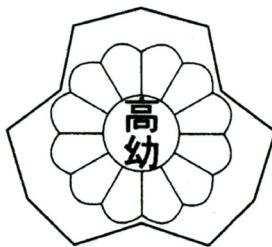
きわやかなあいさつをする子
がんばりぬく子
なかよくできる子
かんがえる子
のびのびと行動できる子
こころもからだも丈夫な子

(3) 基本方針(指導の重点)

◆児童期の特性を踏まえ、遊びを通して総合的な指導を進める。

- ・基本的な生活習慣や態度を育て、しなやかな心と体を育てる。
- ・多様な体験や遊びを通して、自らやろうとする意欲や豊かな心情など生きる力の基礎を培う。
- ・自然体験や動植物との触れ合いを通して命の大切さや道徳性の芽生えを培う。
- ・人とのかかわりに重点をおき、児童期における人権感覚や人権意識の芽生えに努める。
- ・「聞く」「話す」「伝え合う」ことの喜びを味わえるような体験を充実し、コミュニケーション能力の育成に努める。
- ・家庭や地域との連携を密にし、信頼関係を深める。
- ・小学校への円滑な接続に向けた保幼小連携教育の推進を図る。

木津川市立高の原幼稚園



高の原幼稚園園歌

作詞 丹田長史
作曲 森本陽三郎

一、さんさんおひさま あかるいこ
うたうのだいすき おはなしだいすき
いいな いいな おともだち
えがおがいっぱい たかのはらようちえん

二、みどりのそよかぜ やさしいこ

おはなもだいすき ことよりもだいすき
いいな いいな おともだち
えがおがいっぱい たかのはらようちえん

三、あおぞらひろびろ げんきなこ

かけっこだいすき あそぶのだいすき
いいな いいな おともだち
えがおがいっぱい たかのはらようちえん

郵便番号 619-0224

所在地 京都府木津川市兜台4丁目4番地2

電話 (0774) 72-6658

FAX (0774) 72-6647

Eメール taka-yo@city.kizugawa.lg.jp

1. 園の沿革

平成

- 1年 4月 1日 木津町立高の原幼稚園設置
1年 4月 12日 開園式 第1回入園式挙行 (園児数 192名)
3年 7月 園舎増築 (4学級増)
5年 6月 30日 木津町立高の原幼稚園 P T A 発足
6年 4月 6日 相楽台地区の園児送迎の通園バス運行
8年 11月 1日 平成7・8年度 京都府公立幼稚園教育研究会研究指定園
[研究発表会]
研究課題「幼児が自ら環境に関わって、充実した生活を展開していくためには、環境をどのように構成すればよいか」
9年 7月 4日 園歌発表会
11年 2月 23日 10周年記念式典挙行
11年 4月 1日 3年保育実施 (2学級 40名)
13年 1月 29日 山城地方学校安全研究協議会提案発表
13年 4月 1日 「幼稚園における道徳性を培う活動等の充実に関する調査研究」
事業指定 (13・14年度)
15年 2月 21日 文部科学省委託
「幼稚園における道徳性を培う活動等の充実に関する調査研究」
事業指定園研究発表会
19年 3月 12日 木津川市誕生により木津川市立高の原幼稚園と改称
20年 11月 28日 20周年記念式典挙行
26年 10月 23日 平成26年度全国国公立幼稚園長会特別事業近畿ブロック研修会発表
30年 7月 21日 創立30周年記念事業
31年 1月 10日 創立30周年記念式典

2. 教育

(1) 教育目標

やさしさ、豊かさ、たくましさをもった子どもを育成する。 (からだ・あたま・こころづくり)

(2) めざす児童像

たくましいこころとからだの子

かんがえる子

のびのび表現できる子

はきはきあいさつする子

らんらん仲良くできる子

(3) 基本方針 (指導の重点)

- (1) 様々な遊びや体験を通して、環境や自然に主体的にかかわろうとする意欲や態度を培い、自然・人・社会とつながる喜びを味わえるような遊びの充実を図る。
- (2) 温かな心や感性をはぐくみ、やさしさ・おもいやり・たくましさを合わせもった豊かで人間性あふれる子どもの育成を図る。
- (3) 「聞く」「話す」「伝え合う」ことの喜びを味わえるような体験を充実させる。
- (4) いきいきとした感動を体験し、思ったことや感じたことを表現したり、絵本や物語に親しみ、豊かな感性や表現する力を養い、想像力を豊かにする。
- (5) 発達や学びの連続性を見通して、小学校と円滑な接続を図る。

木津川市立木津小学校



木津小学校校歌

作詞・作曲 桜井武雄

一 歴史にかかる 山城の

ぼくたち 木津の小学生
大地をふんで 胸はって

明るく強く 育ちます
木津 木津 木津 木津

二

木津川鹿背山 友として
わたしら 木津の小学生
木津小学校 朝夕かよう
木津小学校 木津

木津 待つてます
木津 この道に

三

木津の鐘の 鳴りひびく
木津の子どもは 日本の子
仲よく笑つて 手をつなぎ
元気に今日も 木津学びます

郵便番号 619-0217
所在地 京都府木津川市木津町内垣外95
電話 (0774) 72-0038
FAX (0774) 72-3852
E-mail kizu-es@kizu.ed.jp
HP・URL <http://www.kizu.ed.jp/kizu-es>

1. 沿革

- 明治 5 木津小学校として創立
- 15 木津尋常小学校と改称
- 28 鹿背山及び梅谷分教場設置
- 34 高等科を併置し木津尋常高等小学校と改称
- 大正 11 講堂新築
- 昭和 9 木造 2 階建本館落成
- 16 木津国民学校と改称
- 22 木津小学校と改称、両分教場を鹿背山・梅谷分校と改称
- 23 学校給食開始
- 29 創立 80 周年記念式典挙行
- 32 木津小学校附属幼稚園開園 鉄筋南校舎落成式
- 33 第 7 回保健体育優良校として表彰される
障害児学級開設
- 36 全日本健康優良学校府代表として表彰される
- 39 学校給食優良校として文部大臣表彰
- 40 健康教育及び理科教育により学研教育賞を受ける
- 42 府道徳研究発表会開催
- 43 文部省指定道徳教育研究発表会開催
- 44 トランペット鼓隊、万国博エキスポolandに特別出演
- 48 創立 100 周年記念式典挙行
- 52 道徳教育研究発表会開催（文部省）
本館増改築により鉄筋 3 階校舎竣工
- 53 京都府学校安全優良校として表彰される
学校安全優良校として文部大臣表彰を受ける
日本 P T A 全国協議会長賞受賞
- 54 金銭教育研究校の委嘱を受ける（～55 年）
優良「子ども銀行」として大蔵大臣及び日本銀行総裁表彰
健康安全教育研究発表会開催（府教育委員会委嘱）
東校舎新築
- 56 体育館及び屋上プール竣工
- 57 優良 P T A として文部大臣表彰を受ける
- 59 みどりの広場（中庭）造園完成
- 62 交通安全優良校として府交通安全協会より表彰される
府教育委員会より小学校教育実践推進校（図工）の指定を受ける
- 63 国体なぎなた競技開会式にマーチングバンド、カラーガーズ等出場

- 平成元 梅谷分校休校
- 2 府社会福祉協議会より社会福祉協力校の指定を受ける（～4年）
- 4 府小学校教育研究会生活科研究大会開催
- 6 全国都市緑化京都フェアオープニングパレードに金管バンド出場
- 7 京都小学校金管バンドフェスティバルに参加
- 梅谷分校閉校式並びに記念碑除幕式
- 金錢教育研究校の指定を受ける（～9年）
- 中国天津市より友好使節団来校
- 8 本館2階にコンピュータ室開設、児童用コンピュータ20台設置
相楽郡通級指導教室開設
- 9 ひまわり学級2学級に増設
- 10 府教育委員会指定「教育実践パイロット校（情報教育）」研究発表会開催
校門改裝
- 11 よい歯の表彰を受ける
- 13 21世紀記念航空写真撮影
- 15 国際理解教育学校公開実施
- 16 校区安全対策協議会（ネットワーク）発足
- 17 町指定国際理解教育（英語活動）学校公開実施
- 18 文部科学省より「人権教育総合推進地域事業」の指定を受ける
木津川市誕生に伴い木津川市立木津小学校と改称する（19. 3. 12）
- 19 「人権教育総合推進地域事業」・「心の教育実践研究校」中間報告会開催
- 20 人権教育総合推進地域事業「人権教育研究大会」開催
- 21 文部科学省指定「道徳教育実践研究事業」推進校
木津川市教育委員会指定「道徳教育研究推進校」中間発表会開催
南校舎耐震工事完了
- 22 文部科学省指定「道徳教育実践研究事業」
木津川市教育委員会指定「道徳教育研究推進校」研究発表会開催
- 23 木津川市「特色ある学校づくり推進事業」推進校
相楽地方通級指導教室西部分室開設
- 24 木津川市「特色ある学校づくり推進事業」推進校
京都府教育委員会「京の未来創造校」指定校
- 25 京都府教育委員会「京の未来創造校」指定校
木津川市ICT機器研究指定校
- 26 城山台小学校開校に伴い、鹿背山分校閉校
市教育委員会指定「教育実践推進校」公開授業実施
- 28 木津川市「特色ある学校づくり推進事業」推進校
- 29 木津川市「特色ある学校づくり推進事業」推進校
- 30 木津川市「特色ある学校づくり推進事業」推進校
- 令和元 木津川市「特色ある学校づくり推進事業」推進校
- 2 木津川市「特色ある学校づくり推進事業」推進校
- 3 文部科学省「学びの保障・充実のための学習者用デジタル教科書実証事業」参加校
木津川市「特色ある学校づくり推進事業」推進校 研究発表会開催
- 4 木津川市「特色ある学校づくり推進事業」推進校

2. 教育

(1) 教育目標

「たくましく心豊かに生きぬく児童の育成」

(2) 目指す児童像

- よくかんがえる子
- なかよくする子
- たくましい子

(3) 本年度最重点課題

◎自律と協働に基づく確かな学力の育成

(4) 学校経営方針（中期経営目標）

- 未来を切り拓く教育の推進
自己決定し実行できる自律性と協働で解決策を生み出す意欲をもち、自ら未来を切り拓いていくための基盤となる資質・能力を育成する。
- 社会の一員としての自覚をうながす教育の推進
全ての教育活動を通じて豊かな人間性をはぐくみ、自然、人、社会とつながり共生できる力の育成を目指す。
- 健康でたくましく生きる力を育成する教育の推進
自ら目標や課題を見つけ、それらに向かって失敗をおそれず積極的に挑戦し続ける強くしなやかな意志と、健康でたくましく生きる力を育成する。
- 教師力の向上と協働体制の確立
教職員一人一人が自己の『教師力』の向上に努め、適正やよさを十分發揮するとともに、全教職員一体となって課題解決に当たる。
- 家庭・地域社会との連携強化
伝統ある学校として地域と心を通わせながら、校区の持つ良さを積極的に生かした特色ある学校づくりを進めるなかで、教育目標の達成に迫る。

(5) 学校経営の重点

- ①教職員が一体となった取組の展開による確かな学力の向上
 - ア 全教育活動を通じてシティズンシップ教育に取り組み、主体的に社会に参画する意欲と社会の構成員としての役割を遂行できる資質・能力を育成する。
 - イ ICTの積極的な活用により個別最適な学びの充実を図るとともに、教科横断的な学びを展開し、主体的・対話的で深い学びが進められる授業改善に取り組む。
 - ウ 読書の時間を確保し読書量を増やすとともに、L読書の取組を進め読書習慣を定着させる。
- ②道徳教育、生徒指導を中心とした心の教育の充実
 - ア 児童と教職員の信頼関係づくりに努めるとともに、仲良く助け合い、支え合い、高まることの素晴らしさや楽しさを体験させ、互いの良さを認め合う児童相互の人間関係づくりに努める。
 - イ 人権意識の涵養を図り、児童間の好ましい人間関係を築くことにより、いじめ等の人権問題の未然防止に努める。
- ③健康で安全に生きぬく実践力の育成
 - ア 健康な体づくりに意欲を持たせ、体育的行事やクラブ活動、地域の大会などへ積極的に参加する児童の育成に努める。また、日常の遊び等を通して、運動能力を育成する。
 - イ 自ら安全に行動できる能力と態度を育成するための安全教育を推進する。
- ④地域の力を活かして子どもをはぐくむ教育の推進
 - ア 家庭及び地域に開かれた学校を目指し、地域人材や施設の積極的な活用を図るとともに活動型学習の展開により公共性や社会性、市民性をはぐくむ。
 - イ 郷土の自然、伝統、文化についての学習をとおして、郷土を大切にする心をはぐくむ。

(6) 本年度重点研究

テーマ

「主体的に社会に参画する力をはぐくむシティズンシップ教育の推進」

～言語能力の育成を目指した教科横断的な学びの展開～

※社会の一員としての役割を遂行できる市民性を培うシティズンシップ教育を研究の柱としています。地域の出来事を自分事としてとらえ、他者と協働しながら解決策を見出していく活動型学習を展開し、主体的に人、地域、社会とかかわる実践力を育成します。

木津川市立相楽小学校



相楽小学校校歌

作詞 鳴原一
作曲 前田卓央 穂

一 晴れた空から 小鳥の歌だ
歌に合わせて 跳ねて踊れば
相楽校は 花咲く園だよ
ああ 明るい

二 雪に嵐に 鍛えて練つて
強い身体で 勉め学ぶよ
相楽の子は 伸びゆく若木よ
ああ 楽しい

三 胸に太陽 しつかと抱いて
歩む足並 とりあう手から
相楽の子に ひらける未来だ
ああ 明るい

郵便番号 619-0222
所在地 京都府木津川市相楽清水1番地
電話 (0774) 72-0221
FAX (0774) 72-0280
E-mail saganaka-es@kizu.ed.jp
HP・URL <http://www.kizu.ed.jp/saganaka-es/>

1. 沿革

- 明治 6 初めて校舎を相楽郡吐師村小字郷和田に設立
9 大字里に相楽校を開校
22 町村制度の実施に伴い従来の吐師校を廃止して相楽校に合併する
相楽尋常小学校と改称
29 校舎改築竣工 現在地（小字清水1）に移転
- 昭和 4 中校舎竣工
12 講堂新築
16 相楽国民学校と改称
22 相楽村立相楽小学校と改称
26 町村合併により木津町立相楽小学校と改称
33 新校舎改築竣工（鉄筋二階建、木造二階建、南校舎移転）
34 歯科治療器設置
35 プール竣工、完全給食開始（A型）
42 交通安全優良校受賞（府交協）、第12回学研教育賞受賞、優良児童会受賞（消防庁長官）
43 歯の健康について研究発表（全学歯大会）、優良育友会受賞（府P連）
44 5年連続よい歯の学校表彰受ける（日学歯会）
歯の健康について研究発表（全学歯大会）
45 優良育友会受賞（文部大臣）、講堂移転、体育倉庫新築、全国特選健康優良校受賞
46 奥村賞受賞
47 第2回京都府小学校図書館教育研究大会開催
48 文化財愛護図画習字コンクールで学校賞受賞（山城文化財愛護協議会）
創立百周年記念祝賀式挙行（記念碑設立、記念植樹八重桜20本）
49 10年連続よい歯の学校受賞、第38回全国学校歯科保健大会開催
全国花いっぱいコンクール優良賞受賞
50 昭和50・51年度道徳教育共同推進校指定（文部省）
51 校地を拡張し南校舎竣工（鉄筋二階建、普通教室5・特別教室3）
学校保健講習会で研究発表、家庭科研究発表大会開催（府小教研）
52 道徳教育研究発表大会開催（文部省・京都府）、台北市教育視察団学校訪問
53 本館（北校舎）と南校舎間に中校舎竣工（鉄筋三階建、普通教室10、特別教室5）
障害児学級（2学級）開設、体育館完成
56 プール竣工（6コース・低学年用プール）
60 北校舎木造4教室改築59年7月着工、2月完成
61 正面拡張改修61年8月25日完成 社会福祉協力校（福祉教育実践校）
62 子ども銀行、日銀総裁大蔵大臣賞受賞、保健室改修 社会福祉協力校2年次（福祉教育実践校）
63 社会福祉協力校3年次（福祉教育実践校）、用務員室・教職員更衣室改修
平成元 北校舎改修及び改築 ふるさと交流学習促進事業1年次（文部省委嘱）
図書館教育研究大会（府小教研）
2 ふるさと交流学習促進事業2年次（文部省委嘱）第7回京都府歯科保健文化賞受賞
3 よい歯の表彰及び動物愛護賞受 3・4年度心身障害児理解推進校指定
4 文部省指定「心身障害児理解推進校研究発表会」、観察池・放送設備全面改修
交通安全運動及びよい歯の表彰受ける
5 よい歯の表彰受賞、心身障害児理解推進校視察来校多数、心身障害児理解推進校の取組について文部省より感謝状を受ける

- ふるさと交流学習として、6年修学旅行で丹後町間人小学校訪問開始
南山城養護学校との交流教育継続
- 6 学校文化芸術祭・小中学校音楽フェスティバル出演（住友ホール）よい歯の表彰受賞
南山城養護学校との交流教育継続
- 7 プール浄化装置改修、塗装（全面塗装）運動場全面改修（総合遊具設置）
南山城養護学校との交流教育
- 8 コンピュータ教室の設置
- 9 中国天津市児童使節団来校
- 10 平成10・11年度京都府教育委員会指定教育実践パイロット校（生活科）
- 11 平成10・11年度京都府教育委員会指定教育実践パイロット校（生活科）研究発表会
平成11年度木津町教育委員会指定国際理解教育交流発表会
南山城養護学校との交流教育
- 12 木津町P T A会長校となる
- 13 平成13・14年度文部科学省歯・口の健康つくり研究推進指定校
南山城養護学校との交流教育
- 14 健やか賞受賞（京都府教育委員会）
- 14 文部科学省歯・口の健康つくり研究発表会（於：本校）にて授業公開
- 15 健康教育推進学校優良校表彰（日本学校保健会）
- 15 創立130周年記念事業・式典開催
- 16 京都府キャリア教育推進地域指定
- 16 お話ルーム設置
- 17 平成17年度「人権の花」運動実施校
- 18 人権教育総合推進地域事業推進協力校（～20年度）
キャリア教育実践に関わる文部科学省表彰 キャリア教育実践報告会開催
- 19 木津川市誕生に伴い、木津川市立相楽小学校と改称
- 20 人権教育総合推進地域指定事業発表会開催
- 21 よい歯の表彰受賞（京都府歯科医師会）
第73回全国学校歯科保健研究大会で本校の取組発表
山城地方P T A連絡協議会会长校となる
- 22 第27回京都府歯科保健文化賞受賞
歯科保健文化賞に伴う府歯科医師会から感謝状受賞 よい歯の表彰受賞（京都府歯科医師会）北校舎耐震工事・飼育小屋の設置、緑化推進事業を受け、植樹
- 23 中校舎・体育館耐震工事よい歯の表彰受賞（京都府歯科医師会）
- 25 木津川市P T A会長校となる 140周年記念航空写真を撮影
第24回相楽地方小学校体育連盟駅伝（持久走）大会 優勝
- 26 第25回相楽地方小学校体育連盟駅伝（持久走）大会 優勝
第9回やましろ未来っ子小学校EKIDEN 優勝
- 27 相楽小学校区保幼小接続推進会議発足 保幼小連携接続カリキュラムを作成
- 28 第55回全日本学校歯科保健優良校 奨励賞受賞
令和元 京都府教育委員会指定校「課題解決型授業（アクティブラーニング）推進事業」
- 2 第59回全日本学校歯科保健優良校 奨励賞受賞
4 令和4・5・6年度算数科研究協力校（京都府小学校教育研究会）

2. 教育

(1) 学校教育目標

「創造性にあふれ、心豊かで主体的に生き抜く児童の育成」

(2) 目指す児童像

『考える子』

『思いやりのある子』

『たくましい子』

(3) 努力目標

- ・時間を守る
- ・気持ちの良いあいさつ
- ・学校を美しく

(4) 研究主題

「自ら学び、共に学ぶ、児童の育成」

～主体的・対話的で深い学びのある授業をめざして～

(5) 学校経営方針

ア 新しい時代を拓く教育の推進

国際化、高度情報化、少子高齢化など急激な社会の変化に対して、自ら柔軟かつ的確に対応できる「生きる力」の育成、及びはぐくみたい力の育成に努める。また、新型コロナウイルスへの対応の継続が予測される中、人との関わり合いや対話等、じかに触れ合うことでしか得られない様々な気づきが人を育てる本質を重視し、教育活動を進める。

イ 学習指導要領の趣旨に基づく教育活動の展開

新学習指導要領の趣旨を理解し、主体的・対話的で深い学びの実現を目指す取組を組織的に進め、教育活動全体において質の高い学力の育成を進めるとともに、一人一人の個性を伸ばす教育を推進する。特に、京都府小学校教育研究会算数科研究協力校として、算数科の研究を中心的に、授業改善を進める。

ウ 協働体制の確立

教職員一人一人が人事評価制度の活用などを通して自己の資質能力の向上に努め、全教職員一体となって課題解決に努める。(チーム相楽)

エ 特色ある学校づくり

伝統や文化、校風、ふるさとを大切にしつつ、校区の持つ良さを積極的に生かした特色ある学校づくりを進め、教育の活性化を図る。

オ 家庭・地域社会との連携強化

学校、家庭、地域社会との連携で教育機能を高め、開かれた学校、信頼される学校づくりを推進する。

(6) 重点目標

ア 質の高い学力の育成

- ・算数科を中心として、主体的・対話的で深い学びのある授業を目指した工夫改善を進め、児童自らが課題を見つけ解決していこうとする授業を創る。
- ・教師の授業力の向上を図り、学力向上に結びつける。
- ・理科の専科指導（4・5・6年）を行い、理科に対する意欲の向上や、知識・思考力の育成を図る。
- ・一人一台タブレットやデジタル教科書を活用し、学ぶ意欲の向上や個別最適化された学習の充実に努める。
- ・家庭との連携をすすめ、学習習慣の定着を図る。

イ 豊かな心の育成

- ・特別活動並びに道徳科を核として、学級・学年の集団づくりをすすめるとともに豊かな心とあたたかな児童相互の人間関係を育成する。

ウ 特別支援教育の充実

- ・個別の課題を的確に把握し一人一人の教育的ニーズに応じた指導と支援を行う。
- ・ユニバーサルデザインの視点に立った授業づくりと教育環境の充実に努める。
- ・交流及び共同学習を進め、児童の相互理解にもとづく豊かな人間関係を築く。

エ 地域に根ざした開かれた学校

- ・地域の自然、文化や歴史を大事にし、地域の学校として家庭や地域社会と連携を図り、ふるさとに誇りと愛着を持つ児童を育てる。
- ・地域の人材を活用した教育活動の充実を図る。

(7) 具体の方針

ア 質の高い学力をはぐくむ

- ・算数科を中心として、児童一人一人に「質の高い学力」を育成するために、基礎・基本の徹底を図るとともに、個に応じたきめ細かな指導の充実に努める。
(全国学力・学習状況調査や木津川市統一学力テスト等の学力分析を適切に行い、研修及び実践の場で活用する)

イ 豊かな心と規範意識をはぐくむ

- ・児童の心に響く道徳科の学習を目指し、魅力的な資料の活用や指導方法の工夫により、児童の道徳的実践力を育成する。
- ・児童の個性の伸長と社会的資質・能力・態度の育成を図るため、校内指導体制を確立し、組織的・計画的指導を推進する。
- ・教職員と児童及び児童相互の心のふれあいを大切にし、深い信頼関係、好ましい人間関係の育成に努める。
- ・読書活動を充実させ、読書意欲の向上や読書習慣の形成に努めるとともに、学習・情報センターとしての学校図書館の有効な活用を図る。

ウ 健やかな体をはぐくむ

- ・食に関する指導を通して、望ましい食習慣の形成や人間関係の育成を図る。
- ・健康の保持増進にかかる取組を推進するため、組織体制を整備し、現代的課題の対応を含む保健管理と保健教育を推進する。

エ 一人一人の個性や能力を伸ばし、社会の形成者としての必要な資質をはぐくむ

- ・地域や学校の実態を踏まえた人権教育推進計画を策定し、同和問題をはじめとするさまざまな人権問題についての正しい理解と人権についての実践的態度を育成する。
- ・特別な教育的支援を必要とする児童の教育的ニーズに対応できる特別支援教育の推進を目指して、指導方法の工夫に努め、全教職員の共通理解のもとで取組を進める。
- ・特別活動の時間を核として、児童一人一人の発達段階に応じた、組織的系統的なキャリア教育を推進する。
- ・子どもを取り巻く環境を的確に把握し、生活習慣や学習習慣の確立を図る。

オ 社会の変化に対応し、未来を確かに生きる力をはぐくむ

- ・教育活動全体を通じて、一人一台のタブレットを積極的に利用し、情報活用能力の育成を図るとともに、デジタル教科書の活用やプログラミング教育を推進する。
- ・各教科、道徳、総合的な学習の時間、外国語等における国際理解にかかわる指導内容を踏まえ、グローバル化に対応できる実践を行う。
- ・身近な環境や環境問題に关心を持ち、日常生活の中で活かせるよう環境教育を計画的に推進する。

カ 魅力ある・信頼される学校をつくる

- ・経験及び職能に応じた研修を進めるとともに、教職員がより協働できる体制づくりを推進する。
- ・教育目標や経営方針を教職員が理解するとともに、学校評価の充実を図り、評価項目の重点化と継続的な評価・改善を推進する。
- ・避難訓練や各種の防犯、防災学習の充実を図り、児童一人一人の危機管理能力を育成する。
- ・安全教育や危機管理マニュアルに基づく取組を推進する。

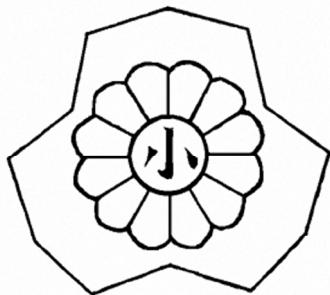
キ 地域の力を活かして子どもをはぐくむ

- ・学校、家庭、地域社会との連携で教育機能を高め、開かれた学校、信頼される学校づくりを推進する。

ク 地域を学び、郷土を大切にする心をはぐくむ

- ・地域の自然や歴史・伝統について学び、地域資源の活用を図る。

木津川市立高の原小学校



高の原小学校校歌

作詞 木村良子
作曲 石崎照代

一、流れも清き 木津川を

はるかにのぞむ この丘に
夢と希望を語りつつ
心豊かに伸びていく
高の原小学校

二、明るい声の ひびき合う

木せいかおる 学び舎に
人の真実を 求めつつ
技をみがきて 育ちゆく
高の原小学校

三、輝く太陽 そよぐ風

緑あふれる この道に
世界の友と はげみつつ
歴史と文化 創りゆく
高の原小学校

郵便番号 619-0224

所在地 京都府木津川市兜台四丁目4番地1

電話 (0774) 72-8737

FAX (0774) 72-8739

E-mail takanohara-es@kizu.ed.jp

HP・URL <http://www.kizu.ed.jp/takanohara-es/>

1. 沿革

昭和

61. 4. 1 木津町立高の原小学校開校 (児童数 58名)
62. 3. 20 第1回卒業証書授与式 (卒業生 11名)

平成

- 元. 1. 10 京都府学校給食優良校努力校受賞
2. 3. 26 北校舎9教室増築
9. 20 歯の健康診断優良校受賞
11. 1 学校給食文部大臣賞受賞
11. 20 京都府教育実践推進校指定 学校給食研究発表会
3. 1. 25 京都府学校給食優良学校賞受賞
3. 1 高の原小学校校歌制定
5. 3. 31 木津町立相楽台小学校開校に伴い児童 132名転学
7. 4. 1 P T A 発足
11. 18 創立 10周年記念式典挙行
8. 5. 16 中国天津市児童使節団との交流学習
9. 10. 9 コンピュータルーム設置 (21台設置)
10. 1. 19 京都府学校安全努力学校受賞
4. 1 障害児学級「ねむの木」開設
12. 4. 1 木津町国際理解推進事業指定校
13. 2. 8 国際理解教育学校公開
4. 1 平成 13・14年度小学校教育実践パイロット校(道徳)指定
6. 1 創立 15周年記念航空写真撮影
14. 2. 1 小・中学校教育実践パイロット校教育局別実践交流会(於 本校)にて
授業公開
4. 1 障害児学級「ねむの木 2組」(情緒障害児学級)開設
11. 16 平成 14年度「さわやか賞」受賞
11. 26 京都府教育委員会教育実践パイロット校「道徳教育」並びに木津町教育
委員会研究指定校「道徳教育」研究発表会
15. 3. 31 「道徳教育の展開」出版
7. 22 京都中央信用金庫「かがやき賞」受賞
12. 5 「道徳教育」授業研究会
16. 12. 24 「高の原子ども安全ネットワーク会議」発足
17. 2. 26 創立 20周年記念事業バザー
6. 15 創立 20周年記念航空写真撮影
11. 12 創立 20周年記念行事
12. 1 木津町教育委員会研究指定校 算数科授業公開・研究協議会
18. 11. 2 京都府健康教育推進優良校「健やか奨励賞」受賞
19. 1. 25 木津町教育委員会研究指定校 算数科授業公開・研究協議会
3. 12 木津川市誕生により、木津川市立高の原小学校に改称
4. 1 京の子ども夢・未来校(「やましろ未来っ子」研究推進校)指定
木津川市教育委員会研究指定校
11. 1 山城地方夢・未来教育実践交流会 公開授業
20. 4. 1 全国学力・学習状況調査等を活用した学校改善の推進に係る実践研究校
10. 23 京の子ども夢・未来校(「やましろ未来っ子」研究推進校)並びに木津川
市教育委員会研究指定校 研究発表会
21. 4. 1 第2期京都府「教師力養成講座」教育実践演習校指定
平成 21年度「スクールサポート推進事業」研究協力校指定
22. 4. 1 第3期京都府「教師力養成講座」教育実践演習校指定
平成 22年度「スクールサポート推進事業」研究協力校指定
22. 6. 9 創立 25周年記念航空写真撮影
11. 30 木津川市教育委員会研究指定校 国語科授業公開・研究協議会

23. 4. 1 第4期京都府「教師力養成講座」教育実践演習校指定
平成23年度「スクールサポート推進事業」研究協力校指定
24. 4. 1 第5期京都府「教師力養成講座」教育実践演習校指定
平成24年度「スクールサポート推進事業」研究協力校指定
25. 4. 1 第6期京都府「教師力養成講座」教育実践演習校指定
平成25年度「スクールサポート推進事業」研究協力校指定
26. 4. 1 第7期京都府「教師力養成講座」教育実践演習校指定
平成26年度「スクールサポート推進事業」研究協力校指定
27. 4. 1 第8期京都府「教師力養成講座」教育実践演習校指定
平成27年度「スクールサポート推進事業」研究協力校指定
木津川市特色ある学校づくり推進校指定
28. 4. 1 第9期京都府「教師力養成講座」教育実践演習校指定
平成28年度「スクールサポート推進事業」研究協力校指定
29. 4. 1 第10期京都府「教師力養成講座」教育実践演習校指定
平成29年度「スクールサポート推進事業」研究協力校指定
山城地方学校力向上トライアル校指定
木津川市特色ある学校づくり推進校指定
30. 4. 1 第11期京都府「教師力養成講座」教育実践演習校指定
平成30年度「スクールサポート推進事業」研究協力校指定
31. 4. 1 第12期京都府「教師力養成講座」教育実践演習校指定
平成31年度「スクールサポート推進事業」研究協力校指定

令和

2. 4. 1 第13期京都府「教師力養成講座」教育実践演習校指定
令和2年度「スクールサポート推進事業」研究協力校指定
3. 4. 1 第14期京都府「教師力養成講座」教育実践演習校指定
令和3年度「スクールサポート推進事業」研究協力校指定
4. 4. 1 第15期京都府「教師力養成講座」教育実践演習校指定
令和4年度「スクールサポート推進事業」研究協力校指定

2 教育

(1) 教育目標

「ひとりだち」

—変化の激しい社会に対して、自ら柔軟かつ的確に対応できる「生きる力」の育成—

(2) 目指す児童像

か し こ く (知) 学力の充実・向上

や さ し く (徳) 豊かな人間性と社会性の育成

た く ま し く (体) 健やかな体づくりの推進

(3) 教育方針

ア 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を通して、児童が教科の特性に応じた見方や考え方を身につけ、学んだことを活かして自ら学ぶ力を育てる

イ 人権学習や研修、生活単元的な道徳学習、特別支援理解学習等を推進し、多様性を認め合い、人を思いやり尊重する心を育てる

ウ 体力の向上及び健康・安全教育を通して、自分の体について知り、大切にしようとする意欲を持った心身とともに健康でたくましい児童を育てる

エ 個別の教育支援による特別支援教育及び組織的な教育相談等を通して、一人一人の児童のニーズを大切にした学びの場、学び方を工夫する

オ 地域資産の活用等、地域とのつながりを作り、教師も児童も地域を愛する心を持ち、開かれた、魅力ある学校づくりを推進する

カ 教職員の資質向上のための研修を充実させるとともに、業務内容の改善、働き方の見直しを通して、教職員の心身の健康を守る

(4) 本年度重点研究課題

「言語活動を通して、国語で正確に理解し、適切に表現する資質・能力の育成」

～大事なことを落とさずに読む、話す、聞く、書く力を鍛えるための手立ての研究～

(5) 本年度の努力点

児童 挨拶、掃除、廊下歩行、時間を守る

教師 児童とともに行動、率先垂範、優しさと厳しさのある指導

(6) 指導の重点

ア 質の高い学力をはぐくむ

(ア) 学びに向かう力

・人間性等の涵養と学習習慣の確立

・専門家や地域資源を活用した授業、本物に出会い、触れる体験を重視した授業等を通して、児童の知的好奇心の高揚

・「家庭学習の手引き」の活用啓発、家庭学習がんばり週間の設定等、家庭との連携による学習習慣・生活習慣の定着と、自主学習の指導による自ら学ぶ学び方の定着

・「オレンジ・キッズ」「オレンジ・ティーチャー」による学習に向かう心構えの醸成と「高の原スタンダード」による授業の流れの確立

(イ) 基礎的・基本的な知識・技能の定着

・朝学習・モジュール学習の時間を有効に活用した基礎学力定着の学習と月曜補習等による個別指導の取組の充実

(ウ) 活用する力の充実

・言語活動の充実と児童が国語で正確に理解し、適切に表現する力を育成する重点研究の充実

イ 豊かな心と規範意識をはぐくむ

(ア) 道徳科の授業・評価の充実

・教科の学習、行事等との関連を持たせた資料による効果的な「生活単元的な道徳」の実践及び、道徳科の授業改善と評価の研修

(イ) 生徒指導の充実

・児童の自己有用感の育成のため、生徒指導の3機能（自己存在感、共感の人間関係、自己決定）を生かした指導を学校の全教育活動で推進

・社会や学校生活上のルールや基本的なモラルを守ることの意義や重要性について、全職員が同じ意識で取組・指導の徹底

- ・一人一人の児童理解に努め、学校いじめ防止基本方針に基づき、いじめ等の問題事象の未然防止、早期発見、早期対応に向けた取組の推進
- ・組織的な教育相談活動の推進及び、関係機関との連携を通じた不登校児童の早期対応、家庭支援、選択できる学びの場の設定

(ウ) 読書活動の充実

- ・読書タイムの設定、校内の読書週間の取組、児童の関心を高める学校図書館の運営等による、日々の読書の習慣と豊かな心の育成

ウ 健やかな体をはぐくむ

(ア) 食育の推進

- ・食に関する指導計画に基づき、教科等とも関連させた指導による望ましい健全な食習慣の定着と、児童の関心を高める食に関する学習の充実

(イ) 体力の向上

- ・体力テストの結果分析による本校児童に合わせた体力・運動能力向上の取組の推進

(ウ) 健康の保持増進

- ・自分の体を知り、健康や安全を自分から守ろうとする意識や実践力を身に付ける健康・安全教育の推進
- ・将来にわたって心身ともに健康で安全に生活しようとする意欲と知識、行動力を育てる喫煙・飲酒・薬物乱用等の防止教育の推進

エ 一人一人の個性や能力を伸ばし、社会の形成者として必要な資質をはぐくむ

(ア) 人権教育の充実

- ・人権教育年間指導計画に基づいた計画的な指導を通して、思いやりのある人権感覚豊かな心と人権尊重の態度や実践力の育成、及び人権意識を育てる取組の充実
- ・同和問題・人権問題に対しての鋭い人権感覚を磨く教職員研修、指導力の向上

(イ) 特別支援教育の充実

- ・校内委員会の機能を活用し、特別な支援を必要とする児童一人一人の教育的ニーズに応じた適切な支援の実現及び、相談支援体制の充実
- ・障害者理解教育、インクルーシブ教育の推進に向けた教職員研修の充実
- ・ユニバーサルデザインの視点に立った授業改善・教育環境の整備と、共同学習や交流学習等の多様な学びの場を通しての特別支援理解教育の推進

(ウ) キャリア教育の推進

- ・全教育活動を通して、他者と支え合いながら、主体的に将来を創造する力の基礎と自己肯定感を育むキャリア教育の視点

オ 社会の変化に対応し、未来を確かに生きる力を育む

(ア) 情報教育の推進

- ・児童のICT活用力の育成及び論理的思考を身に付けるプログラミングの実施
- ・教職員研修の充実による最新のICT活用・情報モラルへの対応

(イ) グローバル化に対応できる人材の育成

- ・外国語科の授業及び外国語活動を通したコミュニケーションの能力の向上
- ・諸外国の伝統や文化、ニュースに関心を持たせ、対話的な学習を通して異文化を理解し尊重するグローバルな視点の育成

(ウ) 環境教育の推進

- ・児童が身近な環境や環境問題に关心を持ち、SDGs等、生活との関わりについて考え方行動する教育の推進

カ 魅力ある・信頼される学校・園をつくる

(ア) 学校の組織力と教職員の資質向上

- ・全教職員が課題と成果を共有し、教職員相互の協働と、報告・連絡・相談・確認の徹底による、迅速で効果的な組織運営の実践
- ・全教職員の知と技を活かし、OJT等によって互いに学びあう中で、若手教職員への教育文化の継承と教職員それぞれのステージに応じた資質の向上による学校力の強化
- ・教職員一人一人が公務員としての高い倫理観を持ち、社会的責任を自覚したコンプライアンス行動実践の推進

(イ) 魅力ある学校づくり

- ・家庭の教育力、人材活用など地域の力を生かした魅力ある教育活動の推進
- ・学校だよりやホームページ等を通して家庭や地域へ学校の取組を伝える等、連携を充実させるための広

報活動の推進

(ウ) 安心・安全なよりよい教育環境の整備

- ・常に危機意識を持ち、事故災害情報を共有化することによる事故災害の未然防止・教訓化・再発防止等の取組による組織的対応力の強化

キ 地域の力を活かして子どもをはぐくむ

(ア) 地域資源の活用

- ・地域人材の活用、地域活動への参加等、地域の資源を活用した教育活動を通して、社会の一員としての自覚の芽生えと地域を愛する心の育成

(イ) 家庭教育支援

- ・児童虐待の早期発見・早期対応とともに、保護者支援に必要な関係機関との連携強化

(ウ) 安全対策

- ・安全ボランティア・PTA・地域関係諸機関・団体との連携による、学校・家庭・地域で子どもたちを見守る体制を継続・発展させる取組の充実

ケ 地域を学び、郷土を大切にする心をはぐくむ

(ア) 自然・歴史についての学習の充実

- ・「私たちの木津川市」の積極的な活用やフィールドワーク等の体験的な学習を通して、地域の自然や歴史にふれ、地域に愛着を持ち、主体的に地域に貢献する意欲や態度を育てる地域学習の推進

(イ) 地域資源の活用

- ・研究機関や企業、関係施設等と連携を図ったタイムリーで体験的な学習活動の推進
- ・保幼小連携、小小連携、小中連携及び小高連携への発展

ケ その他

(ア) 人材育成

- ・京都府教師力養成講座担当校として、教師を目指す学生の育成に全教職員が関わることを通して、教職員の育成への意識、技能の向上
- ・若手教員を抜擢した校務分掌、中堅教員やベテラン教員が若手教員を指導し、支える学年経営等による人材育成の推進

(イ) 職員研修

- ・今日的な教育課題等について各部が中心となる主体的に学ぶ職員研修の場の充実（特に同和問題研修、道徳の評価についての研修等に取り組む）

(ウ) 業務改善

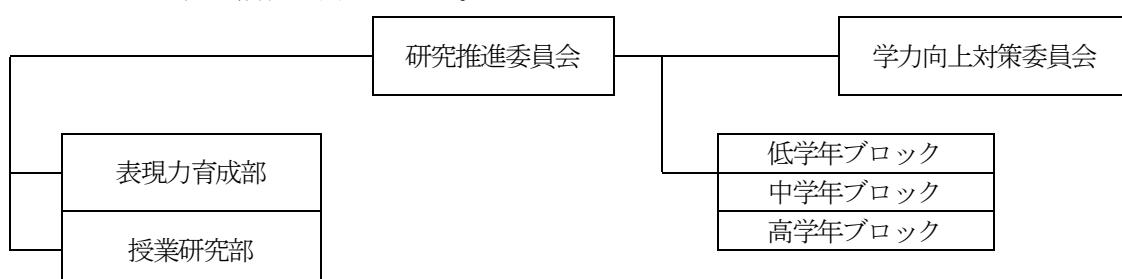
- ・ライフワークバランスのとれた勤務時間の適正化、会議時間の短縮、各々の専門性を活かした学年内での交換授業等、活力のある職場作りを目指した業務改善の組織的な取組の推進

(7) 重点研究

ア 重点領域 国語科

イ 研究主題 「言語活動を通して、国語で正確に理解し、適切に表現する資質・能力の育成」 ～大事なことを落とさずに読む、話す、聞く、書く力を鍛えるための手立ての研究～

ウ 研究組織 研究推進委員会を中心に、専門研究部（全校的な取組）及び低・中・高学年ブロック（授業研究）を編成し取組を進める。



エ 重点課題

- ・大切なことを落とさずに読む力を育てる授業（言葉をみつける・要約する力）
- ・文章を正しくとらえ、意見しながら読む力の育成
- ・系統性の明確化
- ・豊かな表現力を育成するための全校的な取組の推進
- ・語彙力や表現力を磨き、豊かな心を育てるための読書活動

木津川市立相楽台小学校



相楽台小学校校歌

作詞 西田義忠
作曲 森本陽三郎

一 ふるさとの

はるかな歴史 しのばせて
木犀かおる 木津の野辺
心とからだ すこやかに
みんな仲よく 学びます
わたくしたちの 相楽台
相楽台小学校

二 夢うかべ

千古の流れ とうとうと
水面きらめく 木津の川
共に手をとり おおらかに
眞実の道を 歩みます

わたくしたちの 相楽台
相楽台小学校

三 あたらしい

世紀に映える けいはんな
文化学術 拓くまち
未来をなう よろこびに
理想の花を 咲かせます
わたくしたちの 相楽台
相楽台小学校

郵便番号 619-0223

所 在 地 京都府木津川市相楽台5丁目17番地1

電 話 (0774) 72-4005

F A X (0774) 72-4400

E-mail saganakadai-es@kizu.ed.jp

HP・URL <http://www.kizu.ed.jp/saganakadai-es/>

1. 沿革

- 平5. 4. 1 木津町立高の原小学校より、分離・独立し、開校する（4月5日開校式）
5. 4. 1 平成5・6・7年度国際理解教育推進モデル校として指定を受ける（京都府教育委員会、木津町教育委員会）
5. 4. 7 第1回入学式（入学生39名）児童数190名
5. 10. 8 アメリカ、オレゴン州教育視察団学校訪問
6. 3. 12 近畿テレビ「教育の窓」で本校の国際理解教育放映
6. 3. 19 第1回卒業式（卒業生28名）
6. 5. 25 中国、天津市少年宮学校訪問
6. 11. 20 よい歯の学校表彰受賞（社団法人京都府歯科医師会）
7. 11 よい歯の学校特別表彰受賞（社団法人京都府歯科医師会）
8. 3. 国際理解教育3年間のまとめ冊子刊行
8. 11. 6, 14 第1回国際理解教育授業研究自主発表会
8. 12. 12 中国教育視察団学校訪問
9. 5. 16 英国教育視察団学校訪問
9. 6. 11 校歌発表会
9. 10. 16 全日本よい歯の学校表彰受賞（社団法人日本学校歯科医会）
9. 11. 12 第2回国際理解教育授業公開
10. 1. 19 京都府健康優良学校努力校受賞
10. 10. 27 府小研国語部研究協力校として実践発表
11. 4. 1 平成11・12年度教育実践パイロット校（総合的な学習について）指定を受ける（京都府教育委員会）
12. 11. 14 教育実践パイロット校「総合的な学習」研究発表会（京都府教育委員会・木津町教育委員会）
13. 4. 1 国立教育政策研究所指定
平成13年度教育課程研究指定校の委嘱を受ける（「総合的な学習の時間」）
木津町教育委員会研究指定（3年次）（「総合的な学習の時間」）
13. 11. 27 「総合的な学習の時間」研究発表会
14. 2. コンピュータ42台設置
14. 5. 「人権の花」運動実施校委託（京都地方法務局・京都府人権擁護委員連合会）
14. 8. 27 学校歯科保健優良校表彰受賞（社団法人京都府歯科医師会）
14. 9. 1 学校評議員制度発足
14. 11. 6 創立10周年記念植樹
14. 11. 16 創立10周年記念式典
15. 3. 14 「人権の花」運動感謝状伝達式
16. 2. 27 木津町地域イントラネット基盤整備完了
16. 4. 木津町地域イントラネット一部運用開始
16. 4. 1 平成16・17年度京都府教育委員会指定「京都夢・未来校」の指定を受ける（「理科」）
「京都夢・未来校」指定1年次授業公開（「理科」）

17. 11. 10 「京都夢・未来校」理科教育研究発表会
18. 11. 18 ファミリー参観「理科・生活科教育自主研究発表会」
19. 3. 12 木津川市誕生に伴い、木津川市立相楽台小学校と改称
19. 8. 24 学校歯科保健優良校表彰 特別表彰受賞（社団法人京都府歯科医師会）
19. 11. 17 ファミリー参観「理科・生活科教育自主研究発表会」
20. 8. 22 学校歯科保健優良校表彰 特別表彰受賞（社団法人京都府歯科医師会）
20. 11. 15 ファミリー参観「理科・生活科教育自主研究発表会」
21. 8. 20 学校歯科保健優良校表彰 特別表彰受賞（社団法人京都府歯科医師会）
21. 11. 14 ファミリー参観「理科・生活科教育自主研究発表会」
22. 8. 21 学校歯科保健優良校表彰 特別表彰受賞（社団法人京都府歯科医師会）
22. 11. 13 ファミリー参観「理科・生活科教育自主研究発表会」
23. 8. 19 学校歯科保健優良校表彰 特別表彰受賞（社団法人京都府歯科医師会）
23. 11. 12 ファミリー参観「理科・生活科教育自主研究発表会」
24. 4. 1 木津川市「栄養教諭を中心とした食育推進事業」実践中心校
24. 11. 10 ファミリー参観（国語科を中心とした伝え合う力を育む学習や取組）
25. 4. 1 「土曜日を活用した教育の在り方実践研究事業」土曜教育実践研究指定校（～平成30年）
25. 5. 29 「測量の日」記念事業「測量体験学習」実施（一般社団法人 京都府測量設計業協会）
25. 11. 9 ファミリー参観（国語科を中心とした伝え合う力を育む学習や取組）
26. 4. 1 平成26・27年京都府学校給食研究会研究推進委嘱校
26. 11. 9 ファミリー参観（食育を中心とした「食 Smile・Powerful」発表会）
27. 4. 1 平成26・27年京都府学校給食研究会研究推進委嘱校
27. 11. 7 土曜活用授業日・「食 Smile・Powerful」発表会
27. 11. 17 平成27年京都府学校給食研究会京都府学校給食研究発表会
28. 11. 26 土曜活用授業日・「ことはぐ発表会」（～令和元年）
29. 4. 1 平成29・30年度京都府教育委員会指定「学力向上システム開発校」
文部科学省「外部専門機関と連携した英語指導力向上事業」研修協力校
30. 1. 20 創立25周年記念行事
30. 3. 6 創立25周年記念植樹
31. 1. 29 平成29・30年度京都府教育委員会指定「学力向上システム開発校」研究発表会
- 令 1. 10. 26 土曜授業日・「ことはぐ発表会」

2. 教育

(1) 教育方針

学習指導要領、「第2期京都府教育振興プラン」及び木津川市の方針に基づき、包み込まれているという感覚を土台に児童の自己肯定感をはぐくみ、「主体的に学び考える力」「多様な人とつながる力」「新たな価値を生み出す力」を身につけた、より良い社会と幸福な人生を創り出せる人間の育成に努める。

(2) 教育目標

豊かな教育活動を通して、実際の社会や生活で生きて働く「知識及び技能」、未知の状況にも対応できる「思考力、判断力、表現力等」、学んだことを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力、人間性等」をバランスよく育み、児童に「生きる力」を培う。

- ア 深く考え、主体的に見通しを持って学習に取り組むとともに、創造性あふれる児童を育成する。
- イ やさしい心と豊かな感性をもち、なかよく助け合い、励まし合う児童を育成する。
- ウ 何事にも責任をもって、ねばり強く最後までやりぬく児童を育成する。
- エ 生命の尊さを自覚し、自他の健康安全の維持管理に努める児童を育成する。
- オ 豊かな自然や文化と伝統を尊重するとともに、国際感覚を身に付けた児童を育成する。

(3) めざす児童像

- かしこく やさしく たくましく 一生懸命やりぬく子—
○深く考える子 ○やさしい子 ○元気な子 ○ねばり強くたくましい子

(4) めざす教師像

- 愛情と厳しさをもち、児童に信頼され親しまれる教師
- 健康で明るく、活動性に富んだ教師
- 信頼と協調で結ばれた組織的な教師
- 常に研究と修養に励み、保護者や地域社会の信託に応える教師

(5) 経営方針

ア 基本方針

児童にとっては魅力ある学校、家庭及び地域社会にとって開かれた学校を目指すとともに、特色ある学校づくりを通して教育の活性化を図り、児童に「生きる力」を培う。

| 【こんな学校に～今年度の重点事項～】 | |
|--------------------|-------|
| ○ 笑顔で挨拶 | 明るい学校 |
| ○ 進んで学習 | 楽しい学校 |
| ○ きれいにお掃除 | 美しい学校 |

イ 本年度の重点

(ア) 質の高い学力をはぐくむ

基礎・基本と共に、一人一台端末の活用や「主体的・対話的で深い学び」の充実を通して、課題解決能力を培う。

(イ) 豊かな心と規範意識をはぐくむ

互いの個性や価値観の違いを認め、望ましい集団活動を通して他者との信頼関係を築く。

(ウ) 健やかな体をはぐくむ

自発的に健康を守ろうとする態度を養う。

(エ) 地域の力を活かして子どもをはぐくむ

「安全・安心ネットワーク会議」や「ほっぷ広場」等と連携し、開かれた学校づくりと児童の安全確保に努める。

ウ 本年度重点研究テーマ

主体的に学ぶためのプログラミング的思考の活用

～自ら学び、自ら考え、協力し合って課題解決に向かう子どもたち～

(6) 指導の重点

[質の高い学力をはぐくむ]

ア 児童が自らの学習を調整しようとする授業改善に取り組む。家庭学習ステップアップ週間を契機に自らの学習習慣を振り返らせる。（学びに向かう力、人間性等の涵養と学習習慣）

イ デジタルドリルの活用を進めるとともに、朝学習・特色ある教育活動「ことはぐタイム」・放課後補習「ホップアップ学習」を充実させる。（基礎的・基本的な知識・技能）

ウ 思考力・判断力・表現力を必要とする課題を設定し、対話的な学びや自らの学習を振り返る学習活動を通して、活用する力をはぐくむ。（活用する力）

[豊かな心と規範意識をはぐくむ]

ア 「考え、議論する」ための中心発問や評価のあり方を軸に、多面的・多角的に自己の生き方について考えを深める授業改善を行う。（道徳教育）

イ 望ましい集団活動を通して互いの個性を認め合い、協力する楽しさを味わうことで、生徒指導の「教育的予防」を図る。（生徒指導）

ウ 学校図書館を学習情報センターとしても機能させるとともに、読み聞かせ等を活用し児童の読書の幅を広げる。（読書活動）

[健やかな体をはぐくむ]

ア アレルギーのある児童に配慮しながら、日常的な給食指導や給食週間等の取組を通して、食に対する意識を高める。（食育）

イ 年間指導計画に沿って体育科のすべての領域を計画的・段階的に指導する。休み時間や家庭でできる体力作りにも取り組む。（体力）

ウ 睡眠を含む日常指導やメンタルヘルス教育等を通して、自分の心身の健康に关心を持ち、自発的に健康を守ろうとする態度を養う。（健康）

[一人一人の個性を伸ばし、社会の形成者としての資質をはぐくむ]

ア 人権週間を始めすべての教育活動において、他者を尊重しつつ自己主張する体験を通して、互いの個性や価値観の違いに気付かせる。（人権教育）

イ 通常の学級におけるユニバーサルデザイン化を推進するとともに、障害に対する理解教育を通して

個性を認め合う実践力を培う。（特別支援教育）

ウ 学級活動を要とし、キャリアパスポートを活用して自己の成長に気付かせ、学ぶことと将来とのつながりを見通させる。（キャリア教育）

エ I C Tも活用し、各幼保こども園と連携して児童理解を深め、交流を活性化する。貧困対策として、児童の些細な変化に留意する。（幼児期の教育・貧困対策）

[社会の変化に対応し、未来を確かに生きる力をはぐくむ]

ア プログラミング教育とも連動させ、一人一台タブレットを活用した学習に取り組む。計画に沿い、情報モラルに対する正しい認識を育てる。（情報教育）

イ 外国語専科教員や日本語指導教員と連携し外国語教育を推進するとともに、I C Tも活用しながら異文化に対する学習に取り組む。（グローバル化への対応）

ウ 校内の美化作業やゴミの分別等を通して、環境問題を身近な問題としてとらえさせる。市まち美化推進課等と連携した学習を行う。（環境教育）

[魅力ある・信頼される学校をつくる]

ア 毎週金曜日に打合せの時間を設け、ブロック学年や校務分掌等でP D C Aサイクルによる取組推進が行えるようにする。（学校の組織力と教職員の資質）

イ プログラミング教育を軸として、特色ある学校を創る。地域学校協働本部等の地域の力も活かしながら、豊かな教育活動を展開する。（学校づくり）

ウ 毎月の点検を軸に安全な環境の維持・改善に努めるとともに、ユニバーサルデザインの視点に立った教室経営を意識する。（教育環境）

[地域の力を活かして子どもをはぐくむ]

ア 保護者の悩みを丁寧に聞き、必要に応じて関係機関と連携し情報共有するとともに、スクールカウンセラーや学び・生活アドバイザー等の相談窓口を紹介する。（子育て支援）

イ 「家庭学習の手引き」や学校・学年・学級により、H P、学級・個人懇談会等を通して、家庭教育に関する情報を提供する。（家庭教育支援）

ウ 土曜参観で保護者・地域と共に安全マップを作る等、児童自らが安全について考える機会を設ける。地域ぐるみの安全対策を講じる。（安全対策）

[地域を学び、郷土を大切にする心をはぐくむ]

ア 教職員が、相楽台地域や木津川市を知るための研修を計画・実施する。動画等も活用し、児童の地域学習の充実を図る。（自然・歴史についての学習）

イ 読み聞かせボランティア等、これまでの地域人材の方々に引き続きご協力いただくとともに、新たな地域資源を探る。（地域資源）

木津川市立木津川台小学校



木津川台小学校校歌

作詞 丹元秀史
作曲 坂元長樹

一、豊かな自然 輝く文化
希望に満ちた 木津川台は
みんな仲良く はげみ合い
明るく強く すぐすく伸びる
未来を見つめ 学ぼう共に
二、明日を開く 輝くいのち
楽しさ一杯 木津川台は
みんな一緒に 助け合い
明るく強く 元気に育つ
やさしい友と 学ぼう我ら
三、真理を求め 輝くこころ
歴史を創る 木津川台は
みんな元気に 鍛え合い
明るく強く 木津川台は
世界の友と 豊かに生きる

郵便番号 619-0225
所在地 京都府木津川市木津川台2丁目4番地
電話 (0774) 73-2418
FAX (0774) 73-2420
E-mail kizugawadai-es@kizu.ed.jp
HP・URL <http://www.kizu.ed.jp/kizugawadai-es/>

1. 沿革

| | |
|------------|--|
| 平成3年 4月 1日 | 木津町立木津川台小学校開校 児童数 56名 |
| 4年 3月 7日 | 前庭時計台設置 児童数 87名 |
| 5年 5月 1日 | 児童数 97名 |
| 6年 2月 26日 | 校歌発表会開催 児童数 126名 |
| 7年 4月 1日 | ふるさと交流学習促進事業1年次 (文部省委嘱、京都府教育委員会指定校) 児童数 151名 |
| 5月 1日 | 丹後町立竹野小学校との宿泊交流 (於竹野小学校) |
| 8年 4月 1日 | ふるさと交流学習促進事業2年次 (文部省委嘱、京都府教育委員会指定校) 児童数 155名 |
| 5月 1日 | 丹後町立竹野小学校との宿泊交流 (於木津川台小学校) |
| 11月 1日 | コンピュータ22台設置 |
| 11月 29日 | 国際理解促進事業として留学生と交流 |
| 9年 3月 6日 | 国際理解促進事業として留学生と交流 児童数 199名 |
| 10年 4月 1日 | 国際理解教育推進事業 (木津町教育委員会指定校) 児童数 251名 |
| 5月 1日 | 国際理解教育交流発表会開催 |
| 11年 2月 18日 | 全国教育美術展地区学校賞受賞 児童数 307名 |
| 2月 26日 | 特別支援学級設置 児童数 338名 |
| 5月 1日 | 創立10周年記念式典 |
| 12年 4月 1日 | 特別支援学級廃止 児童数 368名 |
| 5月 1日 | 児童数 428名 |
| 11月 18日 | 特別支援学級設置 木津町教育委員会指定教育実践研究校 (国際理解教育) |
| 13年 3月 31日 | 豊かな体験活動推進事業 (「地域間交流」)として京都府より 委託、地域交流推進校として指定 (15・16年度) |
| 5月 1日 | 児童数 465名 |
| 16年 4月 1日 | 全国JA小中学校交通安全ポスタークールで学校賞受賞 京都府豊かな体験活動推進事業地域交流推進校指定 (2年次) 国際理解教育推進事業 (木津町教育委員会指定校) |
| 5月 1日 | 児童数 499名 |
| 11月 26日 | 「英語活動」研究発表会開催 児童数 543名 |
| 17年 5月 1日 | 人権教育総合推進地域事業推進協力校 (文部科学省指定) |
| 18年 4月 1日 | 児童数 599名 |
| 5月 1日 | |

| | |
|------------|--|
| 19年 3月 12日 | 三町合併による木津川市移行のため、 「木津川市立木津川台小学校」に名称変更 |
| 4月 1日 | 人権教育総合推進地域事業推進協力校（2年次） |
| 5月 1日 | 児童数 620名 |
| 10月 25日 | 平成19年度学校安全優良校表彰 |
| 12月 8日 | 山城未来っ子EKIDEN出場 |
| 20年 4月 1日 | 人権教育総合推進地域事業推進協力校（3年次） |
| 5月 1日 | 児童数 625名 |
| 12月 6日 | 山城未来っ子EKIDEN出場（4位入賞） |
| 21年 5月 1日 | 児童数 650名 |
| 12月 5日 | 山城未来っ子EKIDEN出場 |
| 22年 3月 | 増築校舎完成 |
| 5月 1日 | 児童数 672名 |
| 11月 12日 | 創立20周年記念学習発表会 |
| 12月 4日 | 山城未来っ子EKIDEN出場 |
| 23年 5月 1日 | 児童数 682名 |
| 12月 3日 | 山城未来っ子EKIDEN出場 |
| 24年 5月 1日 | 児童数 674名 |
| 25年 5月 1日 | 児童数 683名 |
| 12月 7日 | 山城未来っ子EKIDEN出場 |
| 26年 5月 1日 | 児童数 649名 |
| 12月 6日 | 山城未来っ子EKIDEN出場 |
| 27年 5月 1日 | 児童数 620名 |
| 8月 31日 | 体育館天井耐震工事終了 |
| 11月 12日 | 児童トイレ洋式化工事終了 |
| 12月 5日 | 創立25周年航空写真撮影 |
| 28年 5月 1日 | 山城未来っ子EKIDEN出場（優勝） |
| 12月 3日 | 児童数 579名 |
| 29年 5月 1日 | 山城未来っ子EKIDEN出場 |
| 30年 5月 1日 | 児童数 529名 |
| 令和元年 5月 1日 | 児童数 495名 |
| 2年 5月 1日 | 児童数 446名 |
| 11月 10日 | 児童数 401名 |
| 3年 3月 | 創立30周年航空写真撮影 |
| 5月 1日 | 創立30周年記念誌発行 |
| 4年 5月 1日 | 児童数 330名 |
| | 児童数 292名 |

2 教育

(1) 教育目標

「明るく 強く 心豊かに生きる子の育成」

- ア 確かな学力を身に付け、主体的に学ぶ児童を育てる。
- イ 心身共に健康でたくましい児童を育てる。
- ウ 豊かな感性をもち、創造性あふれる心豊かな児童を育てる。
- エ 生命と自然を大切にし、文化と伝統を尊重する児童を育てる。
- オ 個人の尊厳と人権を尊重し、国際性豊かな児童を育てる。

(2) めざす児童像

- ア よく考える子・・・確かな学力。自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する力など
- イ たくましい子・・・心身の健康。たくましい体や体力、行動力など
- ウ 心の豊かな子・・・生命を尊重する心、思いやりや正義感。豊かな人間性や社会性、国際性など

(3) めざす学校像

- ア 明るく楽しい学校・・・児童が教職員や友達と明るく触れ合いながら、互いに個性を発揮して意欲的に学び、自己実現のできる学校
- イ 夢と希望のある学校・・・児童が将来の夢や希望をもち、自らよりよい生き方を考え、自ら学び、主体的に行動する学校
- ウ 美しく魅力のある学校・・・児童が愛着をもち、誇りをもって学ぶ学校。児童の感性や好奇心・探究心に働きかけて、豊かな情操を育み、児童の学ぶ意欲や自発的な活動を呼び起こす学習環境の学校
- エ 創意あふれる元気な学校・・・児童と教職員が共に元気で、何事にも創意工夫して積極的に取り組む活発な学校
- オ 特色ある開かれた学校・・・保護者や市民の信託と期待に応える教育活動を展開する特色のある開かれた学校
家庭や地域と強く連携し、教育的な機能を相互に補完しあい
共に子どもを育てていく学校

(4) めざす教師像

- ア 心身ともに健康で、互いに連携し、協働する教師
- イ 人間性豊かで、教育への創意と情熱に溢れる教師
- ウ 使命と責任を自覚し、不断の研さんに努める教師
- エ 家庭や地域との連携に努めきめ細かく対応して児童・保護者から信頼される教師

(5) 学校経営方針

めまぐるしく変化していく社会において、変化を前向きにとらえて主体的に行動し、よりよい社会と幸福な人生を作り出せる人の形成を目指すため、学習指導要領、京都府教育振興プラン及び木津川市教育振興基本計画に基づき、児童の実態を把握し、家庭や地域社会との連携を深めて本校教育のより一層の充実に努める。

- ア すべての教育活動を通して、主体的に行動し、新しい時代を拓く児童の育成に向け、学校教育目標や目指す児童像等の具現化を図る。
- イ 基礎・基本の徹底と言語活動の充実に努め、学力の充実・向上と個性を伸ばす教育を推進する。

- ウ 規範意識やコミュニケーション能力を高め、豊かな人間性をはぐくむ教育を推進する。
- エ 教職員の連携・協働体制を確立し、児童が「包み込まれている感覚」を実感できるよう教育活動の基盤づくりを推進する。
- オ 家庭や地域社会とつながり、信頼される学校づくりを目指す。
- カ ICTの積極的な活用により、個別最適な学び・協働的な学びを充実させる。

(6) 本年度の努力点

- ア 学習指導要領の趣旨に基づく教育活動の充実
 - 授業改善を通して、主体的・対話的で深い学びを目指した取組を進める。
- イ 児童が思いを豊かに表現し合い、学びを深められる指導についての研究・実践
 - 学習意欲を高め、各教科において、聞く・話す・話し合う力の向上を目指し、学びを深められるような実践を推進する。
- ウ 人権教育・道徳教育の推進
 - あらゆる教育活動を通して、規範意識や基本的人権を尊重する心を育て、将来を展望する力の育成に努めるとともに、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養う。
- エ 特別支援教育の推進
 - ① 特別な支援が必要な児童の個々のニーズに応じた指導を図る。
 - ② 理解教育および校内研修を計画的に実施するとともに関係機関との連携を密にした取組を推進する。
- オ ICTの積極的活用
 - ICTを効果的に授業の中で積極的に活用し、個別最適な学び、協働的な学びの充実を図るとともに、教職員及び児童のスキルアップを図る。

(7) 本年度の指導の重点

《基礎・基本の徹底による学力の充実・向上と個性を伸ばす教育の充実》

- ア 学習指導
 - 基礎学力の充実を図り、体験的な学習や問題解決的な学習などを通して児童自らが主体的に学ぶ意欲を育てるとともに、個に応じた指導など指導方法の工夫改善に努める。
 - ① 学習状況の的確な把握と指導目標の明確化による授業改善に取り組み、基礎学力の充実に努める。各教科や各領域において話し合い活動の場を設け、言語活用能力の充実に努める。
 - ② 児童一人一人のよさや可能性を伸ばす授業を追究する。
 - ③ 授業研究を通した研修の充実を図り、学力の充実・向上に向けた指導体制の確立を図る。
 - ④ 読書活動を教育活動の中に適切に位置付け、読書活動の充実を図る。
 - ⑤ 体力づくりを通して心身の健康の増進を図る。
- イ 進路指導
 - 望ましい職業観や勤労観を身に付け、自らの進路を主体的に切り拓く能力の基礎を培う。
 - ① 人間としての生き方にかかわる指導を基盤にして、自己の特性に気づかせながら将来の希望を育てる。
 - ② 児童一人一人が将来どのような社会人、職業人として生きるかを、教科、道徳、特別活動などあらゆる分野で意識させるようにする。
 - ③ 進路に関する指導力を高めるための研修を推進する。
- ウ 特別支援教育
 - 障害のある児童個々の教育ニーズに応じた教育課程を編成し、教育実践を進め、心豊かでたくましく生きる力を培うとともに、すべての児童の社会性を養い、好ましい人間関係を育

てるための交流教育を推進する。

- ① 特別支援学級の児童における個別の指導計画による個に応じた指導内容と指導方法の工夫改善を図る。
- ① すべての児童が障害のある人について正しく理解するため、相互理解に基づく交流教育を学校の教育活動全体の中に位置付けて進める。
- ② 特別な教育支援を必要とする児童の理解を深め、校内体制の整備と個に応じた指導方法の工夫改善を図る。
- ③ 特別支援教育に関する教職員研修の充実を図るとともに、関係機関との連携による相談を重視した就・修学の指導に努める。

《豊かな人間性をはぐくむ教育の推進》

エ 道徳教育

生命を大切にする心、他人を思いやる心など豊かな人間性をはぐくむ「心の教育」のかなめとして、児童の実態を考慮しながら、教育活動全体を通じて道徳性の育成を図る。特に、人権教育との繋がりを図りながら、児童の道徳的な心情を豊かにし、判断力を高め、実践意欲と態度の向上を図ることによって道徳的実践力の育成に努める。

- ① 道徳教育の全体計画、学級における指導計画及び道徳の時間の年間指導計画に基づき、児童の心に響く指導の徹底に努める。
- ② 豊かな体験活動及び豊かな心を育てる読書活動などを展開し、児童の道徳性を育てる。
- ③ 授業公開などを通して、学校における道徳教育に対する保護者や地域社会の理解を深める。

オ 人権教育

教育活動全体に人権教育を適切に位置付け、児童の実態を的確に把握して基本的人権や同和問題をはじめとするさまざまな人権問題についての正しい理解や認識の基礎と、互いの個性や価値観の違いを認め、自己を尊重し他者を尊重する態度や実践力を育てる。

- ① 「新京都府人権教育・啓発推進計画」並びに京都府教育委員会並びに木津川市教育委員会の「学校教育の重点」を踏まえた人権教育推進計画を策定し、全校体制を整え、日常的な点検をしながら実践に努める。
- ② 人権教育の推進に当たっては、これまでの同和教育の中で積み上げられてきた成果と手法への評価を踏まえ、すべての人の基本的人権を尊重する心をはぐくむとともに、同和問題を人権問題の重要な柱として位置付け、あらゆる人権問題の解決に向けた実践的態度の育成を図る。
- ③ 個々の課題に即した指導による基礎学力の定着・向上に努めるとともに身近な問題について、自ら気付き、主体的に考え、解決しようとする態度を育成する。
- ④ 学校・家庭・地域が一体となった人権教育を進めるとともに、校種間の連携及び学校間の交流を強化し、児童の発達段階に即し、道徳の時間との繋がりを図りながら体系的・計画的な人権教育を推進する。
- ⑤ 研修は日常的・系統的に進め、認識の深化と指導力の向上に努める。

カ 生徒指導

人間の尊厳という観点に立ち、教育活動全体を通じて、児童の個性の伸長と社会性の育成を図り、よりよい人格の形成を促す。そのため、児童一人一人の生活実態の把握や内面理解に努め、個々の課題の解決を図るとともに、望ましい集団活動を通して、人間としての生き方を自覚して実践する力を育てる。

- ① 基本的な生活習慣を確立するとともに発達段階に応じた判断力や自律心を育成し、児童が自ら学校生活について考え、存在感や充実感をもった楽しい学校生活を送るための取組を進める。
- ② 学校行事や児童会の集会活動、ボランティア活動等を通じて心の触れ合いや信頼関係の

大切さと集団の規律を自覚させ、自主性や社会性を育てる。

- ③ 不登校やいじめなどについては、教育相談機能を充実させるとともに、問題事象に対応する指導体制を確立し組織的に問題解決にあたる。また、問題事象の未然防止に努める。

キ 健康安全教育

生命の尊重を基盤とし、健康に関する総合的な認識を高めながら、基本的生活習慣を確立させ、生涯を通じて心身ともに健康で安全に生きるたくましい実践力を身につけた児童を育成する。

- ① 健康安全教育の推進体制を機能させ、発達段階に応じた指導内容や指導方法を工夫し、系統的・総合的・組織的に取り組む。
- ② 喫煙・薬物乱用などの防止及び歯の健康や生活習慣病の予防についての理解を深め、食生活を自己管理する能力と態度を育成する。
- ③ 危機管理体制を整備・充実し、日常的な安全指導と安全管理を徹底し、校内及び登下校の安全確保と不審者対応の確立に努める。

《社会の変化に対応する教育の推進》

ク 国際理解教育

国際社会に主体的に生きる日本人としての基礎的資質を養うため、人権尊重の精神を基盤にして、我が国の文化と伝統等を尊重するとともに、諸外国の文化や伝統を理解し尊重する態度を育成する。

- ① 国際理解教育に関する年間指導計画を充実させ、教育活動全体を通じて組織的・計画的な実践に努める。
- ② 広い視野を持ち、自分や相手のよさを認めあい、異なる文化を持つ人々と共に生きていく資質や能力を育てる。
- ③ 自分の考えを持ち、相手に伝わるように表現する態度を養うとともに、外国人の人々とのコミュニケーション能力の育成に努める。

ケ 環境教育

身近な環境や環境問題に关心を持ち、人間と環境とのかかわりについて理解を深め、環境の保全やよりよい環境の創造のために主体的に行動する実践的態度や能力の育成に努める。

- ① 環境教育に関する各教科等の指導内容との関連を明確にした年間指導計画に基づき、教育活動全体を通じて計画的・総合的・系統的な指導に努める。
- ② 身近な環境に意欲的にかかわり、問題を見いだし、考え、判断して、よりよい環境づくりや環境の保全にすすんで参加しようとする実践的態度を養う。
- ③ 環境教育関連活動として、特別活動や総合的な学習の時間での取組の充実を図るとともに、学校、家庭、地域社会等との連携を図り、循環型社会を目指した環境教育の推進に努める。

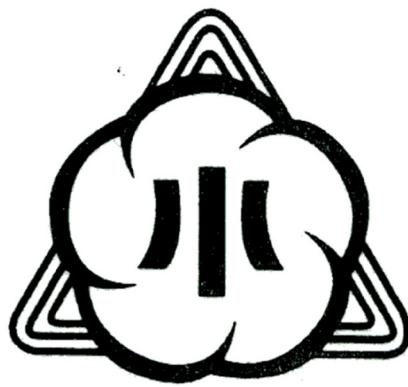
コ 情報教育

情報化社会の進展に伴い、情報及び情報手段を主体的に選択し、活用する能力と態度を育成する。

- ① 教育活動全体を通じて情報教育が推進できるよう、各教科等の関連性を図りながら、年間指導計画に位置づける。
- ② 児童の興味・関心に応じた主体的な学習を展開するなど、指導方法の工夫改善に努める。
- ③ 情報機器を身近な道具として慣れ親しみ、抵抗感なく使いこなせる能力と態度を育成するとともに、情報の価値についての理解を深め、情報モラルに関する指導に努める。

【重点研究】 「考え方を豊かに表現し、つながり合い、主体的に学びを深める児童の育成」
—国語科における授業展開の工夫を通して—

木津川市立梅美台小学校



梅美台小学校校歌

| | |
|-----------|----------|
| 作曲 | 作詞 |
| 森本 陽三郎 | 宇田 弘一 |

一 緑も豊かな高台に

ゆかしく香る梅の花

楽しく学ぼう 手をとりあつて

瞳がきらきら 明るい子

望みを高く 明日を拓き

さあ 未来へ 翔こう

二 小鳥もさえずる学び舎に

うす桃色の花水木

仲良く遊ぼう 肩くみあつて

いつでも輝く 元気な子

夢みる翼 大きく広げ

さあ 世界へ 翔こう

郵便番号 619-0215

所在地 京都府木津川市梅美台四丁目26番地

電話 (0774) 73-6421

FAX (0774) 73-6423

E-mail umemidai-es@kizu.ed.jp

HP・URL <http://www.kizu.ed.jp/umemidai-es/>

1 沿革

平成

9. 4. 1 学研都市の建設に伴い「木津小学校梅谷分校」を廃し、旧分校校区と梅美台・州見台地域を校区として開校（児童数112名）
10. 5. 26 中国天津市児童使節団来校
11. 4. 1 京都府小学校教育研究会図書館教育の研究協力校（平成11年度～平成12年度）
5. 29 PTA発足に伴いPTA設立総会開催
12. 11. 16 京都府小学校教育研究会図書館研究大会を本校で開催
13. 4. 1 特別支援学級開設、「たんぽぽ学級」と命名
5. 28 中国天津市児童使節団来校
6. 24 読書活動の優秀実践校として文部科学大臣表彰受賞
14. 2. 8 木津町指定国際理解教育実践発表会を開催
9. 1 学校評議員設置
15. 2. 28 校歌制定
16. 11. 1 児童数の増加に伴い、仮設校舎（2階建て、普通教室5室）建設
17. 10. 26 京都教育大学現代GP「知的財産創造・活用力を育成する教員の養成」事業において実施する小学校における知的財産創造・活用力育成のための教材化モデル及び授業パッケージ開発のための研究協力校（先端技術領域）
18. 4. 1 児童数の増加に対応するため、多目的ホールを普通2教室に改裝
11. 25 創立10周年記念行事開催
19. 3. 12 木津川市誕生に伴い、木津川市立梅美台小学校と改称
19. 4. 1 州見台小学校を分離（全11学級、児童数256名となる）
20. 9. 26 「やましろ地域学習推進研究協力校」（平成20年度・21年度）
11. 15 京都教育大学現代GP事業研究協力校最終年度発表
21. 4. 1 児童数増加に対応するため、プレハブを教室として使用
1. 14 京都府山城教育局指定「やましろ地域学習推進研究協力校」実践発表会
22. 2. 1 京都府山城教育局指定「育ちと学びをつなぐ実践交流会」実践発表
23. 4. 1 京都府総合教育センター「ユニバーサルデザイン授業」の研究協力校
24. 4. 1 児童数の増加に対応するため、6教室を増築
京都府総合教育センター「ユニバーサルデザイン授業」の研究協力校（2年次）
25. 4. 1 児童数の増加に対応するための新校舎4階建16教室増築に伴い、プレハブ校舎4教室を使用
26. 4. 1 新校舎4階建16教室使用開始、プレハブ校舎4教室解体
京都府教育委員会「教師力向上」教育実践力継承事業協力校
28. 5. 25 創立20周年記念航空写真撮影
30. 11. 6 京都府山城教育局主催「山城地方教育実践フォーラム」での公開授業

2 教育

(1) 学校教育目標

「豊かな心と優れた感性を持ち、心身ともに健やかに、ひとり立ちできる児童の育成」

(2) めざす児童像

- なかよく
優しく思いやりがあり、感謝できる子
- かしこく
めあてを持ち、すすんで学ぶ子
- たくましく
元気で、くじけず、やり抜く子

(3) 学校経営方針

ア 京都府教育振興プランの中で「生きる力」をより具現化した三つのはぐくみたい力（主体的に学び考える力・多様な人とつながる力・新たな価値を生み出す力）と本校のめざす児童像との関係を「主体的に学び考える力」＝「かしこく」、「多様な人とつながる力」＝「なかよく」、「新たな価値を生み出す力」＝「たくましく」とする。

具体的には、木津川市教育振興基本計画にある「共に『学び』『喜び』『成長し』未来を生きる子ども」を育むことを念頭に、いつも夢を持ち、自分や他者を大切にし、どんな困難な状況にあっても、共に粘り強く対処し、未来を切り拓いていくことのできる「生きる力」にあふれた“梅美台っ子”を育成する。

イ 児童の学力及び生活の実態を踏まえ、学級の安定化を図るとともに、指導方法の工夫改善を図ることにより学力の確実な定着及び向上を図る。

ウ 教職員の資質・能力の向上のために、「教師力」（学級経営力・授業力・生徒指導力等）の育成を目指した組織的な取組を推進する。

エ ユニバーサルデザインによる教育をさらに推し進めることにより、学習規律及び生活規律を確立するとともに、「学び方を学ばせる」教育を推進する。

オ 学校だよりやHPによる情報発信及び地域学校協働本部事業、「きずなプロジェクト」と連携することにより、保護者・地域社会との一層の連携を強め、期待に応える学校づくりを目指す。

- ・ 豊かな学びの創造と確かな学力の育成
- ・ 豊かな人間性の育成と多様性の尊重（規範意識や人を思いやり尊重する心など）
- ・ たくましく健やかな身体をはぐくむ教育の推進
- ・ 学びを支える安全・安心な環境づくりの推進
- ・ 保護者や地域との連携・協働の深化
- ・ 地域を学び、郷土を大切にする心の育成
- ・ 教職員の資質能力の向上

(4) 経営の重点

ア 豊かな学びの創造と確かな学力の育成

（ア）学習状況の的確な把握と指導方法の工夫改善を行う。

- ・主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくりの推進を行う。
- ・知識の量や技能の習熟度など学力テスト・検査等により「数値で示す事が可能とされる力」（認知能力）とコミュニケーション能力や自尊心、社会性など「数値で示す事が困難とされる力」（非認知能力）を一体的に育む教育の展開を進める。
- ・学力診断テスト（国・府）、市統一学力テスト等により、児童の学力実態を把握・分析するとともに、明確化された課題の確実な定着のための指導の徹底を図る。

- ・日常の授業において、児童の実態に即した創意工夫ある授業を展開する。
 - ・全ての教科・領域等において「聴く」「読む」「書く」「話す」等の「各教科の特質に応じた言語活動」を充実し児童の言語能力を育成する活動を積極的に取り入れ、児童の表現力を育成する。これまでの取組である「話合い活動」も継続しつつ、「書く力」の育成にも努める。
 - ・読書タイムの取組、読書週間等の取組を更に充実することで言語能力の育成に努める。
 - ・質の向上に向けたICTを積極的に活用する指導の在り方について模索する。
- (イ) 特別な支援を必要とする児童への支援方策を明らかにし、個に応じたきめ細かな指導を行う。
- ・児童の実態を踏まえ、本校独自のユニバーサルデザインの教育の発展・継承を行う。
- (ウ) 「家庭学習の手引き」を基に、家庭との連携を大切にし、発達段階に応じた学習習慣の定着を図る。

イ 豊かな人間性の育成と多様性の尊重（規範意識や人を思いやり尊重する心など）

- (ア) 児童と教職員の信頼関係づくりに努める。
- (イ) 仲良く助け合い、高まることの素晴らしさや楽しさを体験させ、互いの良さを認め合い支え合う児童相互の人間関係づくりに努める。さらに、規範意識や人を思いやり尊重する心の育成を推進する。
- (ウ) 社会情勢の変化に伴い多様化・複雑化する人権問題の解決に向けて、主体的に行動できる力を育成する人権学習の充実を図る。
- (エ) 人権意識の涵養を図り、児童間の好ましい人間関係を築くことにより、いじめ等の人権問題の未然防止に努める。
- (オ) 特別の教科道徳では、教科書や効果的な資料の活用及び体験活動を通して、多様な他者を尊重する態度を育て、自己肯定感を高める指導の充実を図る。
また、児童の心に響く授業を展開することにより、道徳的な心情、道徳的判断力、実践意欲と態度を養い、道徳的実践力の醸成に努める。
- (カ) 明るく優しさのある教育環境の維持・向上に努める。
- (キ) インターネット社会の中で多様化・複雑化する人権問題についての理解と認識を深め、教職員の人権感覚を育む。

ウ たくましく健やかな身体をはぐくむ教育の推進

- (ア) 「体力テスト」の結果分析を行い、児童の実態を踏まえた豊かな運動体験を体育科の授業や行事等で行う。
- (イ) 健康な体づくりに意欲を持たせ、体育的行事やクラブ活動（地域の大会）などへ積極的に参加する児童の育成に努める。
- (ウ) 食に関する指導を通して、望ましい食習慣の形成や食文化の理解を深める取組を推進する。
- (エ) 計画的な保健指導の実施に努める。
- (オ) 薬物乱用防止教育をはじめ、多様化・深刻化する健康課題に対応する組織体制及び取組の充実を図る。
- (カ) 自ら安全な行動がとれる能力と態度の育成に努める。

エ 学びを支える安全・安心な環境づくりの推進

- (ア) 児童の目線に立った校舎・遊具等施設の安全確保のための日常的な点検と安全指導を実施する。
- (イ) 安全マップの見直しを図るとともに、通学路の安全点検と安全指導を実施し、児童の安全確保に努める。

(ウ) 危機管理マニュアルに基づき、日頃から適切な対応ができるように努める。

<安全ファイルの活用>

オ 保護者や地域との連携・協働の深化

- (ア) 家庭及び地域に開かれた学校を目指し、地域の人材・施設・環境を生かした特色ある学校づくりを推進する。
- (イ) 地域学校協働本部事業及び「きずなプロジェクト」との連携を推進し、地域人材・施設及び地域資源の積極的な活用を図る。
- (ウ) 安全ボランティアやPTAの協力による安全な登下校のための取組を推進する。
- (エ) 児童虐待について、早期発見・早期対応に努めると共に、関係機関との連携を推進する。
- (オ) 義務教育9ヵ年を見据え「きずなスタンダード」(あいさつ・学習・時間・掃除)を意識し、小小連携及び、小中連携を充実させる。

カ 地域を学び、郷土を大切にする心の育成

- (ア) 木津川市の積極的な活用やフィールドワークの充実を進め、ふるさと教育を推進する。

キ 教職員の資質能力の向上

- (ア) 不断の研鑽と組織的な教育実践により、学校としての「教師力」(学級経営力・授業力・生徒指導力等)の育成を目指した組織的な取組を推進する。
- (イ) 学校教育目標の実現に向け、設定した自己目標の具現化を図る。
- (ウ) 計画的な教育実践に努める。
- (エ) 全教職員が課題と成果を共有し、教職員相互の報告・連絡・相談・確認の徹底による迅速な組織運営を実践することで効果的な教育実践を推進する。
- (オ) 教員に必要な5つの力の充実を目指す。
 - ・気づく力 … 児童一人一人を深く理解し、寄り添った指導ができるよう、小さな変化にも気づくことができる力
 - ・伸ばす力 … 豊かな人間性と高い専門性に基づく優れた指導力を有し、児童一人一人が豊かな未来を切り開いていけるよう、それぞれの個性や能力を最大限に伸ばすことができる力
 - ・挑戦する力 … 探究心や自立的に学ぶ姿勢を持ち、時代の変化や自らのキャリアステージに応じて求められる資質能力を高めながら、諸課題の解決に向け、挑戦することができる力
 - ・つながる力 … 他の教職員、保護者や地域社会、多様な専門性を持つ人材と効果的に連携・分担しながら、組織的・協働的に諸課題を解決するため、チームの一員としてつながることができる力
 - ・展望する力 … 次代を担う人材に必要な学びを提供できるよう、広い視野で時代や社会、環境の変化を的確につかみ取り、未来を展望することができる力
- (カ) 教職員一人一人が公務員としての高い倫理観を持ち、社会的責任を自覚したコンプライアンス行動実践の取組を推進する。

木津川市立州見台小学校



州見台小学校校歌

作詞 尾崎 昌功
作曲 森本 陽三郎

一 光さす 色あざやかな 学び舎に
笑顔と元気が 満ちあふれ
州見の丘に はずんでる
やさしさ ぬくもり
みんなで 広げよう
今 心の歌を 奏でよう

二 風が吹く 緑も豊かな 学び舎に
夢と希望が 満ちあふれ
州見の空に 届いてる
未来の扉を
みんなで 開こう
今 心の歌を 韶かせよう

郵便番号

619-0216

所 在 地

京都府木津川市州見台一丁目32番地

電 話

(0774) 72-9237

F A X

(0774) 72-9244

E-mail

kunimidai-es@kizu.ed.jp

HP・URL

<http://www.kizu.ed.jp/kunimidai-es/>

1. 沿革

| | | |
|----------|--|--|
| 平成19年 4月 | 木津川市立木津小学校・梅美台小学校から分離し、独立校として開校 | |
| 平成20年 3月 | 第1回入学式（入学生114名 全17学級 児童数510名） 校歌制定 | |
| 平成20年 4月 | 第1回卒業証書授与式（卒業生 62名） 第2回入学式（入学生138名 全19学級 児童数600名） 親のための応援塾開催 | |
| 平成21年 3月 | 第2回卒業証書授与式（卒業生 62名） | |
| 平成21年 4月 | 第3回入学式（入学生134名 全23学級 児童数659名） | |
| 平成22年 3月 | 第3回卒業証書授与式（卒業生 79名） 児童数増加に伴い、新校舎（2階建普通教室6室）建設 | |
| 平成22年 4月 | 第4回入学式（入学生135名 全26学級 児童数719名） | |
| 平成23年 3月 | 第4回卒業証書授与式（卒業生 98名） | |
| 平成23年 4月 | 第5回入学式（入学生118名 全27学級 児童数745名） 中校舎にエレベーター設置 | |
| 平成24年 3月 | 京都府小学校教育研究会情報教育研究部研究協力校 | |
| 平成24年 4月 | 第5回卒業証書授与式（卒業生102名） | |
| 平成24年11月 | 第6回入学式（入学生144名 全27学級 児童数796名） | |
| 平成25年 3月 | 京都府小学校教育研究会情報教育研究部研究協力校 中間発表会 | |
| 平成25年 4月 | 第6回卒業証書授与式（卒業生122名） | |
| 平成25年11月 | 第7回入学式（入学生118名 全27学級 児童数785名） | |
| 平成26年 3月 | 京都府小学校教育研究会情報教育研究部研究協力校 研究大会 | |
| 平成26年 4月 | 第7回卒業証書授与式（卒業生137名） | |
| 平成27年 3月 | 第8回入学式（入学生153名 全27学級 児童数810名） | |
| 平成27年 4月 | 第8回卒業証書授与式（卒業生137名） | |
| 平成28年 3月 | 第9回入学式（入学生137名 全27学級 児童数810名） | |
| 平成28年 4月 | 第9回卒業証書授与式（卒業生 137名） | |
| 平成29年 3月 | 第10回入学式（入学生104名 全26学級 児童数775名） | |
| 平成29年 4月 | 第10回卒業証書授与式（卒業生 123名） | |
| 平成30年 3月 | 第11回入学式（入学生127名 全27学級 児童数782名） | |
| 平成30年 4月 | 第11回卒業証書授与式（卒業生 140名） | |
| 平成31年 3月 | 第12回入学式（入学生92名 全27学級 児童数729名） | |
| 平成31年 4月 | 第12回卒業証書授与式（卒業生 121名） | |
| 令和 2年 3月 | 第13回入学式（入学生105名 全26学級 児童数712名） | |
| 令和 2年 4月 | 第13回卒業証書授与式（卒業生 148名） | |
| 令和 3年 3月 | 第14回入学式（入学生111名 全24学級 児童数671名） | |
| 令和 3年 4月 | 第14回卒業証書授与式（卒業生 134名） | |
| 令和 4年 3月 | 第15回入学式（入学生77名 全24学級 児童数620名） | |
| 令和 4年 4月 | 第15回卒業証書授与式（卒業生 100名） | |
| | 第16回入学式（入学生88名 全27学級 児童数613名） | |

2. 教育

(1) 経営方針

学習指導要領、第2期京都府教育振興プラン、木津川市教育振興基本計画の趣旨を踏まえ、保護者・地域の願いや児童の実態を把握し、家庭や地域社会との連携、協働を深めながら学校教育目標の実現をめざす。

- ア 基礎・基本の定着及び主体的で対話的な深い学びの充実
- イ 人権感覚、自尊感情(自己効力感、自己有用感)を育成し望ましい人間関係の構築
- ウ 基本的生活習慣の確立と望ましい食習慣の形成及び安全に関する意識の向上
- エ 家庭や地域との連携や校種間の円滑な接続を推進し、特色のある教育活動の展開
- オ 学校評価や自己評価等を活かし、社会のニーズに応じた教職員の資質・能力の向上

(2) 経営方針の柱

全教職員の協働体制のもと、「理解」「主体」「協働」を重視し、一人一人を大切にする教育活動を推進する。

- ア 理解:児童の実態、保護者や地域の願い、環境や社会、必要な資質・能力に対する理解に努める。
- イ 主体:本校教員としての自覚と誇りを持ち、指導力を高めるために自ら学び判断し実践し続ける。
- ウ 協働:『州見台の子は、全ての職員で関わる』という認識のもと、学年集団を核として、組織的な関わりと連携を大切にする。

(3) 教育目標

「学び合い、つながり合い、高め合う児童の育成

～自ら進んで学び、優しい心と豊かな感性を持ち、人との関わりの中でよりよく生きようとする児童を育成する～」

- かしこく …… めあてをもち、進んで学ぶ子ども
- やさしく …… 優しく思いやりがあり、感謝できる子ども
- すこやかに…… 元気で、くじけず、やり抜く子ども

(4) 本年度の分野別指導観点

- ア 確かな学力を身につけ、主体的、協働的に学べる児童の育成

- (ア) 自分の考えを持ち、他者の考えとつなげ合いながら学びを深める授業を創造する。
- (イ) 基礎・基本の定着や学習習慣の確立を図り、学力の土台づくりを推進する。〔学力診断テスト等の分析と活用の活性化を図る。やれることは最後までやりきらせる。(粘り強さ、根気強さの育成)〕

- (ウ) 個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させ、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進する。(指導と評価の一体化)
- (エ) ことばの力をはぐくむため、全教育活動を通して言語活動を充実させる。
- (オ) 児童がICTを「文房具」として自由な発想で活用できるよう環境を整え、自らの学習を調整しながら学んでいけるようにする。(自己調整学習)

イ あたたかい居場所と自主性、主体性のある学校・学級づくり

(ア) 児童一人一人の多様性を尊重し、公正、公平に指導する。

(イ) 自己と他者の「心と体」を傷つける言動や行動は許さない指導を徹底する。

(ウ) 学校や学級生活のきまりごとを習慣化し、学習や生活の手順を見える化して「やらなければならぬこと」を明確化する。その際、ルールを守ることの心地よさを体感させる。

(エ) 教師の適切な指導の下、児童の自主的、主体的な活動を活性化させる。(特別活動の充実)

ウ 道徳教育の充実

(ア) 道徳教育の要となる道徳科における授業改善を推進する。

(イ) 家庭や地域との連携を深めながら、道徳的実践の場としての体験的な活動や奉仕活動を活発に行う。

(ウ) 異年齢集団との関わりやボランティア活動を通して、多くの人と関わりを持ち、自己効力感や自己有用感を高めることで自尊感情の育成を図る。

(エ) 読書活動や植物の栽培などの実践活動、季節感や学びにつながる学校環境を整えることを通して、豊かな創造力や命を大切にする心の育成を図る。

エ 特別支援教育の充実

(ア) 個々の児童の特性や特別支援教育についての正しい理解や認識を深め、指導の充実を図る。

(イ) 一人一人の教育的ニーズに応じた適切な指導や、必要な支援を行うための校内体制の整備充実、活用を図る。

(ウ) 障害のある児童等に対する個別の指導計画や教育支援計画の活用と指導方法の工夫改善を図る。

オ 人権教育の推進

(ア) 教育活動全体に人権教育を適切に位置づけ、児童の実態を的確に把握し、教育の機会均等を図り、学力の充実・向上や進路保障に努めるなど、一人一人を大切にした教育の推進を図る。

(イ) 部落差別や障害者差別、ヘイトスピーチ、コロナ感染など様々な人権問題についての正しい理解と認識を深め、自己や他者を尊重する態度や実践力を培う。

カ 生徒指導の充実(3機能をしっかりと働かせる)※自己存在感・共感的人間関係・自己決定

(ア) 「あいさつをする」「時間を守る」「場をきれいにする」などの基本的な社会性を身につけさせ、児童の実態に応じた積極的で計画的な生徒指導を推進する。

(イ) 児童の発達の段階や成育歴、環境等を理解し、鋭い人権感覚を持ち、共通理解の下、徹底した丁寧な指導を心がける。

- (ウ) 不登校やいじめの問題については、教育相談やアンケート等を積極的に活用し、未然防止、早期発見、早期対応に努める。また、問題事象には報告、連絡、相談を徹底し、組織的かつ迅速に対応する。
- (エ) 家庭や地域社会、関係諸機関との連携を密にし、児童のボランティア活動への参加を促すなど、地域総がかりで子どもの健全な育成をめざす。

キ 健康安全教育の推進

- (ア) 心身の健康の基礎となる基本的な生活習慣を形成する能力と態度を育成する。
- (イ) 身の回りの危険に気付き、自ら安全な行動がとれる能力と態度を育成する。
- (ウ) 学校における児童の安全確保を図るため、施設・設備の安全点検、安全指導及び職員研修等に関する学校安全計画を策定し実施する。また、「危機管理マニュアル」の検証と改善に努める。
- (エ) 望ましい食習慣を身に付けた健康的な生活を自ら実践する能力と態度を育成する。
- (オ) 食物アレルギーに対する正しい認識と児童の実態を把握し、日常から連絡、調整、確認を密におこない迅速に対応する。

ク 国際理解教育・外国語活動・外国語科の推進

- (ア) 我が国の文化と伝統を理解し尊重するとともに、他の国の文化を理解し尊重する態度を育成する。
- (イ) 外国語活動及び外国語科を充実させ、コミュニケーション能力の素地の育成を図る。

ケ ICTの効果的な活用及びプログラミング教育の推進

- (ア) タブレット等ICT機器を効果的に活用し「わかる」「できる」授業の創造につなげる。
- (イ) ICTの活用を通して、児童の情報リテラシーを向上させると共に、プライバシーの保護や著作権などの基礎的な情報モラルやマナーを育成する。
- (ウ) 児童だけでなく、教師も興味をかき立てられるプログラミング教育を推進し、プログラミング的思考力の向上を図る。

木津川市立城山台小学校



城山台小学校校歌

作詞 安倉晃一
作曲 内海貞嘉

一 大空ひろき みのりの丘に

明日を照らす 溢れる笑顔
交わす言葉も 晴れやかに
喜び満ちて 育ちゆく

城山台

輝いて

二 遠くに望む

泉の流れ

真理を求め 見つめる瞳
夢と希望を 膨らませ
仲間を信じ 進みゆく

城山台

羽ばたいて

三 風爽やかな

鹿背の山並み

共に鍛えし 心と身体
確かな未来 切り拓き
新たな歴史 創りゆく
永遠に

郵便番号 619-0218

所在地 京都府木津川市城山台六丁目1番地1

✿よつば学舎

電話 (0774) 71-3900

FAX (0774) 71-3901

✿ふたば学舎

電話 (0774) 74-8867

FAX (0774) 71-0066

E-mail shiroyamadai-es@kizu.ed.jp

H P <http://www.kizu.ed.jp/shiroyamadai-es/>

I 沿革

平成

26. 4. 4 開校式
26. 4. 8 平成26年度入学式
27. 3.20 平成26年度卒業証書授与式
27. 28 年度京都府学力向上システム開発校指定
27 年度木津川市特色ある学校づくり推進事業指定
27. 4. 7 平成27年度入学式
28. 2. 9 京都府学力向上システム開発校1年次発表
28. 3.18 平成27年度卒業証書授与式
28 年度木津川市特色ある学校づくり推進事業指定
28. 4. 7 平成28年度入学式
28.11. 1 京都府学力向上システム開発校2年次発表
29. 3.17 平成28年度卒業証書授与式
29 年度木津川市特色ある学校づくり推進事業指定
29. 4. 7 平成29年度入学式
30. 2. 9 第3回研究発表会
30. 3. 20 平成29年度卒業証書授与式
30 年度木津川市特色ある学校づくり推進事業指定
30. 4. 9 平成30年度入学式
30.11.8 第4回研究発表会
31. 3. 20 平成30年度卒業証書授与式
令和元・2 年度京都府学びの深化プロジェクト実施校指定
令和元年度木津川市特色ある学校づくり推進事業指定
31. 4. 9 平成31年度入学式

令和

2. 1. 31 第5回研究発表会
2. 3. 19 令和元年度卒業証書授与式
元・2 年度京都府学びの深化プロジェクト実施校指定
2 年度木津川市特色ある学校づくり推進事業指定
3. 2. 9 第6回研究発表会
3. 3.26 ふたば学舎新設
3. 4. 6 よつば学舎(既設校舎)で4・5・6年生始業(1 年生は 7 日から)
ふたば学舎で2年生・3年生始業
学校三師それぞれ学舎に配置
3. 4.15 城址公園での体育科学習開始(高学年)
3 年度 木津川市特色ある学校づくり推進事業指定
4. 2. 2 第7回研究発表会(まん延防止等重点措置発令のため校内研として実施)
4. 3.29 ひだまりホール新設
4 年度 木津川市特色ある学校づくり推進事業指定

2 教育

学校教育目標

豊かな感性と知力を培い、意欲的に生きる子どもの育成

目指す児童像

明るい子（明るく素直な心）

考える子（主体的な行動力）

たくましい子（心と体）

重点研究テーマ

「思考ツール」を活用した、深い学びのある授業づくり

～児童も教師も学び合う～

学校経営方針

安心安全の確保・充実

大規模校となり、教育環境が日々変化する中にも、児童が安心安全な学校生活を送り、充実した教育活動を円滑に展開できるよう最大限に努める。

学力の充実と向上

協働的な学びを実現する研究活動を柱に、「確かな学力」の育成に向けてICTを活用した授業改善を推進する。また、個に応じた指導の充実による基礎・基本の確実な定着と活用力・対応力の育成を図る。

個別最適な学びの充実

多様な子どもたち一人一人を大切にし、誰一人取り残すことなく、個別最適な学びを充実させ、個性や能力を最大限に伸ばす教育を推進する。

豊かな心の育成

児童に「包み込まれているという感覚」を実感させ、自己肯定感を高めながら、他者を思いやる温かな心と主体性をはぐくむ教育を推進する。

組織的な協働体制の確立

教職員の働き方改革を推進し、教職員一人一人の能力や特性を活かしながら、「よつば学舎」と「ふたば学舎」の協働体制で教育の質の向上を図る。

木津川市立加茂小学校



加茂小学校校歌

桜井 武雄 作詞作曲

一 加茂の子どもは明るい子
なかよくすなおなよい子ども

鹿背山木津川友として
学びにはげむ小学生
ぼくたち加茂の小学生

二 加茂の子どもは元気な子
教えの庭のあたたかく

山ふところにいだかれて
ゆたかにのびる小学生
わたらしら加茂の小学生

三

加茂の子どもは日本の子
日本の子どもは世界の子
みんなでつくるよい国の
平和な町の小学生
ぼくたち加茂の小学生

郵便番号

619-1152

所在地

京都府木津川市加茂町里西上田11番地1

電話

(0774) 76-2102

FAX

(0774) 76-8002

E-mail

kamo-es@kizu.ed.jp

HP・URL

<http://www.kizu.ed.jp/kamo-es/>

1 沿革

| | |
|-----------|---|
| 明治 8年 2月 | 加茂町大字里に里村小学校として創立 |
| 20年 7月 | 加茂尋常小学校と改称 |
| 21年 8月 | 相楽郡第四高等小学校併設 |
| 32年 5月 | 加茂町尋常高等小学校と改称 |
| 36年 10月 | 加茂町大字里小字東上田一番地に校舎新築 |
| 昭和 16年 4月 | 国民学校令により加茂国民学校と改称 |
| 22年 4月 | 法律並びに文部省令により加茂町立加茂小学校と改称 |
| 29年 10月 | 中校舎、木造二階建8教室改築竣工 |
| 31年 9月 | 南校舎、木造二階建8教室改築竣工 |
| 34年 2月 | 校旗、児童会旗新調、新校歌制定 |
| 8月 | 給食調理室竣工、9月より完全給食実施 |
| 35年 11月 | 京都府より昭和35年度健康優良特選校受賞 |
| 37年 12月 | 京都府より昭和37年度健康優良校受賞 |
| 38年 3月 | 京都府より昭和37年度安全優良校受賞 |
| 8月 | 毎日放送より学校教育テレビ協力感謝状受賞 |
| 9月 | 学校給食優良校として文部大臣表彰受賞 |
| 10月 | 育友会活動優良に付き京都府PTA協議会長、全国PTA協議会長、文部大臣表彰受賞 |
| 12月 | 昭和38年度健康優良校として京都府及び朝日新聞社より受賞 |
| 40年 4月 | 障害児学級併設 |
| 11月 | 学校図書館優良学校として文部大臣表彰受賞 |
| 41年 3月 | 学校基本調査優良学校として文部大臣表彰受賞 |
| 42年 10月 | 小学校教育課程、国語科京都府実践学校の指定をうけ研究発表 |
| 11月 | 学校図書館優良学校受賞 全日本歯の優良校受賞 |
| 44年 10月 | 学校給食京都府実践学校の指定をうけ研究発表 |
| 45年 10月 | 学校給食京都府実践学校として44年度に引き続いて指定をうけ研究発表 同和補習学級開設 |
| 47年 3月 | 本館、並びに体育館改築竣工 |
| 49年 3月 | 創立百周年記念行事を行う |
| 54年 2月 | 京都小学校お話コンクール、最優秀学校賞受賞 |
| 56年 12月 | 京都小学校社会科研究大会を行う |
| 58年 6月 | 現在地に新校舎新築移転、プール竣工（7月）運動場整備（8月） |
| 60年 9月 | よい歯の学校特別表彰 |
| 62年 3月 | 学校農園設置 |
| 63年 11月 | 優良子ども銀行で大蔵大臣・日銀総裁表彰を受ける |
| 平成 元年 1月 | 府小教研・府教育実践校、特別活動研究発表会開催 |
| 7月 | 中庭整備 |
| 3年 1月 | 視聴覚室整備 京都府小学校視聴覚教育研究大会開催 |
| 5月 | 京都府交通安全優良学校として受賞 |

| | |
|----------|--|
| 8月 | 観察池設置 |
| 4年 5月 | 校長室エアコン設置 |
| 6年 3月 | 研究紀要「かもの教育」第1号発刊 職員室・保健室エアコン設置 |
| 11月 | 創立120周年記念行事を行う |
| 7年 3月 | 研究紀要「かもの教育」第2号発刊 |
| 11月 | 学校給食優良校として文部大臣表彰受賞 |
| 8年 1月 | 学校給食優良校として京都府教育長表彰受賞 |
| | 学校給食優良校文部大臣・京都府教育長表彰受賞記念式典を行う |
| 3月 | 研究紀要「かもの教育」第3号発刊 |
| 4月 | 平成8、9年度統計教育研究指定 |
| 9年 3月 | 研究紀要「かもの教育」第4号発刊 |
| 4月 | 平成9、10年度小学校教育課程研究指定校（文部省） |
| 10年 3月 | 研究紀要「かもの教育」第5号発刊 |
| 10月 | 平成9、10年度小学校教育課程研究発表会開催 |
| 11年 3月 | 研究紀要「かもの教育」第6号発刊 |
| 4月 | 社会福祉協力校指定 |
| 12月 3月 | 研究紀要「かもの教育」第7号発刊 |
| 4月 | 平成12、13、14年度食生活に関する教育実践事業指定校（文部省） |
| 9月 | 耐震補強工事、コンピュータ教室完成 |
| 13年 3月 | 研究紀要「かもの教育」第8号発刊 |
| 11月 | 平成12、13年度食生活に関する教育実践事業研究発表会開催 |
| 15年 3月 | 研究紀要「かもの教育」第9号発刊 |
| 4月 | 障害児学級（情緒）併設 |
| 17年 4月 | 文部科学省より3年間の学力向上拠点形成事業の指定を受ける |
| 19年 3月 | 木津川市誕生に伴い、木津川市立加茂小学校と改称 |
| 4月 | 木津川市教育委員会より「教育実践研究校」の指定を受ける |
| 11月 | 文部科学省指定「学力向上拠点形成事業」・木津川市教育委員会指定「教育実践研究校」の研究発表会開催 |
| 22年 3月 | 新校舎増築 |
| 23年 4月 | センター給食開始（木津川市立加茂学校給食センター（現）木津川市立第二学校給食センター） |
| 24年 11月 | 優良PTA文部科学大臣表彰受賞 |
| 27年 11月 | 相楽地方小学校駅伝（持久走）大会優勝 |
| 30年 4月～ | 京都府小学校教育研究会体育科研究部研究協力校を委嘱される。（3カ年） 研究テーマ「児童が教え、認め、高め合う中で運動する充実感と自己肯定感が高まる体育授業を目指して」 |
| 令和元年 10月 | 京都府小学校教育研究会体育科2年次研究協議会開催 |
| 2年 11月 | 京都府小学校教育研究会体育科教育研究大会開催 |

2 教育

(1) 教育目標

生きる力をはぐくみ、幸せな未来を拓く児童の育成

- ア 主体的に学び考える力・多様な人とつながる力・新しい価値を生み出す力の育成を図り、かけがえのない生命や基本的人権を尊重する人間性豊かな児童を育成する。
- イ 個性の伸長を図り、基礎学力を充実させ、生涯にわたり主体的に逞しく生き抜く児童を育成する。

(2) 目指す児童像

かしこく やさしく たのもしく

【児童のめあて】

- ・ 進んで勉強する子
- ・ 友達と仲良くする子
- ・ 最後までがんばる子
- ・ 命を大切にする子

(3) 目指す学校像

「一人一人が大切にされる、一人一人を大切にできる 加茂小学校」

(4) 目指す教師像

- ア 児童一人一人を深く理解し、寄り添った指導ができるよう、小さな変化にも気づくことができる教師
- イ 豊かな人間性と高い専門性に基づく優れた指導力を有し、児童一人一人が豊かな未来を切り拓いていけるよう、それぞれの個性や能力を最大限に伸ばすことができる教師
- ウ 探究心や自律的に学ぶ姿勢を持ち、時代の変化や自らのキャリアステージに応じて求められる資質能力を高めながら、諸課題の解決に向け、挑戦することができる教師
- エ 他の教職員、保護者や地域社会、多様な専門性を持つ人材と効果的に連携・分担しながら、組織的・協働的に諸課題を解決するため、チームの一員としてつながることができる教師
- オ 次代を担う人材に必要な学びを提供できるよう、広い視野で時代や社会、環境の変化を的確につかみ取り、未来を展望することができる教師

(5) 学校経営方針

第2期京都府教育振興プラン・学校教育の重点、木津川市教育振興基本計画・学校教育の重点に則り、基礎基本の徹底、個性や能力を伸ばす教育の充実を図るとともに、変化の激しい社会に主体的に対応できる人間性豊かな児童の育成

- ・ 生涯にわたり主体的に学んでいける児童の育成
- ・ 何事にも一生懸命努力する人間性豊かな児童の育成
- ・ 地域に開かれ、地域とともに成長する開かれた学校の創造
- ・ 豊かな人間性と広い社会性、高い専門性を持った教師集団の育成

(6) 経営方針の柱

全教職員の協働体制のもと一人一人を大切にする教育活動を推進する。

◎ キーワード 「理解」「主体」「協働」

- ・ 理解とは：児童の実態、保護者や地域の願い、環境や社会、必要な資質・能力に対する理解に努める。
- ・ 主体とは：本校教員としての自覚と誇りを持ち、指導力を高めるために自ら学び判断し実践する。
- ・ 協働とは：加茂小の子は、全ての教員で見るという認識のもと、学年集団を核として、組織的な関わりと連携を大切にする。

(7) 具体の方針

ア 確かな学力をはぐくむ

- (ア) 自分の考えを持ち、他者の考えとつなげ合いながら学びを深める授業を創造する。
- ・ 分かる喜びやできる喜び、学ぶ楽しさを実感させる。
- (イ) 基礎・基本の定着や学習習慣の確立を図り、学力の土台づくりを推進する。
- ・ 学力診断テスト等の分析と活用の活性化を図る。
 - ・ やれることは最後までやりきらせる。(粘り強さ、根気強さの育成)
- (ウ) 個別最適な学びと協働的な学びを一体的に推進し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進する。(指導と評価の一体化)
- (エ) ことばの力をはぐくむため、全教育活動を通して言語活動を充実させる。
- (オ) 児童が ICT を「文房具」として自由な発想で活用できるよう環境を整え、自らの学習を調整しながら学んでいけるようにする。(自己調整学習)

イ 豊かな心と規範意識をはぐくむ

- (ア) あたたかい居場所と自主性、主体性のある学校・学級づくり
- ・ 児童一人一人の多様性を尊重し、公正、公平に指導する。
 - ・ 自己と他者の「心と体」を傷つける言動や行動は許さない指導を徹底する。
 - ・ 学校や学級生活のきまりごとを習慣化し、学習や生活の手順を見える化して「やらなければならないこと」を明確化する。その際、ルールを守ることの心地よさを体感させる。
 - ・ 教師の適切な指導の下、児童の自主的、主体的な活動を活性化させる。
- (特別活動の充実)
- (イ) 「特別の教科 道徳」を要として、組織的・系統的及び計画的に道徳教育を推進する。
- ・ 授業力向上の研修を組織的、計画的に行う。
 - ・ 道徳教育の重点目標に迫る実践を行う。
 - ・ 別葉を活用し、教育活動全体を通して道徳的価値の理解に努める。
- (ウ) 生徒指導の充実 (3機能を確実にはたらかせる)
- ※自己存在感・共感的人間関係・自己決定
- ・ 「みそあじ運動」の徹底を通して、正義が大切にされる雰囲気の醸成を図り、児童の実態に応じた積極的で計画的な生徒指導を推進する。
 - ・ 児童の発達の段階や成育歴や環境等を理解し、鋭い人権感覚を持ち、共通理解の下、徹底した丁寧な指導を心がける。
 - ・ 不登校やいじめの問題については、教育相談やアンケート等を積極的に活用し、未然防止、早期発見、早期対応に努める。また、問題事象には報告、連絡、相談を徹底し、組織的かつ迅速に対応する。
 - ・ 家庭や地域社会、関係諸機関との連携を密にし、児童のボランティア活動への参加を促すなど、地域総がかりで子どもの健全な育成をめざす。
- (エ) 自然に触れる体験活動や文化に親しむ機会を設定し、豊かな感性や情緒をはぐくむ。
- (オ) 読書に親しむ機会の充実に努める。

ウ 健やかな身体をはぐくむ

- (ア) 心身の健康の基礎となる基本的な生活習慣を形成する能力と態度を育成する。
- (イ) 身の回りの危険に気付き、自ら安全な行動がとれる能力と態度を育成する。
- (ウ) 学校における児童の安全確保を図るため、施設・設備の安全点検、安全指導及び職員研修等に関する学校安全計画を策定し実施する。また、「危機管理マニュアル」の検証と改善に努める。

- (エ) 望ましい食習慣を身に付けた健康的な生活を自ら実践する能力と態度を育成する。
- (オ) 食物アレルギーに対する正しい認識と児童の実態を把握し、日常から連絡、調整、確認を密に行い迅速に対応する。
- (カ) 楽しく、安心して運動に取り組める教育環境を整備し、体力の向上に努める。
- (キ) 喫煙、飲酒、薬物乱用等の防止教育を行い、生涯にわたっての健康の保持・増進に努める。

エ 一人一人の個性を伸ばし、社会の形成者としての資質をはぐくむ

- (ア) 共生社会の実現を目指した人権教育を推進する。
 - ・ 互いの個性や価値観の違いを認め、自分と他者の人権を大切にする教育を推進する。
 - ・ 人権問題について正しい理解と認識を深める人権学習を推進する。
 - ・ 人権問題を自分自身の課題として捉え、解決に向けて実践する意識、意欲、態度の育成に努める。
- (イ) 一人一人の自立や社会参加を目指した特別支援教育を推進する。
 - ・ 児童個々の課題に応じた支援の充実を図る。
 - ・ 支援の必要な児童への方策の明確化と改善を図る。
 - ・ 支援体制と校内委員会の充実を図る。
- (ウ) 夢を追い求め、将来を展望できるキャリア教育を推進する。
 - ・ 特別活動を要としつつ、教育活動全体を通して、組織的かつ計画的な指導を展開する。
 - ・ 「キャリア・パスポート」を活用し、継続的・連続的な指導を展開する。
- (エ) 幼児期の教育・保育との円滑な接続を推進する。

オ 社会の変化に対応し、未来をたしかに生きる力をはぐくむ

- (ア) 情報モラルの向上を図る指導を推進する。
- (イ) 環境問題や環境保全についての理解と実践力をはぐくむ。

カ 魅力ある・信頼される学校をつくる

- (ア) 学校の組織力と教職員の資質向上のための研究・研修に努める。
- (イ) カリキュラム・マネジメントの充実に努める。
 - ・ 学校教育目標の実現に向けて、すべての教職員が校務分掌に基づいた役割を分担しつつ、相互に連携しながらカリキュラム・マネジメントを行う。
- (ウ) 地域とともにある学校づくりに向けた取組を推進する。
- (エ) 近隣の保育園・小学校・中学校と連携を図り、連続性を重視した教育活動を推進する。(加茂学園構想の推進)
- (オ) 安全・安心なよりよい教育環境の整備に努める。
 - ・ 安全管理や危機管理への対策を徹底する。
 - ・ 危機対応能力を身に付けさせるための安全教育を推進する。

キ 地域の力を活かして子どもをはぐくむ

- (ア) 「木津川市地域で支える学校教育推進事業」を適切に活用する。
- (イ) 親の学びや子育てのための支援と相談体制の充実に努める。
- (ウ) 地域のボランティアの協力もと、子どもの安全対策に取り組む。

ク 地域を学び、郷土を大切にする心をはぐくむ

- (ア) 地域に貢献する態度をはぐくむために、地域資源を活用した教育活動を推進し、年間計画に適切に取り入れる。(絆の作り手育成プログラムの推進)
- (イ) ふるさとを学ぶ教材(地域の自然・文化・歴史・産業等)についての研究に努める。

木津川市立恭仁小学校



恭仁小学校校歌

作詞 辰巳 利治
作曲 中原 郁男

一、みどりの山を めぐらして
風さわやかな ふるさとは

恭仁の京の 宮どころ
昔しのんで 学ぶ子の
楽しい恭仁の 小学校
希望が窓に あふれてる

二、泉の流れ 清らかに
ふたぎの野辺を ゆくほとり
心ゆたかに ほがらかに
いつも元気に はげむ子の
明るい恭仁の 小学校
大きな夢を そだててる

三、さやかに晴れた 山川の
歴史はかおる みかの原
ここに巣立つて たくましく
あすをになつて 進む子の
仲よし恭仁の 小学校
かがやく未来 待つて

郵便番号

619-1106

所在地

京都府木津川市加茂町例幣中切31・32番地

電話

(0774) 76-2103

FAX

(0774) 76-8230

E-mail

kuni-es@kizu.ed.jp

HP・URL

<http://www.kizu.ed.jp/kuni-es/>

1. 沿革

| | |
|------------------|--|
| 明治 6 年 5 月 1 日 | 創立 相楽瓶原小学校と称す 教科課程を上等下等の二等とする |
| 〃 6 年 8 月 | 恭仁小学校と改称 |
| 〃 14年 | 教科課程を初等中等高等の三等に改める |
| 〃 20年 7 月 | 恭仁尋常小学校と改称、高等科は加茂当尾両村と合併、加茂尋常小学校の一部をこれにあて、相楽郡第四高等小学校と称する |
| 〃 22年 11 月 | 相楽郡第四高等小学校の分教室を併置 |
| 〃 24年 4 月 | 尋常小学校の分教室を併置 |
| 〃 24年 8 月 | 尋常小学校の終業年限を4年と定める |
| 〃 25年 10 月 | 恭仁高等小学校を併置す 11月同校の終業年限を4年に定める |
| 〃 32年 3 月 8 日 | 全校舎落成移転（小字 中切） |
| 〃 32年 6 月 | 恭仁尋常高等小学校と改称 |
| 〃 37年 3 月 | 校章制定 |
| 〃 39年 8 月 15 日 | 校章改訂並びに校旗新調 |
| 大正 12 年 5 月 1 日 | 創立 50周年記念式を挙行 以後3月1日の改築記念日を廃し、5月1日を創立記念日に制定する |
| 昭和 11 年 3 月 20 日 | 校地拡張 現在地に全校舎を改築 |
| 〃 22年 4 月 1 日 | 法律並びに文部省令により瓶原村立恭仁小学校と改称 |
| 〃 22年 4 月 | 恭仁育友会設立 |
| 〃 26年 4 月 | 町村合併により加茂町立恭仁小学校と改称 |
| 〃 28年 8 月 | 講堂拡張 |
| 〃 29年 6 月 | 学校放送施設完成 |
| 〃 30年 4 月 | 2教室増築 |
| 〃 31年 10 月 | 新校歌制定 |
| 〃 34年 10 月 | 給食室・手洗場新設、学校給食を開始 |
| 〃 43年 9 月 | 水泳プール竣工 |
| 〃 46年 12 月 10 日 | 府より特別教育活動研究の指定をうけ研究発表 |
| 〃 47年 1 月 22 日 | 府教委・府学校保健委員会より安全教育協力校として表彰を受ける |
| 〃 47年 1 月 24 日 | 相楽地方学校保健委員会より安全教育の表彰を受ける |
| 〃 47年 4 月 23 日 | 京都府交通安全優良校として表彰を受ける |
| 〃 48年 1 月 6 日 | 府教委・府学校安全会より安全教育優良校として表彰を受ける |
| 〃 49年 5 月 5 日 | 創立百周年記念式典を挙行 |
| 〃 52年 8 月 9 日 | 交通安全子ども自転車全国大会参加（京都府代表） |
| 〃 53年 3 月 10 日 | 家庭科教室兼視聴覚教室改造 |
| 〃 53年 9 月 16 日 | 総合遊具新設 |
| 〃 55年 5 月 15 日 | 相楽郡交通安全協会より表彰をうける（児童会） |
| 〃 57年 4 月 15 日 | 財団法人京都府交通安全協会より表彰を受ける（児童会） |
| 〃 62年 1 月 | 府教委、日本体育学校健康センターより学校安全協力校として表彰を受ける |
| 平成 元 年 5 月 1 日 | 京都府より、依頼を受け、「恭仁・緑の少年団」を発足する |
| 〃 元 年 5 月 1 日 | 算数科の研究に取り組む（加茂町指定）（2年間） |
| 〃 3 年 4 月 1 日 | 京都府教育委員会小・中学校教育実践推進校（社会科）の指定を受ける（2年間） |
| 〃 3 年 5 月 26 日 | 恭仁緑の少年団、全国植樹祭に参加 |
| 〃 3 年 5 月 26 日 | 京都府より「学校緑化推進校」の表彰を受ける |
| 〃 3 年 8 月 31 日 | 校舎南側窓枠アルミ製窓に取替 |
| 〃 4 年 8 月 25 日 | 社会科資料室新設 |
| 〃 4 年 8 月 30 日 | 運動場東側校門改修 |
| 〃 4 年 8 月 31 日 | 校舎北側窓枠アルミ製窓に取替改修 |

- 〃 4年9月30日 社会科資料「加茂町みかの原」発行
- 〃 4年11月27日 京都府教育委員会小・中学校教育実践推進校（社会科）研究発表
- 〃 5年8月31日 講堂窓枠アルミ製窓に取替改修、用務員室倉庫屋根葺替
- 〃 5年11月6日 創立120周年記念式典を挙行
- 〃 8年4月1日 京都府社会福祉協議会福祉協力校の指定を受ける（3年間）
- 〃 10年4月1日 いづみ学級を開設
- 〃 10年8月 コンピュータを各教室に導入（16台）
- 〃 11年8月 家庭科室改修
- 〃 12年4月 西校舎2教室を3教室に改造して留守家庭児童会室を設け開始される
- 〃 13年4月 京都府教育委員会小・中学校教育実践パイロット校（総合的な学習の時間）の指定を受ける（2年間）
- 〃 13年8月 校舎2階屋根葺替
- 〃 14年8月 ノートパソコンを2階和室に導入（15台）、2階特別教室に転落防止用手すりを設置
- 〃 14年12月 京都府教育委員会小・中学校教育実践パイロット校（総合的な学習の時間）の研究発表
- 〃 15年11月 創立130周年記念行事を行う（280名集まる）
- 〃 19年2月 東トイレの新築水洗化及び校地周囲のフェンスの新設
- 〃 19年3月 木津川市誕生に伴い木津川市立恭仁小学校と改称
- 〃 22年3月 いづみ学級を閉級
- 〃 23年4月 給食が自校炊飯方式からセンター方式に変更となる
- 〃 25年11月 創立140周年記念行事を行う
- 〃 26年4月 いづみ学級を開設
- 〃 28年3月 校舎耐震工事1期・2期工事終了
- 〃 29年3月 校舎耐震工事完了
- 〃 30年4月 2・3年生が複式学級となる
- 〃 31年4月 複式学級を解消
- 令和 2年4月 いづみ学級2組を開設
- 〃 3年3月 いづみ学級1組を閉級
- 〃 3年4月 京都府教育委員会「絆の作り手 育成プログラム研究校」の指定を受ける（3年間）
- 〃 4年4月 3・4年生が複式学級となる

2. 教育

1 学校教育目標

「生きる力をはぐくみ、幸せな未来を拓く児童の育成」

主体的に社会や他者とつながりながら、幸せを感じる未来を切り拓いていける児童をはぐくんでいくことを目指す。

めざす児童像

かしこく・・・・・・・・ (知)

やさしく・・・・・・・・ (徳)

たのもしく・・・・・・ (心・体)

2 学校経営方針

第2期京都府教育振興プラン及び木津川市教育振興基本計画を踏まえて、以下の目標を設定する。

- (1) 義務教育9年間を見据えた幸せな未来を拓く確かな学力の育成
- (2) 人を思いやり尊重する心など、豊かな人間性の育成
- (3) 小規模校の利点を生かした魅力ある学校づくり
- (4) 組織力やチーム力で高める教職員の資質能力や指導力

3 重点目標

- (1) 確かな学力の育成（思考・判断・表現力）
- (2) 豊かな心の育成（道徳教育、生徒指導、特別活動→学級経営）
- (3) 魅力ある・信頼される学校づくり（小規模校の利点を生かした教育・複式学級の指導の充実）
- (4) 働き方改革の推進（連携・協働、業務改善）

4 各重点目標における観点と具体的方策

(1) 確かな学力の育成

ア 活用する力（思考・判断・表現力）を育成する授業改善による学力向上

- ・算数科の特質を踏まえた「主体的・対話的で深い学び」のある授業展開の工夫

(2) 豊かな心の育成

ア 学級経営の充実

- ・生徒指導の3機能を生かした学級経営
- ・一人ひとりの児童との対話を重視した内面理解

(3) 魅力ある・信頼される学校づくり

ア 小規模校の利点を生かした教育

- ・全校、異学年合同学習や校内交換・専科指導の推進
- ・小小連携学習の推進
- ・複式学級の充実に向けた全教員による指導体制の構築

(4) 働き方改革の推進

ア 教育活動の焦点化

- ・将来を展望できる「学力向上」を要とした教育活動の推進

イ 業務改善の推進

- ・効率のよい運営に向けた各分掌での取組
- ・「働き方改革アンケート」を基にした業務の見直し・改善

ウ 適正な勤務時間の設定

- ・19時までの退勤の徹底による超過勤務40時間以内の達成

エ 働き方に関する意識改革の推進

- ・毎月の超過勤務時間を知り、働き方の自己目標を設定

木津川市立南加茂台小学校



南加茂台小学校校歌

作詞 久保田 ツギエ
作曲 吉中俊道

一 いづみの流れ清らかに

稔り豊かな加茂の里

希望の窓につどう友

強くやさしくたくましく

手を取り学ぶ丘の上

ああ 南加茂台小学校

二

歴史も古きゆかりの地

風さわやかな大空に

両手をのばしすこやかに

きたえしわざと心持ち

未来に向けてはばたこう

ああ 南加茂台小学校

郵便番号 619-1127
所在地 京都府木津川市南加茂台12丁目11番地
電話 (0774) 76-3400
FAX (0774) 76-8232
E-mail nagamo-es@kizu.ed.jp
HP・URL <http://www.kizu.ed.jp/nagamodai-es/>

1 沿革

| | | |
|---------------|----------|----------------------------------|
| 昭和 57 年 | 4 月 1 日 | 京都府相楽郡加茂町立南加茂台小学校として開校 |
| 57 年 | 4 月 6 日 | 第 1 学期始業式 (児童数 158 名) |
| 57 年 | 4 月 7 日 | 第 1 回入学式 新入児 46 名 |
| 57 年 | 6 月 7 日 | 図書館開館(蔵書 3, 500 冊) |
| 57 年 | 8 月 1 日 | 校旗制定 |
| 58 年 | 1 月 14 日 | 校歌制定 |
| 58 年 | 3 月 19 日 | 第 1 回卒業式 |
| 58 年 | 4 月 7 日 | 第 2 回入学式 新入児 105 名 (児童数 611 名) |
| 59 年 | 4 月 6 日 | 障害児学級開設 |
| 59 年 | 4 月 19 日 | 育友会発足 |
| 61 年 | 4 月 8 日 | 第 5 回入学式 新入児 210 名 (児童数 1068 名) |
| 61 年 | 8 月 31 日 | 普通教室 6 教室増築 運動場拡張 |
| 62 年 | 8 月 31 日 | 普通教室 6 教室(プレハブ)増築(一時使用) |
| 63 年 | 4 月 7 日 | 第 7 回入学式 新入児 212 名 (児童数 1314 名) |
| 平成 元年 | 3 月 30 日 | 高学年用図書室増設(一時使用) |
| 元年 | 4 月 7 日 | 第 8 回入学式 新入児 212 名 (児童数 1413 名) |
| 元年 | 8 月 1 日 | 低学年用プール増設 |
| 2 年 | 4 月 7 日 | 第 9 回入学式 新入児 209 名 (児童数 1369 名) |
| 3 年 | 4 月 8 日 | 第 10 回入学式 新入児 203 名 (児童数 1338 名) |
| 3 年 | 5 月 20 日 | 増築教室に冷房設備設置 |
| 4 年 | 2 月 22 日 | 創立 10 周年記念式典実施(記念下敷配付、記念誌発行) |
| 4 年 | 4 月 7 日 | 第 11 回入学式 新入児 155 名 (児童数 1231 名) |
| 5 年 | 4 月 7 日 | 第 12 回入学式 新入児 127 名 (児童数 1140 名) |
| 6 年 | 3 月 31 日 | 中庭プレハブ教室解体 |
| 6 年 | 4 月 7 日 | 第 13 回入学式 新入児 113 名 (児童数 1031 名) |
| 7 年 | 4 月 7 日 | 第 14 回入学式 新入児 92 名 (児童数 897 名) |
| 8 年 | 4 月 1 日 | ティーム・ティーチング教員配置 |
| 8 年 | 4 月 8 日 | 第 15 回入学式 新入児 85 名 (児童数 766 名) |
| 8 年 11 月 14 日 | | 創立 15 周年記念航空写真撮影 |
| 9 年 | 4 月 8 日 | 第 16 回入学式 新入児 62 名 (児童数 621 名) |
| 10 年 | 3 月 5 日 | 児童会空き缶回収で加茂きはだ園へ車椅子寄贈 |
| 10 年 | 4 月 7 日 | 第 17 回入学式 新入児 76 名 (児童数 537 名) |
| 11 年 | 4 月 1 日 | 情緒障害児学級開設 |
| 11 年 | 4 月 7 日 | 第 18 回入学式 新入児 51 名 (児童数 459 名) |
| 11 年 | 5 月 20 日 | 情報教育室(コンピュータ室)設置 |

| | | | |
|-------|--------|---|------------|
| 11年 | 7月 | 学童保育室移転設置 | |
| 12年 | 4月 7日 | 第19回入学式 新入児54名 | (児童数 409名) |
| 12年 | 4月 | 京都府社会福祉協議会 福祉協力の指定を受ける(平成12~14年度) | |
| 13年 | 3月14日 | 学校だより「さかみち」地域広報版を配付 | |
| 13年 | 4月 7日 | 第20回入学式 新入児37名 | (児童数 358名) |
| 13年 | 11月17日 | 創立20周年記念事業(記念下敷配付、記念誌発行) | |
| 14年 | 4月 9日 | 第21回入学式 新入児46名 | (児童数 321名) |
| 15年 | 4月 8日 | 第22回入学式 新入児35名 | (児童数 292名) |
| 16年 | 4月 7日 | 第23回入学式 新入児44名 | (児童数 265名) |
| 17年 | 4月 7日 | 第24回入学式 新入児47名 | (児童数 262名) |
| 18年 | 4月 7日 | 第25回入学式 新入児35名 | (児童数 252名) |
| 19年 | 3月12日 | 木津川市誕生に伴い、木津川市立南加茂台小学校と改称 | |
| 19年 | 4月 1日 | 特別支援学級(情緒)再開設 | |
| 19年 | 4月 7日 | 第26回入学式 新入児43名 | (児童数 260名) |
| 19年 | 4月 | 京都府小学校教育研究会生徒指導研究部研究協力校の委嘱を受ける(平成19~21年度) | |
| 20年 | 4月 7日 | 第27回入学式 新入児43名 | (児童数 260名) |
| 21年 | 4月 7日 | 第28回入学式 新入児23名 | (児童数 236名) |
| 21年 | 6月26日 | 京都府小学校教育研究会生徒指導研究部研究大会 | |
| 22年 | 4月 7日 | 第29回入学式 新入児45名 | (児童数 238名) |
| 23年 | 4月 7日 | 第30回入学式 新入児37名 | (児童数 228名) |
| 23年 | 11月 6日 | 開校30周年学校公開、総合遊具寄贈設置、記念下敷き配付 | |
| 24年 | 4月 1日 | 当尾小学校との統合 通学車両運行 | |
| 24年 | 4月 9日 | 第31回入学式 新入児35名 | (児童数 236名) |
| 25年 | 4月 9日 | 第32回入学式 新入児35名 | (児童数 228名) |
| 26年 | 4月 8日 | 第33回入学式 新入児31名 | (児童数 214名) |
| 27年 | 4月 7日 | 第34回入学式 新入児37名 | (児童数 222名) |
| 28年 | 4月 7日 | 第35回入学式 新入児18名 | (児童数 200名) |
| 29年 | 4月 7日 | 第36回入学式 新入児30名 | (児童数 182名) |
| 30年 | 4月 9日 | 第37回入学式 新入児26名 | (児童数 172名) |
| 31年 | 4月 9日 | 第38回入学式 新入児27名 | (児童数 167名) |
| 令和 2年 | 4月 7日 | 第39回入学式 新入児21名 | (児童数 159名) |
| 3年 | 4月 7日 | 第40回入学式 新入生19名 | (児童数 139名) |
| 4年 | 4月 7日 | 第41回入学式 新入生14名 | (児童数 139名) |

2 教育

～加茂地域 小中一貫教育～

〔教育目標〕 生きる力をはぐくみ、幸せな未来を拓く児童生徒の育成

〔目指す児童生徒像〕かしこく(知) やさしく(徳) たのもしく(心・身体)

目指す児童像

- 体験を学びに変える事の出来る子(主体的に学びに向かえる力)
- 気持ちの伝わるあいさつのできる子(つながりを持てる力)
- 感謝の気持ちを表現して伝えることができる子(大切にされている感覚)

(1) 学校教育目標

児童が楽しいと思える学校。保護者と地域が温かく見守り、
協力したい(して良かった)と思える学校づくり。

～地域や外部の人材・環境の積極的な活用による豊かな体験。育みたい力の育成～
楽しい授業へ【主体性・多様な人とつながる・新たな価値を生み出す力】

(2) 学校経営方針

《基本的な考え方》

- (1)新学習指導要領及び京都府教育振興プラン並びに、木津川市教育振興基本計画や学校教育の重点を踏まえ、教育目標と学校経営方針を明確にし、社会に開かれた教育課程を編成する。
- (2)育成すべき資質・能力を明確にし、学習活動をはじめとする教育活動全般の充実を図り、知・徳・体の調和のとれた児童の育成を目指して、保護者や地域の信頼に応える教育活動を推進する。

《経営目標》

- (1)主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業の工夫改善を図ることで、基礎的・基本的な知識及び技能、思考力・判断力・表現力、主体的に学ぶ態度を養う。
- (2)体験活動や表現活動を充実させることで、豊かな心や創造性の涵養を目指し、他者とともにによりよく生きるための基盤となる道徳性や健康・安全で活力ある生活を送るための基礎となる体力を養う。
- (3)教職員の資質の向上を図り、共通理解・協働のもと、児童との信頼関係、児童理解を大切にして、児童とともに学び高め合う学校づくりを進める(資質の向上を図る時間を作る・子どもと向き合う)。働き方改革を意識した校務等の整理。
- (4)カリキュラムマネジメントを充実させ、創意と熱意ある積極的な教育活動を展開し、保護者や地域から信頼される開かれた学校づくりを進める。

3 育成すべき資質・能力

京都府教育振興プランの3つの具体的「はぐくみたい力」として表した、主体的に学び考える力、多様な人とつながる力、新たな価値を生み出す力の調和を大切にした教育を軸に、本校の児童一人一人に育成すべき資質・能力を以下のとおりとする。

- ①体験を学びに変える力 【主体性・意欲・応用力】
- ②つながりを持てる力 【自己肯定感・挑戦力】
- ③感謝の気持ちを表現して伝える力【包容力・コミュニケーション力・展望力】

4 本年度の重点目標

(1) 学力の向上・充実

- ① 知識・技能の定着
 - ・南加茂台スタンダードの活用と「学び合い」をテーマにした学習、授業規律の確保
 - ・算数科を中心とした魅力ある、学び合う授業づくりのための工夫改善
 - ・朝学習、朝読書、補習等を効果的に活用した個に応じた指導の充実
- ② 学習意欲の向上
 - ・学ぶ目的を明確に持たせる「めあて」の工夫
 - ・主体的に学習に向かう習慣を身に付けさせる家庭学習の推進
 - ・地域の人材や教材、専門家を積極的に活用した体験活動の充実
- ③ 思考力・判断力・表現力等の育成を基盤としたコミュニケーション能力の向上
 - ・ICT機器の効果的な活用と基本的な操作の習得

- ・ペア学習・グループ学習等の「学び合い」の場の充実
- ・「見方・考え方」の提示等による学び方の習得
- ・学びを深める「振り返り」の充実
- ・主体的に伝え合おうとする力の素地を養う外国語活動

④ キャリア教育の推進

- ・指導計画の改善、校内研修の充実等による発達の段階に応じた組織的・系統的なキャリア教育の実施
(キャリアパスポートの活用について推進を図る)
- ・外部講師の活用によるキャリア教育の推進
- ⑤ プログラミング教育の充実 　・ 研究・研修を充実させ、実施していく
- ⑥ 学力テストの活用。問題の意味を理解する力をつける。

(2)児童一人一人の個性や能力の伸長と豊かな心や創造性の涵養、健康や体力の向上

① 心の教育の推進

- ・「こころあっぷタイム」メンタルヘルス予防教育プログラムを活用した指導の充実

② 道徳教育の推進

- ・道徳教育の教科化に伴う指導・評価・研修の充実

③ 豊かな心の育成と個性の伸長

- ・伝統文化に触れる体験活動等の充実

- ・文化的行事への積極的な参加、取組の充実

④ 生命を大切にする心や思いやりを尊重する心の育成

- ・道徳、特別活動の推進体制の整備と研修や授業公開の充実

⑤ 社会的資質・能力・態度の育成

- ・生徒指導の機能を活かした組織的な指導の充実

⑥ 体力・運動能力の向上

- ・体力テスト等の結果分析に基づいた体力向上の取組や行事等の充実

- ・体育的行事への積極的な参加

(3)地域や保護者から信頼される、特色ある学校づくり

① 魅力ある学校づくり

- ・これまで取り組んできた様々な活動に対してキャリア教育の視点を持ち、体験活動を重視する特色ある学校づくりの推進
- ・教育活動の地域への積極的な発信(学校だより、HP、学校地域公開)

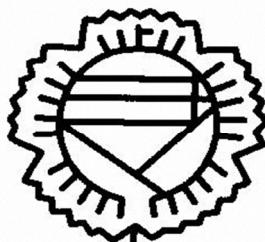
② 地域の教育力を活かした教育環境の整備

- ・学校支援地域本部事業、学校ボランティア等を活用した取組の充実
- ・学校開放による地域とのつながりの構築
(放課後子ども広場等)

5 その他

- ① 小中一貫教育推進に伴う、総合的な学習の時間(ふるさと絆学)や6年生による 地域3小学校合同授業などの小小・小中連携
- ② アレルギー対応
- ③ 事務の共同化
- ④ 体育及び英語科の専科に係る対応
- ⑤ コロナウィルス感染症での新たな人権課題や生徒指導・教育相談に係る指導

木津川市立上狛小学校



上狛小学校 校歌

作詞 酒井
作曲 杉本
雨虹
秀治

一 見よ 大川の 水の面は

円かなる 月影やどし

天地のわけを さながらに

小さき目にも 教うなり

おお 犬の河原のなでしこと

咲けよ朝夕 我等学び子

二 聞け 城山の 松風は

学び舎の 窓の辺訪いて

尊きさとし さながらに

小さき耳に ささやけり

おお 犬の河原のなでしこと

咲けよ朝夕 我等学び子

郵便番号 619-0204

所在地 京都府木津川市山城町上狛学校1番地

電話 (0774) 86-2002

FAX (0774) 86-5500

E-mail kamikoma-es@kizu.ed.jp

HP・URL <http://www.kizu.ed.jp/kamikoma-es/>

1 沿革

- 明治 6年 上狛小学校創立（4月13日）
- 20年 上狛尋常小学校発足
- 25年 上狛高等小学校が併設
- 32年 組合立上狛尋常高等小学校と改称
- 大正 7年 実業補修学校附設
- 昭和 9年 校歌制定
- 16年 組合立上狛国民学校と改称
- 22年 上狛町、高麗村組合立上狛小学校と改称
- 23年 育友会発足
- 31年 町村合併により山城町立上狛小学校と改称
- 40年 育友会文部大臣表彰受賞、プール完成
- 41年 鉄筋2階建て北校舎完成
- 42年 給食センター完成 給食開始
中庭に庭園と池が完成
- 45年 中庭に飼育小屋が完成
- 46年 運動場拡張
- 49年 山城地方給食指導研究会開催 学校給食優良校として文部大臣表彰受賞
- 50年 学校優良校として、京都府教育委員会より表彰
- 52年 日本水泳連盟より学童水泳優良校受賞
- 53年 鉄筋3階南校舎改築完成、運動場拡張
- 54年 校舎前庭園完成
- 57年 体育館改築完成
- 59年 山城地方社会科教育研究発表会開催
- 63年 第43回国民体育大会京都国体（成年女子ソフトボール会場）
- 平成 2年 京都府教育委員会・山城町教育委員会教育実践推進校（算数科）
<指定2年 平成3年発表>
- 3年 第36回「才能開発実践教育賞」受賞
- 5年 京都府社会福祉協力校指定（3年間）
人権擁護ポスターコンクール学校賞受賞
- 120周年記念講話会
- 6年 京都府小学校教育研究会保健安全研究会
- 8年 京都府教育委員会教育実践パイロット校・山城町教育委員会指定（図画工作科）
<指定2年 平成9年発表>
- 11年 コンピュータ教室整備 コンピュータ設置
- 13年 京都府学校安全協力校として京都府教育委員会より表彰
門扉・フェンスの設置
- 14年 配膳室設置、給食センター改築（椿井地域へ移転）
- 15年 創立130周年記念植樹
- 16年 京都府教育委員会環境教育推進校「京のエコ・スクール」
山城町教育委員会指定（指定2年 平成17年発表）
- 18年 特別支援教育充実事業に係る研究実践校（「やましろ未来っ子」研究推進校）
- 19年 特別支援教育充実事業に係る研究実践校（「やましろ未来っ子」研究推進校継続）
京都府交通安全協会より交通安全表彰受賞（5月）
「みんなで読もう1000万冊読書キャンペーン」京都新聞社賞受賞

- 20年 「やましろ地域学習推進事業」 平成20年度やましろ地域学習推進研究協力校
- 21年 「やましろ地域学習推進事業」 平成21年度やましろ地域学習推進研究協力校
コンピュータ教室整備（機器交換）
- 22年 文部科学省委託「栄養教諭を中心とした食育推進事業」 実践中心校
南校舎耐震補強工事完了
- 23年 文部科学省委託「栄養教諭を中心とした食育推進事業」 本発表
南校舎屋上防水工事完了
- 24年 南校舎南側花壇新設
- 25年 理科・図工室を南校舎に移転
- 27年 教育用・公務用コンピュータ、デジタル教科書整備
洋式トイレ設置、校門時計更新
- 28年 北館完成（図工室・図工準備室の設置）
児童クラブの移転・新築
- 29年 電子黒板全学級設置完了
- 30年 普通教室エアコン設置完了
- 令和元年 放課後なでしこ広場開設
- 2年 コミュニティ・スクール準備・開設
- 3年 国立教育政策研究所指定 教育課程実践検証協力校事業
「E-Assessmentに関する研究（A枠）・国語」協力校

2 教育

(1) 学校教育目標

「つながりを大切に 主体的に学ぶ 未来を拓く子の育成」

めざす児童像

なかまを大切にする子
ともに学び合う子
あきらめずに挑戦する子

(2) 学校経営方針

府学校教育の重点・市教育振興基本計画を踏まえ、児童に確かな学力の充実と向上、豊かな心・たくましい体の育成などの「生きる力」や3つの「はぐくみたい力」を身に付け、変化する社会に柔軟かつ的確に対応する能力や資質の育成に努める。

ア 確かな学力の充実と向上

- ・学習習慣や生活習慣を確立し、児童が学びに向かう土壤を整え、基礎・基本を徹底することで学力の充実と向上を図る。

イ 豊かな心・たくましい体の育成

- ・人権教育を基盤として人とのつながりを重視し、集団活動や体験的学習を通して、互いに認め合い高まり合う教育活動を推進する。
- ・さらに、たくましく生きるために健康や体力の向上につながる教育活動を推進する。

ウ 地域に根ざし開かれた学校づくり

- ・コミュニティ・スクールとして、地域総がかりで子どもを育てる基盤を固める。
- ・学校と家庭・地域がパートナーとして連携・協働による取組を進めるために目標やビジョンを共有し、つながりを大切にした教育を創造していく。

(3) 本年度の重点目標

ア 確かな学力の充実と向上

- ・児童が見通しを持って自ら学び、わかる楽しさ・できる喜びを実感できる授業づくりを進める。
- ・言語活動を充実し、基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着を図るとともに、自分の考えを伝え合うことにより確かな学力を身に付けさせる。
- ・タブレット等のICT機器やデジタル教材等を活用し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現を目指す。

イ 豊かな心・たくましい体の育成

- ・人権学習を充実し、多様な価値を認めた上で自ら考え、他者と対話し協働しながら、よりよく生きる心情を育てる。
- ・通学班や委員会活動、異年齢集団（なでしこ班）活動を通して、望ましい集団づくりの推進を図り、仲間を大切にする気持ち、主体性や協調性を養う。
- ・気持ちのよいあいさつを介して、気持ちのよい人間関係を築く。

ウ 地域に根ざし開かれた学校づくり <信頼される学校>

- ・社会の変化に対応し、主体的に生きていけるよう自己の生き方を深く見つめさせる取組を推進する。
- ・体験活動や地域交流等の実施により、地域の方々に学び、ふれあう機会を大切にし、「ふるさと上泊」を愛する心や感謝する気持ちを育てる。
- ・家庭・地域社会・関係機関との連携に努め、家庭・地域社会と一体となって教育活動の充実に努めるとともに、開かれた学校づくりを進め、信頼される学校づくりを推進する。また、地域社会とともに子どもを守り育てる活動を推進する。
- ・「コミュニティ・スクール」としての運営及び活動を推進する。

(4) 指導の重点

ア 確かな学力をはぐくむ

(ア) 学習意欲の向上と学習習慣の確立

- ・授業の工夫により学習に対する意欲を向上させる。

(イ) 基礎的・基本的な知識技能の習得

- ・学力テスト等の結果分析をすすめて的確に状況を把握し、学力の充実・向上を目指す取組を推進するとともに、特に課題のある児童に対しては、個に応じた指導・支援を行う。
- ・家庭と連携して、家庭学習を習慣化し、学力の向上につなげる。

(ウ) 活用する力の育成

- ・表現力を高めるために様々な場面で活用する力の育成を図る。

イ 豊かな心と規範意識をはぐくむ

(ア) 道徳教育の推進

- ・児童の心に響く魅力的な教材を活用しながら道徳的価値の自覚を深め、道徳的実践力を育成する。
- ・授業公開等を通して、学校における道徳教育に対する保護者の理解を一層深める。

(イ) 教育相談の充実

- ・児童の内面を深く理解し、信頼関係に基づいた指導を行うとともに、教育相談活動を充実させ、いじめ・不登校等への適切な対応をする。

(ウ) 生徒指導の充実

- ・指導の方向、内容を明確にした全体計画を作成し、学校としての協力体制・指導体制を確立するとともに、指導の在り方について保護者との共通理解を図り、関係機関と連携を深める。

(エ) 読書活動の推進

- ・積極的な読書活動の取組を通して豊かな心をはぐくみ、個々の児童の個性、能力の伸長に努める。
- ・家庭と連携して読書の取組をさらに進める。

ウ 健やかな身体をはぐくむ

(ア) 健康の保持増進

- ・基本的な生活習慣の確立を目指して、児童の実態把握に努め、家庭と連携した取組を推進し、自ら健康な生活を営むことができる望ましい行動への変容を図り、児童の実態に即した保健管理と保健教育を行う。

(イ) 体力の向上

- ・体力テストの結果をもとに個に応じた体力・運動能力の向上を図る。

(ウ) 食育の推進

- ・教育活動全体を通じた食育の推進を図り、食や健康への関心を高める。

エ 一人一人の個性を伸ばし、社会の形成者としての資質をはぐくむ

(ア) 人権教育の推進

- ・児童の理解や認識の実態を的確に把握しながら、同和問題をはじめとするさまざまな人権問題の解決の視点を明確にした学習を行う。
- ・さまざまな人権問題の正しい理解と解決のために行動できる技能や能力の育成を図る。

(イ) 特別支援教育の推進

- ・特別支援教育について全教職員が理解を深めるとともに、個々の障害の状態、発達段階及び特性等に応じた適切な支援を行う。

(ウ) キャリア教育の推進

- ・学級活動などにおいて、計画的にキャリア教育を行う。

オ 社会の変化に対応し、未来をたしかに生きる力をはぐくむ

- (ア) 情報教育の推進
 - ・情報機器を使い情報活用能力の育成に努めるとともに、情報モラルの指導の充実を図る。
- (イ) 国際理解教育の推進
 - ・外国語活動等を通して、コミュニケーション力の素地を養うとともに、異文化や日本文化を理解する。
- (ウ) 環境教育の推進
 - ・環境問題について関心を持ち、日常生活の中で生かせるようにする。

カ 魅力ある・信頼される学校・園をつくる

- (ア) 学校の組織力と教職員の資質向上
 - ・課題に対応できる機能的な組織・運営機構を構築するため、分掌相互の連携を図り、開かれた組織運営を行う。
 - ・自校の課題に即した具体的な研究主題を設定し、方法や内容を明確にして研究・研修計画を策定する。
 - ・授業改善、指導力向上を図る研究や自校の課題解決のための研究を推進し、学力の充実・向上につなげる。
 - ・「教師力」や「授業力」の向上を図る取組を進める。
- (イ) 魅力ある学校づくり
 - ・教育目標、学校教経営計画や教育活動の状況について、積極的に情報発信するとともに情報収集に努める。
- (ウ) よりよい教育環境の整備
 - ・事故等の実態を把握し、交通安全・地震防災安全教育を含む安全管理と安全教育を進める。
 - ・児童を凶惡な事件から守るための防犯教育の充実を図り、安全確保に対する意識を高めるとともに、緊急時に適切な行動がとれるようにする。
 - ・学校施設・設備の整理、点検、環境の美化に努める。
 - ・学校安全計画に基づき、学校危機管理マニュアルを充実させ、全職員がその内容について理解を深めるようにする。

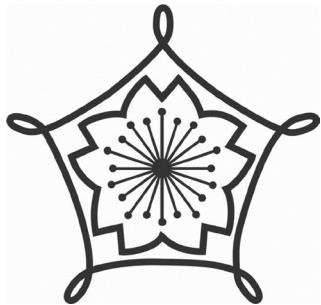
キ 地域の力を活かして子どもをはぐくむ

- (ア) 安全対策の充実
 - ・なでしこ安全推進会議、登下校見守りボランティア等との連携を図り、安心・安全な学校づくりを推進する。
- (イ) 地域ぐるみの子育て
 - ・地域のさまざまな行事、関係機関、人々と積極的にかかわりを持ち、連携を密にする。
 - ・P T A等の活動内容等について、十分な打合せを行うとともに、教職員は積極的にP T A活動等に参加する。

ク 地域を学び、郷土を大切にする心をはぐくむ

- (ア) 自然・歴史についての学習の充実
 - ・地域学習をさらに推進し、地域の人々、関係諸機関と連携を図りながら、多様な学習活動を実践する。

木津川市立棚倉小学校



棚倉小学校校歌

作詞 中谷志津枝
作曲 杉本 秀治

一、大空めざし 伸びてゆく

光明山の わか竹に

まげず伸びよと 日はまねく

ああすくすくと 立ちあがる

光の子なり 我等みな

二、清き流れを のぼりゆく

泉の川の 若あゆに

まげず進めと 風はよぶ

ああひとすじに 学びゆく

励みの子なり 我等みな

三、涌き出の森の 大杉が

語る栄えの その歴史

うけつぎゆけと 枝は鳴る

ああ喜びに 勇み立つ

望みの子なり 我等みな

郵便番号 619-0201

所在地 京都府木津川市山城町綺田局塚14

電話 (0774) 86-2513

FAX (0774) 86-5698

E-mail tanakura-es@city.kizugawa.lg.jp

HP・URL <http://www.kizu.ed.jp/tanakura-es/>

1. 沿革

- 明治 5年 綾杉に綺田校創立（5月25日）
- 21年 綺田尋常小学校発足
- 25年 棚倉高等小学校を綺田尋常小学校に設置
- 32年 棚倉高等小学校を廃して綺田尋常小学校に併置し、校名を綺田尋常高等小学校と改称
- 大正 3年 大字綺田小字局塚14に移転改築
綺田尋常高等小学校を棚倉尋常高等小学校と改称 実業補習学校附設
- 昭和 11年 奉安殿並びに校舎の落成式挙行
- 16年 棚倉国民学校と改称
- 22年 棚倉村立棚倉小学校と改称
- 23年 棚倉小学校校歌制定
- 28年 講堂竣工式挙行
- 31年 上狛村、高麗村、棚倉村が合併し山城町となる。校名を山城町立棚倉小学校と改称
- 38年 新校舎改築開始（普通教室11、特別教室5、管理室3）
- 40年 新校舎落成竣工 プール竣工
- 42年 学校安全優良校として日本学校安全会より表彰 完全給食開始
- 43年 障害児学級開設
- 44年 緑地帯整備完工
- 45年 交通教室整備（模擬道路、自転車練習場設置）
- 47年 昭和46年度学校安全優良校表彰 昭和47年度学校安全文部大臣表彰
創立100周年記念行事実施 昭和47年度学校安全教育研究発表会
- 48年 昭和47年度全日本交通安全協会会長表彰、昭和48年度学校安全教育研究発表会
- 49年 障害児学級閉鎖
- 50年 児童増加に伴い、3教室増築並びに体育倉庫増築
- 53年 運動場一部拡張 理科教室改装
- 54年 文部省、府教委小学校教育課程研究指定（図画工作科）～55年
- 55年 小学校教育課程（図画工作科）研究発表会
- 58年 新校舎（特別教室）竣工（3教室、便所、児童昇降口）
校地北西部の水田を買収し、大運動場完成（12, 911平方メートル）
- 60年 運動場照明施設完成 体育館竣工（726平方メートル）
- 61年 学校安全教育表彰（学校安全努力校） 第43回国民体育大会 京都国体開催

- 平成 元年 府小研体育研究大会 校舎大規模改造完成
- 3年 学校安全教育長表彰 (学校安全努力校)
- 5年 文部省・京都府教育委員会及び山城町教育委員会教育実践推進校体力つくり研究発表会
- 6年 学校安全努力校表彰 全国学校体育研究校表彰
- 8年 障害児学級開設 福祉協力校指定(3年間) 保健室・給食配膳室改修 公共下水道供用開始
- 9年 放送室・放送設備改修
- 11年 コンピュータルーム開設 ふるさとふれあい推進校発表
- 14年 金銭教育研究発表会・金銭教育シンポジウム開催 (2月8日)
- 16年 全日本学校関係緑化コンクール 学校林活動の部入選 (国土緑化推進機構理事長賞)
「学力向上フロンティアスクール」「京都夢・未来校」研究発表会
- 19年 加茂町、木津町、山城町が合併し木津川市となる。木津川市立棚倉小学校と改称
放送設備改修
京の子ども夢・未来校「やましろ未来っ子」「学力向上アーバン開発校」研究発表会
- 21年 コンピュータルーム情報機器更新
- 22年 特別支援教育充実事業に係る研究実践校 (「やましろ未来っ子」) 研究発表
栄養教諭を中心とした食育推進事業 (2年間)
- 24年 「学校林・遊々の森」全国子どもサミット in 京都参加
学校支援地域本部事業発足
第53回交通安全全国民中央大会交通安全栄誉賞表彰
- 25年 木津川市特色ある学校づくり推進事業指定 (～令和元年継続中)
- 26年 プール改修工事
- 27年 棚倉小学校校舎改築工事始まる
- 28年 新校舎完成
- 29年 竣工式挙行 京都府小学校教育研究会道徳教育研究発表
- 令和 3年 木津川市特色ある学校づくり推進事業指定 (継続中)
山城教育局 山城地方学校力向上トライアル校 (継続中)
- 4年 創立150周年記念行事実施

2. 教育

(1) 教育目標

「自分のよさを生かしながら、自立できる子どもの育成」

(2) 目指す児童像

◇学び…よく聴き、考え、自分の言葉で表現できる子

自分で判断し、行動する子

◇つながり…気持ちのいいあいさつができる

相手の気持ちを考えて、仲良く協力できる子

◇きたえあう…体を鍛え、最後までやり抜く子

みんなのために働く子

(3) 学校経営方針

「学習指導要領」「京都府教育振興プラン」「木津川市教育基本計画」に基づき、変化の激しい社会に主体的に対応できる児童の育成を目指し、校長を主導とした学校体制の下で、日々の教育活動の充実を図る。

ア 主体的な学びの推進・確かな学力の向上

イ 豊かな人間性と道徳の三要素（道徳的な判断力・心情・実践意欲と態度）の育成

ウ 健やかな体作りの推進

エ 地域に開かれ、地域に信頼される学校作り

オ 豊かな人間性と広い社会性、高い専門性を持った教職員集団の育成

(4) 重点目標

ア 児童一人一人の主体的に学ぶ力の育成と確かな学力の向上

・基礎・基本の定着及び活用する力の育成を図る指導の工夫

・言語活動と読書活動の充実

イ 道徳教育の充実と心豊かな児童の育成

・道徳教育の推進と規範意識の育成

・人権教育の推進

ウ 豊かで安心な学級経営につながる生徒指導の充実

- ・生徒指導の三機能（自己決定の場の設定、自己存在感の高揚、共感的人間関係の育成）を生かし、学校生活の基盤となる豊かな学級経営の実践
- ・不登校やいじめの未然防止を目指し、きめ細かな日々の見取りと丁寧な教育相談活動の推進

エ 児童の健康や体力の向上と健康安全教育及び安全管理体制の充実

- ・計画的な健康安全教育の推進
- ・「体力づくり指導の手引き」を活用した、豊かで楽しい運動経験の充実
- ・食育の推進
- ・定期的な施設点検の実施

オ 一人一人の教育的ニーズに応じた、自立を目指す特別支援教育の充実

- ・校内委員会を中心とした特別支援教育の推進
- ・学習支援員、ボランティアなどを活用した補習活動の推進

カ 地域・保護者と連携し、学校の顔が見える学校作りの推進

- ・学校だより、学年・学級だより、ホームページ等の活用
- ・感染症予防対策を行いながらの教育活動の公開
- ・感染症予防対策を行いながらのPTA・地域の各種団体・社会教育関係団体との連携

キ 教職員の資質向上と業務改善の推進

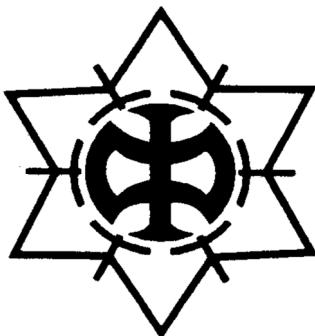
- ・計画的な校内研修の実施
- ・学校行事の精選と取組内容の見直し

(5) 重点研究

「基礎・基本を身につけ、自ら考え、学び合う児童の育成」

～国語科を中心に「ことばの力」を育む～

木津川市立木津中学校



木津中学校校歌

作詞 石中山俊
作曲 吉俊道修

一 東の空にかぎろう 朝日子の

光をあびて この学園に

つどう若人 いのちは躍動る

二 木津川はその名清しき 泉川

永久に変わらぬ 流れこそ

木津中健児の たゆまぬ姿

三 青丹よし奈良のみやびを 近代の

文化に生かす 力こそ

わかれらの胸に たぎる血潮ぞ

四 天と地の寄り合うきわみに 万象の

生成力あり わが校の
集いに平和の 力こもれり

郵便番号 619-0222

所在地 京都府木津川市相楽高下4番地8

電話 (0774) 72-0007

FAX (0774) 72-0094

E-mail kizu-jhs@kizu.ed.jp

HP・URL <http://www.kizu.ed.jp/kizu-jhs/>

1. 沿革

昭和

- 22年 5月 3日 町立木津小学校南校舎を借用して開校式挙行
23年 3月 21日 木津南垣外に新校舎上棟式挙行
10月 19日 新校舎へ移転
25年 6月 18日 講堂竣工式挙行
26年 4月 8日 町村合併に伴い相楽村出身生徒を編入
27年 6月 5日 相楽村との合併により現在地に本館竣工式挙行
6月 30日 新校舎へ移転
28年 5月 27日 南校舎を旧地から移転し、竣工式挙行
10月 30日 生産教育研究発表会実施
29年 4月 23日 講堂を旧中学校から移転、竣工式挙行
30年 7月 30日 プール竣工
11月 8日 文部省指定産業教育研究発表会実施
31年 3月 木津小学校から2教室移築
12月 11日 同和教育研究発表会実施
32年 9月 1日 優良図書館表彰受賞
11月 21日 学校図書館研究発表会実施
34年 6月 1日 バックネット新設
11月 25日 道徳教育研究発表会実施
35年 5月 1日 障害児学級開設
36年 2月 24日 障害児教育研究発表会実施
3月 20日 進路指導研究発表会実施
9月 16日 第二室戸台風のため校舎一部倒壊
11月 21日 府教委指定「学級活動における進路指導」研究発表会実施
37年 6月 29日 体育館竣工
11月 10日 特別教育活動研究発表会実施
39年 12月 30日 鉄筋校舎竣工
40年 2月 2日 文部省指定道徳教育研究発表会実施
3月 17日 学校安全努力校として表彰を受賞
42年 1月 6日 技術科研究発表会実施
43年 4月 15日 学校給食開始
44年 2月 24日 学校経営研究発表会実施
45年 4月 28日 本館新築竣工
46年 2月 25日 生徒指導研究（文部省推進校）発表会実施
11月 25日 生徒指導研究（文部省推進校）報告会実施
47年 1月 13日 生徒指導研究（文部省推進校）発表会実施
50年 2月 25日 自由研究「学級活動」発表
52年 1月 21日 文部省指定道徳教育研究（2年継続）発表実施
53年 1月 2日 郡中学校自主研究発表「集団を高めるために」
54年 3月 2日 鉄筋4階建校舎竣工
55年 3月 20日 鉄筋4階建校舎増築竣工
57年 3月 20日 クラブボックス完成
12月 10日 運動場防球ネット設置
59年 3月 30日 運動場夜間照明設置
61年 10月 15日 体育館大規模改修工事完了
62年 5月 25日 校長室改裝
63年 8月 30日 南北校舎大規模改修工事完了
- 平成
- 2年 1月 6日 郡中学校自主研究発表「学習意欲を高める指導の充実」
3年 8月 30日 職員室床面前面改修完了
10月 31日 プール新設竣工
11月 25日 自動車駐車場の新設
12月 10日 人権作文コンテスト感謝状受賞法務省局長賞

12月25日 体育館ギャラリー手すり設置

4年 3月10日 武道場の新設竣工
3月31日 バックネット新設竣工
9月30日 コンピュータ教室完成

5年 8月31日 グラウンド大規模改修工事完了

6年 8月25日 職員室空調設備設置工事完了

7年 8月30日 放送設備全面改修

8年 1月21日 武道場進入通路舗装
8月 9日 文部省指定スクールカウンセラ－活用調査研究委託事業

9年 4月 5日 体育館東入口屋根完成
5月 3日 創立50周年記念式典実施

10年 4月 5日 自転車置場増設
11月22日 「さわやか賞」受賞

12年 4月 1日 情緒障害児学級設置
8月 下水道・室外トイレ改修

13年 4月 1日 「児童生徒等歯・口の健康つくり推進事業」研究指定

14年11月 受水槽改修

15年 7月30日 京都府中学校総合体育大会ソフトテニスの部優勝
10月18日 山城地方中学校駅伝競走大会 男子優勝

12月 コンピュータ室備品新規購入及び、光ファイバー、インターネット整備

16年 2月 「児童生徒等歯・口の健康つくり推進事業」発表(於・東京)
4月 スクールカウンセラ－配置
文部科学省指定「キャリア教育推進地域指定事業」(3ヶ年)

18年 4月 心の居場所相談員配置
文部科学省指定「人権教育推進地域事業」(3ヶ年)

19年 3月12日 木津川市誕生に伴い、木津川市立木津中学校と改称
10月20日 山城地方中学校駅伝競走大会 男子優勝(第29回近畿中学校駅伝競走大会出場)
11月10日 「キャリア教育」文部科学大臣表彰受賞
12月21日 木津中学校創立60周年を迎える(記念品配布)

20年 7月30日 京都府中学校総合体育大会サッカーの部優勝(近畿大会出場)

21年 1月20日 平成18・19・20年度文部科学省指定 人権教育総合推進地域事業「人権教育研究大会」
3月 クラブボックス裏に自転車置き場増設
7月30日 京都府中学校総合体育大会サッカーの部2年連続優勝(近畿大会出場)
8月22日 全国中学校体育大会陸上競技選手権大会出場(男子:110mH、女子:100mH)

22年 7月30日 京都府中学校総合体育大会サッカーの3年連続優勝(近畿大会出場)

23年 4月 1日 梅美台及び州見台地域の生徒増加に伴い木津川市立木津南中学校の開校により分離
23年 8月20日 全国中学校体育大会陸上競技選手権大会出場(男子100m、男子4×100R)

26年 3月12日 新校舎棟・体育館落成式

27年 3月27日 新グラウンド完成

28年 4月 1日 京都府教育委員会指定「法やルールに関する教育」研究指定校

29年 4月 1日 京都府教育委員会指定「法やルールに関する教育」研究指定校
令和
2年10月18日 全国中学校陸上競技選手権大会出場(男子:400m、女子:100mH)

2. 教育

(1) 学校教育目標

「心豊かでたくましく生きる生徒の育成」

(2) めざす生徒像

「強い人、考える人、あたたかい人」

- ・豊かな心と、たくましい身体を持った生徒
- ・自らの考えで、進んで実行する生徒
- ・他と協力し、助け合い励まし合う生徒

(3) 本年度の研究主題

「主体的に学習に取り組み、解決していける生徒の育成」

～ICTを活用した確かな学力の育成～

(4) 教育目標を具現化するための努力点

ア 学力充実

- 基礎、基本の徹底による学力の充実
- 家庭学習の指導と家庭学習習慣の定着
- 探求的な学習の推進

イ 豊かな人間性の育成

- 人権教育(ヒューマンタイム)の計画的実施
- 体験的な学習の充実による主体的な生徒の育成
- 生徒のコミュニケーション能力の向上

ウ 生徒指導の充実

- いじめ防止の徹底(早期発見・早期対応)
- 不登校生徒への具体的対応の充実(早期発見・早期対応)

エ ICTの活用

- タブレットの活用による個別最適化学習の推進
- 授業におけるICTの活用の推進
- 校務におけるICTの効果的活用の推進

オ 信頼ある学校

- 生徒一人一人が活躍できる場面を意識し、自己有用感を育てる
- 生徒一人一人のニーズに応じた教育、進路指導の充実
- 適切な学校評価の実施と公開

木津川市立木津第二中学校



木津第二中学校校歌

作詞 中村吉典三
作曲 尾上昭三

一 はるかなる 歴史の歩み 磚に

清き流れの 木津川を
見渡す丘の 学び舎に
英知を磨く 若人が
手をとり進む 未来には

清新の意氣 たかまりて

あゝ我が 木津第二中学校

二 友愛の 心豊かに 育くみて

四周の山の ふところで

礼節守る 学び舎に

身体を鍛え 若人が

手をとり進む 未来には

躍進の音 たからかに

あゝ我が 木津第二中学校

郵便番号 619-0224

所在地 京都府木津川市兜台6丁目1番地

電話 (0774) 72-8734

FAX (0774) 72-8736

E-mail kizu2-jhs@kizu.ed.jp

HP・URL <http://www.kizu.ed.jp/kizu2-jhs/>

I 沿革

- 昭和61年4月1日 木津町立木津第二中学校開校（生徒数17名）
62年 3月13日 第1回卒業証書授与式挙行（卒業生5名）
63年11月30日 京都府教育委員会・木津町教育委員会指定教育実践研究発表会
平成元年3月 9日 校歌発表会
6月23日 アメリカ政府派遣高校生大使来校 交流会実施
12月 4日 相楽郡中学校教育研究会指定研究発表
テーマ「国際理解教育」奈良県立高校留学生17名招校
4年 3月 7日 PTA設立総会（PTA発足）
5年 3月25日 新校舎竣工（普通教室9、図書室、第2音楽室、コンピュータ教室各1）
4月 1日 府教育委員会教育実践推進校「指導方法の改善」研究指定
6年 4月 1日 府教育委員会より平成6・7・8年度国際理解教育推進モデル校に指定される。
12月 1日 指導方法の改善「数学科におけるIT」研究発表会
7年10月22日 開校10周年記念式典挙行
8年 2月23日 全国教育美術展学校表彰受賞
9年11月30日 京都府教育委員会より、『さわやか賞』受賞
11年 4月 8日 平成11・12年度京都府統計教育研究指定校指定
12年 4月 1日 障害児学級新設
13年 3月10日 第6回全国環境ポスターコンクール学校賞受賞
4月 1日 スクールカウンセラー活用事業開始
14年12月19日 中学生税に関する作文コンクール学校賞受賞
15年 4月 1日 英語・数学での少人数指導の開始、情緒障害児学級の設置
4月14日 木津町公園都市緑化協会によるビオトープ設置と植樹事業
16年 8月 2日 校内LAN整備
9月 普通教室扇風機設置
17年11月25日 開校20周年記念式典
19年 3月12日 木津川市誕生に伴い、木津川市立木津第二中学校と改称
4月1日～ 平成19年度「キャリア教育実践プロジェクト」（文部科学省地域指定）の「キャリア・スタート・ウィーク」実施校として指定を受ける。（8.23～28 職場体験学習実施2年）
10月11日 内蒙古自治区教育訪問団来校
駐輪場設置
20年 4月 9日 校区再編成に伴い、木津川台小学校区の生徒が入学する。
11月21日 相楽地方中学校教育研究会指定発表「キャリア教育」
11月22日 「キャリア教育」文部科学大臣表彰
23年 3月 駐輪場増設
24年 4月 同志社大学との連携事業（「プロデュース能力」養成プログラムの開発）
5月 プール改装
25年 4月 木津川市立小中学校情報教育研究指定
10月 「木津川市地域で支える学校教育推進事業」木津第二中学校区学校支援本部設置
26年 2月 木津川市立小中学校情報教育研究指定公開授業
5月 木津川市特色ある学校づくり推進校
27年 4月 開校30周年
5月 木津川市特色ある学校づくり推進校
10月 開校30周年式典
28年 4月 特別支援教育充実に係る研究実践校
5月 木津川市特色ある学校づくり推進校
29年 4月 NIE実践指定校
30年 4月 NIE実践指定校

II 教育

令和4年度 学校教育目標

1 めざす生徒像(不变の目的)

『友愛』 他人に思いやりを持ち、ともに高めあう生徒 【社会の創り手となる生徒の育成】

『礼節』 礼儀と節度を守る生徒 【他者を価値のある存在として尊重できる生徒の育成】

『協力』 力を合わせ、よい校風をつくる生徒 【多様な人々と協働できる生徒の育成】

2 学校教育目標(長期経営目標)

生徒一人一人が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら豊かな人生を切り拓く力を育み、社会の創り手となる生徒を育成する。

3 学校経営方針(中期経営目標)

(1) 読解力・思考力・探求力の基盤的学力の定着のための「個別最適化の学び」と「協働的な学び」の実践による生徒の学びに向かう力の育成。

(2) 誰もが自己有用感を感じ、他者と協働できる学校風土の構築による学びに向かう人間性の育成。

4 本年度の指導の重点(短期経営目標)

☆ 「学校に行くのが楽しい」と「そう思う」生徒を70%にする。

☆ 「自分にはよいところがあると思う」と「そう思う」生徒を70%にする。

☆ 「先生は、悩みの相談にのってくれている」と「そう思う」生徒を70%にする。

【具体的方策】

(1) 学校生活の大半の時間を占める授業の、楽しく「わかった、次もがんばる」と思える工夫改善。

- ・評価「C」がつかないためと、「B」から「A」へと伸ばす不断の個別の支援・アドバイス。
- ・全教科による主体的・対話的で深い学びの手法の工夫改善と振り返り活動の充実。
- ・指導と評価の一体化と新学習指導要領に準拠した評価規準・基準(ループリック)の見直し。

(2) 自己有用感(自尊感情)を醸成し、他者を尊重する心の育成。

- ・授業を含むすべての教育活動において、生徒指導の三機能「自己決定の場を与える」「自己存在感を与える」「共感的な人間関係を育てる」ことを意識した取組の徹底。
- ・授業のユニバーサルデザイン化の徹底(番組表使用の徹底)。
- ・生徒の「振り返り」の共有化を図ることでの他者理解の促進。
- ・生徒指導と特別活動が連携した生徒の主体性を育む開発的生徒指導の展開(主に成功体験を主眼として)。

(3) 生徒が「つつみこまれている」感覚が持てる組織体制の充実。

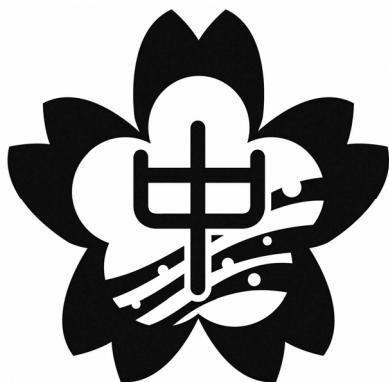
- ・地域の資源や人材を積極的に活用した取組の展開による地域に開かれた学校づくり。
- ・保護者の願いや思いに共感し、生徒に関することは何でも話ができる関係の構築。
- ・教職員自身が「夢が語れる」「魅力ある大人」を目指す不断の努力。
- ・「気づく」「伸ばす」「展望する」「挑戦する」「つながる」力の定期的な自己診断と自己研鑽。
- ・教職員集団の縦横を意識した連携。
- ・人権の尊重と同和教育で培われてきた成果と手法の継承と、障がい特性の理解と生育環境を把握した上で指導ができる特別支援教育を基盤とした学級・学年・学校経営の充実。

5 本年度の研究主題

上記指導の重点を実現するため

- ・「個別最適化の学び」と「協働的な学び」の指導方法と評価の確立に向けた研究と実践。
- ・開発的生徒指導の視点を重視した今日的教育諸課題に対する実践の創意工夫。

木津川市立木津南中学校



木津南中学校校歌

作詞 長澤 秀明
作曲 森本 陽三郎

一 水澄み渡る 木津川の
豊かな流れ 永遠に
古き都に 思いはせ
高き理想を 求めゆく
我らは学ぶ 未来のために
ともに創らん 木津南

二 清風薫る 青い空
白き学舎 堂々と
若人の声 韶き合い
明日への希望 わき上がる
我らは紡ぐ たがいの絆
ともに歩まん 木津南

郵便番号 619-0216
所在地 京都府木津川市州見台四丁目26番地
電話 (0774) 71-0850
FAX (0774) 71-0853
E-mail kizu-m-jhs@kizu.ed.jp
HP・URL <http://www.kizu.ed.jp/kizu-jhs/>



1. 沿革

平成

23. 4. 1 木津川市立木津中学校から分離、開校（4月5日開校式）
京都府学校図書館機能充実推進事業研究指定（4年間）
4. 8 第1回入学式（入学生134名 全校生徒281名 10学級）
24. 1. 18 校歌発表会
3. 14 第1回卒業証書授与式（卒業生 51名）
4. 10 第2回入学式（入学生163名 全校生徒394名 13学級）
9. 13 木津南中学校区「きずなプロジェクト」開設 第1回挨拶運動実施
25. 3. 14 第2回卒業証書授与式（卒業生 97名）
4. 10 第3回入学式（入学生186名 全校生徒484名 16学級）
26. 3. 14 第3回卒業証書授与式（卒業生 136名）
4. 9 第4回入学式（入学生204名 全校生徒511名 18学級）
27. 3. 13 第4回卒業証書授与式（卒業生 164名）
4. 8 第5回入学式（入学生228名 全校生徒618名 19学級）
28. 3. 14 第5回卒業証書授与式（卒業生 185名）
4. 8 第6回入学式（入学生242名 全校生徒673名 21学級）
29. 3. 14 第6回卒業証書授与式（卒業生 206名）
4. 10 第7回入学式（入学生248名 全校生徒717名 22学級）
7. 30 平成29年度京都府中学校総合体育大会 サッカーの部 優勝
8. 19 第48回全国中学校サッカー大会 出場（熊本県）
30. 3. 14 第7回卒業証書授与式（卒業生 226名）
4. 1 京都式チーム学校推進校実践研究指定－事務共同実施－（3年間）
4. 10 第8回入学式（入学生267名 全校生徒755名 23学級）
7. 31 平成30年度京都府中学校総合体育大会 サッカーの部 優勝
8. 17 第49回全国中学校柔道大会 出場（広島県）
31. 3. 14 第8回卒業証書授与式（卒業生 239名）
4. 10 第9回入学式（入学生261名 全校生徒777名 23学級）

令和

- 元. 7. 30 令和元年度京都府中学校体育大会 サッカーの部優勝
8. 8 令和元年度近畿中学校体育大会 サッカーの部 3位入賞
8. 19 第50回全国中学校サッカー大会（奈良県）2回戦進出
2. 3. 13 第9回卒業証書授与式（卒業生248名）
4. 8 第10回入学式（入学生298名 全校生徒829名 24学級）
3. 3. 12 第10回卒業証書授与式（卒業生266名）
4. 8 第11回入学式（入学生306名 全校生徒869名 25学級）
4. 3. 14 第11回卒業証書授与式（卒業生266名）
4. 8 第12回入学式（入学生241名 全校生徒845名 25学級）

2. 教育

(1) 教育目標

主体的に未来を創造し、心豊かでたくましく生きる生徒の育成

(2) 目指す生徒像

- ア 主体的に考え行動する生徒
- イ 強さとしなやかさを持つ生徒
- ウ 目標を持ち、挑戦する生徒
- エ 礼儀と規律を重んじる生徒

(3) 目指す学校像

すべての生徒が「包み込まれているという感覚」を実感できる学校

(4) 学校経営方針

① 学力の充実・向上

- ・「I C T 機器を活用した言語能力の育成～S D G s を軸とした教科横断的・探究的な活動を通して～」を研究テーマとして学力の充実・向上を図る。
- ・学習指導要領を踏まえ、授業規律の徹底と活気のある授業から生まれる確かな学力を育むとともに、指導と評価の一体化の充実に向け実践に取り組む。
- ・基礎、基本の徹底と、それらを活用して課題解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育み、達成感を含めた学習意欲の向上を図る。

② 豊かな人間性の育成

- ・道徳教育、体験活動等を充実させ、主体的な判断ができる自立した生徒の育成を目指す。
- ・人権教育を教育活動全体に位置付け、一人一人を大切にした教育を推進と教職員研修の充実を図る。

③ 信頼できる学校体制の構築

- ・一人一人が安心感と存在感を持てる学級経営を行う。
- ・適切な学校評価を行い、家庭、地域へ発信し説明責任を果たすとともに、期待に応える学校経営を行う。
- ・教科、領域、学校運営に係る研究を重視し、先進的な教育活動の充実を図る。

(5) 本年度の指導の重点

【重点目標 1】質の高い学力をはぐくむ

主体的、対話的で深い学びの実現を目標とした授業改善を実施し、質の高い確かな学力を育む。

- ① I C T を活用した主体的、対話的で深い学びの実現を目指した授業の充実
- ② 家庭学習の充実
- ③ 学ぼう Day の効果的実施
- ④ I C T を活用した言語能力の育成

【重点目標 2】豊かな心と規範意識をはぐくむ

道徳教育や人権教育を教育活動全体に位置付け、道徳的な心情、判断力を養い、人権問題についての正しい理解を通して、課題解決のために行動できる態度を育てる。

- ① 道徳の授業記録の改善と適切な評価の実施
- ② 発達段階に応じた体験活動を含めた人権学習の実践
- ③ 人権教育に係る教職員研修の実施
- ④ 教育相談の充実によるいじめ、問題行動等の未然防止、早期発見・早期対応

【重点目標 3】健やかな身体をはぐくむ

健康で安全な生活を目指し、指導の充実を図る。安心安全な学校づくりに力を入れ、健康・安全・防災に関する取組を進める。

- ① 健康教育・食育の推進と指導内容の充実
- ② 避難訓練を中心とした防災学習の充実
- ③ 生徒の活動を充実し、健康・安全への意識向上を図る。

【重点目標 4】一人一人の個性を伸ばし、社会の形成者としての資質をはぐくむ

望ましい集団活動や体験的な活動を通して、豊かな学校生活を築くとともに、公共の精神を養う。社会性の育成を図ることで、よりよい人間関係を築く力、社会に参画する態度や自治能力の育成を目指す。

- ① 学級において個々の自己有用感を育てる取組の充実
- ② 生徒会・専門委員会・リーダー会活動によるリーダーの育成

【重点目標 5】社会の変化に対応し、未来を確かに生きる力をはぐくむ

知識基盤社会の時代において、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てる。

- ① 自己の生き方や進路について考え、その課題を解決していく実践的態度をはぐくむ内容の工夫
- ② 職場体験学習やそれに代わるキャリア教育などを取り入れた多様な学習の実施
- ③ I C T 活用能力と情報モラルに関する指導の充実

【重点目標 6】魅力ある・信頼される学校・園をつくる

家庭や地域との連携、協力を強め、学校への信頼を高め、地域に開かれた学校作りを進める。

- ① 学校公開や授業参観、H P の内容充実
- ② 職員研修等を強化し教職員のコンプライアンス意識を高める。
- ③ 学校評価の結果を効果的に発信する。

【重点目標 7】地域の力を活かして子どもをはぐくむ

地域コーディネーターとの連携を軸に、地域ぐるみで生徒を育てる。

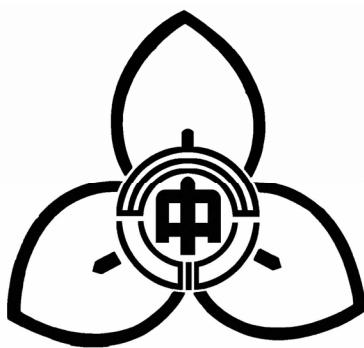
- ① 地域人材を活用した授業等の実施
- ② きずなプロジェクト（あいさつ運動）の充実

【重点目標 8】地域を学び、郷土を大切にする心をはぐくむ

地域を学び、将来の本市を担う生徒を育成する。

- ① 地域の研究機関や企業等とのネットワークづくりを推進する

木津川市立泉州中学校



泉州中学校校歌

作詞 辰己利治
作曲 桜井武雄

一、清き山なみ めぐらせる

恭仁の宮居を まのあたり
おおしくつよく すこやかに

学びにはげむ 若き友
ああ泉州中学に ああ泉州中学に
若き時代の 理想あり

二、山のみどりの かげうつし

泉のながれ たゆるなく
こころを珠と みがきつつ

真理をもとめ つどう友
ああ泉州中学に ああ泉州中学に
とわにかわらぬ 誠あり

三、古くさかえし 三つのさと
あかるき文化 うけつぎて
平和の 基 きづかんと
たがいに睦ぶ 若き日々
ああ泉州中学に ああ泉州中学に
ひかりかがやく 未来あり

郵便番号 619-1142
所在地 京都府木津川市加茂町大野烏田 75 番地
電話 (0774) 76-2101
FAX (0774) 76-8233
E-mail izumi-jhs@kizu.ed.jp
HP・URL <http://www.kizu.ed.jp/izumigawa-jhs/>

1 沿革

- 昭和 22年 5月 3日 京都府相楽郡組合立泉川中学校と校名変更
22年 6月 12日 京都府相楽郡加茂町外2ヶ村組合立泉川中学校と校名変更
23年 5月 12日 泉川中学校育友会結成
23年 7月 30日 木造2階建10教室・便所竣工、運動場整備
25年 5月 18日 木造平屋建5教室・本館・便所竣工
26年 2月 25日 泉川中学校同窓会発足
26年 4月 1日 3町村合併に伴い加茂町立泉川中学校と改称
31年 2月 18日 校旗、校歌生徒会歌制定
31年 9月 28日 特別教室竣工
34年 4月 1日 屋内運動場竣工
38年 6月 29日 米国ウィラード中学校と姉妹校関係成立
39年 11月 26日 国際理解教育研究発表
40年 1月 7日 沖縄山内中学校と姉妹校関係成立
41年 2月 15日 国際理解教育研究優秀校として学校教育賞受賞
41年 3月 9日 国際理解教育碑建設
42年 3月 27日 姉妹校沖縄山内中学校親善訪問
42年 12月 4日 補習学級開設
43年 3月 28日 姉妹校沖縄山内中学校親善訪問
43年 8月 8日 姉妹校沖縄山内中学校生徒本校訪問
44年 3月 31日 普通9教室改築落成
44年 3月 31日 姉妹校沖縄山内中学校親善訪問
44年 4月 1日 障害児学級開設
44年 5月 1日 普通教室改築竣工
45年 3月 31日 姉妹校沖縄山内中学校親善訪問
45年 9月 25日 補習学級で部落問題学習を始める
46年 1月 18日 補習学級を別の地域でも開設
46年 1月 28日 本館（含特別教室）改築竣工
46年 3月 31日 姉妹校沖縄山内中学校親善訪問
46年 6月 7日 2地域の補習学級を隣保館で合同開設
46年 10月 30日 文化祭意見発表会の部で生徒が部落問題を訴える
47年 11月 6日 社会科の中における部落問題認識学習について研究発表
48年 4月 8日 ユネスコ協同学校に指定される
50年 1月 17日 ユネスコ協同学校研究発表
52年 11月 11日 創立30周年記念文化祭
54年 5月 7日 補習学級を児童館で開設
57年 1月 8日 南加茂台より第1回転入生受入れ
57年 9月 1日 校地移転（大字大野）・校舎竣工普通教室12教室・特別教室7教室
58年 8月 22日 水泳プール竣工
59年 3月 19日 普通教室7教室・特別教室、美術、音楽、理科教室3教室竣工
62年 4月 6日 障害児学級を「あすなろ学級」と命名
62年 11月 5日 第24回全国花いっぱいコンクール優秀賞受賞
63年 3月 3日 普通教室3教室・視聴覚室1教室竣工
平成 2年 1月 31日 普通教室6教室竣工
2年 12月 7日 京都府教育委員会指定教育実践推進研究発表（国語科）
5年 3月 1日 泉川中学校育友会を泉川中学校PTAに改称
5年 4月 1日 京都府社会福祉協力校の指定を受ける（5年度～7年度）
5年 9月 1日 コンピュータ教室完成
6年 11月 21日 京都府中学校教育研究会国語部研究大会
8年 2月 1日 府、さわやか賞（奨励賞）受賞

- 8年 11月 28日 相楽郡中学校教育研究会指定研究校研究発表（特別活動を通して）
- 9年 7月 1日 平成9・10年度文部省指定スクールカウンセラー活用調査研究委託事業開始
- 9年 11月 1日 50周年記念式典挙行
- 11年 4月 1日 スクールカウンセラー、（町）心の教室相談員の委託事業開始（文部省）
- 12年 3月 24日 コンピュータ機器入れ替え（教育用）
- 13年 4月 1日 情緒障害児学級を開設
- 15年 10月 28日 京都府中学校教育研究会英語部研究発表会（公開授業）
- 18年 4月 1日 通級指導教室開設
- 19年 3月 12日 木津川市誕生に伴い、木津川市立泉川中学校と改称
- 20年 4月 1日 教育目標を「質の高い教育を目指し健やかな体をつくり、心豊かで確かな学力を持った生徒を育成する」と改訂
- 20年 10月 18日 第55回山城地方中学校駅伝競走大会 男子初優勝（男子41校出場）
- 21年 4月 1日 京都府教育委員会及び京都府山城教育局、木津川市教育委員会「京の子ども、夢・未来校（『ことばの力』育成プログラム開発協力校）」の研究指定を受ける（平成21・22年度）
- 21年 6月 20日 第62回山城地方中学校陸上競技大会 男女総合優勝
- 21年 10月 17日 第56回山城地方中学校駅伝競走大会 男子二連覇（男子41校出場）
- 22年 4月 1日 平成22年度独立行政法人 科学技術振興機構「SPP科学館連携事業指定校」
- 22年 4月 1日 テニスコート（2面）、バレーボールコート（1面）及び学校給食配膳室を新設
- 22年 4月 12日 学校給食開始
- 22年 6月 19日 第63回山城地方中学校陸上競技大会 男女総合優勝
- 22年 12月 7日 「ことばの力」育成プログラム開発協力校研究成果発表会開催
- 23年 4月 1日 京都府教育委員会指定「京の未来創造校」・木津川市教育委員会指定「教育実践推進校」（平成23・24年度）
- 24年 12月 1日 京都府教育委員会指定「京の未来創造校」・木津川市教育委員会指定「教育実践推進校」研究発表
- 27年 4月 1日 相楽地方中学校教育研究会の研究指定を受ける（平成27・28年度）
「学びの仲間づくり」を研究テーマとして質の高い学力の育成をめざす
- 28年 11月 30日 相楽地方中学校教育研究会指定研究校研究発表（テーマ「学びの仲間づくり」）

2 教育目標

(1) 小中一貫教育目標

生きる力をはぐくみ、幸せな未来を拓く生徒の育成

(2) 本校教育目標

未来にきらめき、未来とつながる生徒の育成

ア 「主体的に学び考える力」「多様な人とつながる力」「新しい価値を生み出す力」を備え、かけがえのない生命や基本的人権を尊重する人間性豊かな生徒を育成する。

イ 個性の伸長を図り、基礎学力を充実させ、生涯にわたり主体的に逞しく生き抜く生徒を育成する。

3 目指す生徒像

(1) 小中一貫教育

かしこく(知) やさしく(徳) たのもしく(体)

(2) 本校

ア 「生きる力」の視点

自ら学び考える生徒 自他を大切にする生徒 身体を鍛える生徒

イ 「未来にきらめき、未来とつながる生徒」の視点

自分と向き合おうとする生徒 自分を高めようとする生徒

他者とつながろうとする生徒

4 目指す学校像

「支え合い、高め合い、乗り越え合える学びの集団」

5 目指す教師像

(1) 児童一人一人を深く理解し、寄り添った指導ができるよう、小さな変化にも気づくことができる教師

→子ども理解に努め、子どもの思いを汲み取ることができる教師。

(2) 豊かな人間性と高い専門性に基づく優れた指導力を有し、児童一人一人が豊かな未来を切り拓いていけるよう、それぞれの個性や能力を最大限に伸ばすことができる教師

→楽しく、わかる授業を目指し、授業で勝負できる教師。

(3) 探究心や自律的に学ぶ姿勢を持ち、時代の変化や自らのキャリアステージに応じて求められる資質能力を高めながら、諸課題の解決に向け、挑戦することができる教師

→常に課題を持ち、自らを高める教師。

(4) 他の教職員、保護者や地域社会、多様な専門性を持つ人材と効果的に連携・分担しながら、組織的・協働的に諸課題を解決するため、チームの一員としてつながることができる教師

→多様な集団と関わりながら、課題に向き合える教師。

- (5) 次代を担う人材に必要な学びを提供できるよう、広い視野で時代や社会、環境の変化を的確につかみ取り、未来を展望することができる教師
→教育の動向を把握し、教育課題に対応しようとする教師。

6 学校経営方針

京都府教育振興プラン・学校教育の重点、木津川市教育振興基本計画・学校教育の重点に則り、基礎基本の徹底、個性や能力を伸ばす教育の充実を図るとともに、変化の激しい社会に主体的に対応できる心豊かな生徒の育成

- (1) 生涯にわたり主体的に学んでいける生徒の育成
- (2) 何事にも一生懸命努力する人間性豊かな生徒の育成
- (3) 地域に開かれ、地域とともに成長する学校の創造
- (4) 豊かな人間性と広い社会性、高い専門性を持った教師集団の育成

7 具体の方針

(1) 確かな学力をはぐくむ

- ア これから時代に求められる資質・能力を身につけさせるために「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を充実する。
- イ 学習指導要領に示された目標、内容に基づいた学習指導を展開する。
- ウ 学ぶ楽しさ、基礎学力の定着を実感させる学習指導の確立を図る。
- エ 学力診断テスト等を活用し、客観的な学力の把握と分析を行い、一人一人の学力状況に応じた学習支援及び授業改善を推進する。

(2) 豊かな心と規範意識をはぐくむ

- ア 「特別の教科 道徳」を要として、組織的・系統的及び計画的に道徳教育を推進する。
 - ア) 授業力向上の研修を組織的、計画的に行う。
 - イ) 道徳教育の重点目標に迫る実践を行う。
 - ウ) 別葉を活用し、教育活動と関連した道徳的価値の理解に努める。

- イ 生徒指導の三機能をふまえ、生徒自身が判断しその場にふさわしい適切な言動ができる規範意識の育成及びその充実を図る。
- ウ いじめ、不登校の未然防止に努め、早期発見・早期対応を徹底するとともに、不登校の未然防止と生徒支援及び家庭支援に努める。
- エ 自然に触れる体験活動や文化に親しむ機会を設定し、豊かな感性や情緒をはぐくむ。
- オ 読書に親しむ機会の充実に努める。

(3) 健やかな身体をはぐくむ

- ア 食育の推進を図り、望ましい食習慣の定着を図る。
- イ 薬物等がもたらす健康被害の理解を促し、薬物等への正しい理解を認識させる。
- ウ 事故、災害等から身を守る安全意識をはぐくむ。

(4) 一人一人の個性を伸ばし、社会の形成者としての資質をはぐくむ

- ア 共生社会の実現を目指した人権教育を推進する。
 - ア) 互いの個性や価値観の違いを認め、自分と他者の人権を大切にする教育を推進する。
 - イ) 人権問題について正しい理解と認識を深める人権学習を推進する。
 - ウ) 人権問題を自分自身の課題として捉え、解決に向けて実践する意識、意欲、態度の育成に努める。
- イ 一人一人の自立や社会参加を目指した特別支援教育を推進する。
 - ア) 児童個々の課題に応じた支援の充実を図る。
 - イ) 支援の必要な児童への方策の明確化と改善を図る。
 - ウ) 支援体制と校内委員会の充実を図る。
- ウ 夢を追い求め、将来を展望できるキャリア教育を推進する。
- エ 個に応じた適切な進路指導を図る。

(5) 社会の変化に対応し、未来をたしかに生きる力をはぐくむ

- ア 確かな学力を身につけさせるために、ＩＣＴ機器等の活用を推進する。
- イ 情報モラルの向上を図る指導を推進する。
- ウ 環境問題や環境保全についての理解と実践力をはぐくむ。

(6) 魅力ある・信頼される学校をつくる

- ア 学校の組織力と教職員の資質向上のための研究・研修に努める。
- イ カリキュラム・マネジメントの充実に努める。
 - ア) 学校教育目標の実現に向けて、すべての教職員が校務分掌に基づいた役割を分担しつつ、相互に連携しながらカリキュラム・マネジメントを行う。
- ウ 地域とともにある学校づくりに向けた取組を推進する。
- エ 校区内の小学校と連携を図り、連続性を重視した教育活動を推進する。
- オ 安全・安心なよりよい教育環境の整備に努める。
 - ア) 安全管理や危機管理への対策を徹底する。
 - イ) 危機対応能力を身につけさせるための安全教育を推進する。

(7) 地域の力を活かして子どもをはぐくむ

- ア 「木津川市地域で支える学校教育推進事業」等を適切に活用する。
- イ 保護者を巻き込んだ教育活動に努める。

(8) 地域を学び、郷土を大切にする心をはぐくむ

- ア 地域に貢献する態度をはぐくむために、地域資源を活用した教育活動を推進し、年間計画に適切に取り入れる。

木津川市立山城中学校



山城中学校校歌

作曲 中中原谷
都志津枝

一 山城平野ひろがりて

学びの園にしののめの
希望の星はまたたけり
仰ぐひとみに青春の
もゆるいのちは輝きぬ
我等が山城中学校

二 遠山なみに雲なびき
朝日夕日の照りはゆる

歴史におう我が里よ
輝く伝え生かしつつ
新たなる理想めざしゆく
我等が山城中学校

三 泉の川の水きよき

平和の姿たたえつつ
小やむときなく流れゆく
いざや友垣手をとりて
ともに睦ばむとこしえに
我等が山城中学校

郵便番号 619-0205

所在地 京都府木津川市山城町椿井柳田 33 番地

電話 (0774) 86-2001

F A X (0774) 86-5381

E-mail yama-jhs@kizu.ed.jp

HP・URL <http://www.kizu.ed.jp/yamashiro-jhs/>

1 学校の沿革

| | |
|---------|---|
| 昭和22年5月 | 上狛町・高麗村・棚倉村組合立上狛中学校として開校 |
| 22年8月 | 校章制定 |
| 22年10月 | 上狛中学校育友会結成 |
| 23年7月 | 新校舎移転 2階建10教室竣工 |
| 23年7月 | 体育後援会の結成 |
| 24年12月 | 上狛中学校同窓会の結成 |
| 25年5月 | 本館棟並びに平屋建5教室竣工 |
| 27年1月 | 組合立山城中学校と校名を変更 |
| 31年8月 | 上狛町・高麗村・棚倉村の町村合併により山城町と命名され、それに伴い山城町立山城中学校と校名を変更 |
| 32年2月 | 校歌制定（作詞中谷志津枝氏・作曲中原都男氏） |
| 34年10月 | 体育館（鉄筋コンクリート造）竣工（549m ² ） |
| 37年3月 | 技術科教室完成（147m ² ） |
| 38年2月 | 文部省指定産業教育研究発表会 |
| 42年4月 | 完全給食開始 |
| 42年6月 | NHK学校放送指定校となる（テレビ視聴） |
| 45年3月 | 鉄筋コンクリート3階建 普通教室(9)の竣工 |
| 46年3月 | 〃 〃 特別教室(6)・準備室(4)の竣工 |
| 47年3月 | 〃 〃 管理室・図書室・視聴覚教室・会議室等の竣工 |
| 48年3月 | 校庭拡張・整備竣工（3,647m ² ） |
| 49年5月 | 技術科教室新築（198m ² ） |
| 51年3月 | 格技室の完成（旧技術科室の改修により） |
| 51年8月 | 自転車置場の完成 防球ネット完成（南側） |
| 53年3月 | 創立30周年記念にクラブボックスの完成（育友会より） |
| 59年3月 | 鉄筋コンクリート2階建（地下倉庫） 普通教室(4)の増築竣工 |
| 59年4月 | 京都府社会福祉協力校指定（3ヵ年） |
| 60年7月 | 京都府中学校陸上競技選手権大会 男子総合準優勝 女子総合優勝 |
| 61年11月 | 府・日本体育学校保健センター指定健康安全教育研究実践発表会 |
| 63年10月 | 第43回国民体育大会 京都国体開催 山城町会場（成年女子ソフトボール） |
| 平成元年11月 | 文部省指定教育実践推進校 道徳教育研究発表会開催 |
| 9年10月 | 創立50周年記念式典開催（記念誌「わかば」発行） |
| 11年7月 | 大規模改造工事（I期・耐震） |
| 12年7月 | 大規模改造工事（II期・耐震） |
| 13年2月 | コンピュータ新機種の導入 |
| 14年4月 | 京都府教育委員会 環境教育推進校「京のエコスクール」（2ヵ年）指定 |
| 15年2月 | 第3回世界水フォーラム関連イベント「身近な川の生物調査を通じて、水辺環境の保全を考える」シンポジウム発表（於：京都テルサ） |
| 15年4月 | 財団法人 省エネルギーセンター「省エネルギー教育推進モデル校」（3ヵ年）指定 |
| 15年11月 | 京都府教育委員会 環境教育推進校「京のエコスクール」研究発表会開催 |
| 15年11月 | 平成15年度優良PTA文部科学大臣表彰受賞（於：東京ホテルニューオオタニ） |
| 16年2月 | 平成15年度省エネ学習事例発表全国大会発表（於：東京パナソニックセンター） |
| 16年4月 | 通学服をプレザー等に変更 |
| 16年6月 | 財団法人 社会経済生産性本部エネルギー環境教育情報センター「エネルギー教育実践校」（3ヵ年）指定 |
| 16年11月 | 社団法人 食品容器環境美化協会「第5回環境美化教育最優秀賞 文部科学大臣奨励賞」受賞 |
| 16年12月 | 財団法人 省エネルギーセンター「省エネ共和国」建国 |
| 17年2月 | サンケイ新聞写真ニュースセンター「第1回学校自慢エコ大賞 中学校部門エコ大賞」受賞 |
| 18年10月 | 体育館竣工式 |
| 19年3月 | 日本エネルギー環境教育学会「第2回シンポジウム」発表（於：東京パナソニックセンター） |
| 19年3月 | 木津川市誕生に伴い、木津川市立山城中学校と改称 |
| 20年4月 | 文部科学省「公立中学校運動部活動振興事業」に指定 |
| 21年4月 | 独立行政法人科学技術振興機構「サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト(SPP)」事業に採択 |
| 21年4月 | 相楽地方中学校教育研究会より平成21,22年度研究校に指定 |
| 22年4月 | 独立行政法人科学技術振興機構「サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト(SPP)」事業に採択 |
| 22年12月 | 相楽地方中学校教育研究会指定発表「質の高い学力の育成とその基盤となるコミュニケーション能力の育成」 |
| 23年2月 | 文部科学省委託「栄養教諭を中心とした食育推進事業」研究発表 |
| 23年4月 | 独立行政法人科学技術振興機構「サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト(SPP)」事業に採択 |
| 24年3月 | 平成23年度交通安全優良校表彰 |
| 26年4月 | 独立行政法人科学技術振興機構「サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト(SPP)」事業に採択 |
| 27年4月 | 京都府教育委員会「NIE実践指定校」に指定 |
| 28年10月 | 創立70周年記念式典開催（高岡寿成氏による記念講演） |
| 29年4月 | 中高生の科学研究実践活動推進プログラム（科学技術振興機構）研究指定 |
| 31年4月 | 木津川市「特色ある学校づくり推進事業」平成31(令和元)年度・令和2年度の2年間の研究指定 |
| 令和4年4月 | 木津川市「特色ある学校づくり推進事業」令和4年度の研究指定 |

2 教育

(1) 学校教育目標

深く考え、明るく強く心豊かな生徒の育成

【めざす生徒像】

- ア 自ら学ぶ意欲をもち、深く考える生徒
- イ 豊かな心と協調性をもつ生徒
- ウ 強い心身とたくましい実践力を備えた生徒

(2) 学校運営方針

上記の目標を達成するため、「京都府教育振興プラン」や「木津川教育振興基本計画～生きる力をはぐくみ 新しい時代を拓く“きづがわっ子”を目指して～」、また、「学習指導要領」等に即して、地域の実態に合わせた創意ある教育計画を立案し、生徒・教職員が一体となった学校づくり、特色ある教育活動を推進する。そのため、教職員は教育公務員としての使命と責任を自覚し、不断の研鑽と教職員評価の活用などを通して資質能力の向上に努める。

また保護者や地域社会との連携を深め、地域の力を活用することにより開かれた学校教育を推進し、信頼される学校づくりに努める。

- ア 確かな学力の育成と個性や能力の伸長を図る教育を推進する。
- イ 豊かな人間性の育成と健康や体力の向上を目指した教育を推進する。
- ウ 教職員の資質能力の向上を図る研修や取組を充実させる。
- エ 日常の点検活動を重視した、安心・安全な教育環境づくりを充実させる。
- オ 地域のよさや保護者の願いを取り入れた教育を充実させる。
- カ 教職員の働き方改革の実行により、良好な教育環境づくりを充実させる。

(3) 重点目標

① 確かな学力の育成

- ア 主体的対話的で深い学びの実現による確かな学力の育成と、生徒相互のつながりの教科を目指す学び合い学習「山中カルテット」を推進する。そのための授業研究・研修を展開する。
- イ 3年目を迎える「木津川市特色ある学校づくり推進事業」指定による研究活動や、小中連携等の諸取組の推進を通し、指導方法の工夫改善を推進する。
- ウ 学力診断テストの分析結果などを活用し、諸指導計画等の検証改善を推進し、組織的な指導体制のもと、生徒個々の学力向上につなげる。
- エ 組織的な個に応じた指導と家庭との連携の推進により、主体的な学習意欲の高揚と、学習習慣の確立を図る。

② 豊かな人間性とたくましく健やかな身体の育成

- ア 「特別の教科 道徳」の指導と評価、また、人権学習や情報モラルの学習等、校内の豊かな心の育成に関わる教育活動の改善、指導力向上を進める。また、そのための教職員研修の充実を図る。
- イ 「総合的な学習の時間」等を利用したふるさと学習を充実させ、自己肯定感の涵養の一助とし、郷土愛をはぐくみ未来へ継承する教育を推進する。
- ウ 朝読書の充実を軸にした、読書活動の推進を図る。
- エ 「一生懸命が格好いい」と胸張れる、意欲的な日々の生活、また、「仲間とともに」学び合い、感動を分かち合う学校生活の構築のための指導をより充実させる。
- オ 必要な生徒への支援を組織的に進める特別支援と教育相談の体制の構築を図る。

③ 地域の信頼を高める学校づくり

- ア 学校評価等を活用し、積極的な情報提示、学校公開と説明責任の徹底を図る。
- イ 文書管理の徹底、及び、守秘義務、服務規律の遵守、また、危機管理意識の高揚により、一層安心安全な学校生活の構築を推進する。
- ウ 地域で支える学校教育推進事業の活用を推進する。
- エ 教職員の働き方改革の実行により、良好な教育環境づくりを充実させる。

(4) 具体的実践計画

| 努 力 点 | 実 践 事 項 |
|-------------------------|---|
| 1 確かな学力の育成 | <p>(1) 「山中カルテット」の活用の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 授業研究を中心とした、学び合いを活かした教職員研修の充実 ② 主体的な学習意欲を促進させる、対話的な授業スタイルの研究の推進 ③ 「共有課題」「ジャンプ課題」の工夫の研究の推進 <p>(2) 授業研究、研修の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 3年目を迎える「木津川市特色ある学校づくり推進事業」指定による積極的な授業研究の実施と先進校等での研修への参加 ② 小中連携の積極的な活用と、センター出前講座等（指導主事、大学教員等の指導助言など）の活用 (3) 諸テスト等の分析結果等を生かした、諸指導の検証改善による学力向上の取組の推進 (4) 「山城中学校のしおり」の授業マナー・ルールに関わる記述等に基づく、組織的な指導の推進 (5) 個に応じた指導の推進 <ul style="list-style-type: none"> ① 「マイスター」（終学活学習）の充実 ② 「学習支援配置事業」「ステップアップ学習」等の活用の促進 ③ 家庭学習の内容や方法を充実させる指導の充実 ④ 家庭と連携した学習習慣確立のための指導の推進 |
| 2 豊かな人間性とたくましく健やかな身体の育成 | <p>(1) 豊かな人間性を育成する教育実践の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 人権学習など自他の命と人間の尊厳に関わる学習の充実と、いじめ防止の諸指導の徹底 ② 「特別の教科 道徳」の指導と評価をはじめとした教職員研修の充実 ③ 食育の取組など健康な生活習慣の確立 <p>(2) 「総合的な学習の時間」等を利用したふるさと学習の充実</p> <p>(3) 朝読書の充実を軸にした読書活動の推進</p> <p>(4) 必要な生徒への支援を組織的に進める特別支援と教育相談の体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 若竹学級生徒及び、通常学級の支援の必要な生徒への組織的な特別支援教育の推進 ② 個々の生徒理解のための教育相談活動の活性化 ③ 生徒理解と有効な指導のための情報の整備 <p>(5) 「一生懸命が格好いい」と胸張れる、意欲的な生活の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 「山城中学校のしおり」の徹底 ② 「時間」「掃除」「あいさつ」など基本的行動の徹底 <p>(6) 仲間とともに学び合い、仲間とともに感動を分かち合う学校生活の構築</p> |

| | |
|------------------|--|
| 3 地域の信頼を高める学校づくり | <ul style="list-style-type: none"> (1) 積極的な情報提示、学校公開と説明責任 <ul style="list-style-type: none"> ① 保護者の立場に立った教育推進 ② 学期に一回以上の、保護者との直接会話の実行 (2) 文書管理、守秘義務、服務規律の徹底 (3) 危機管理意識の高揚による、安心安全な学校生活の構築 (4) 地域で支える学校教育推進事業の活用 <ul style="list-style-type: none"> ① 地域人材等の積極的活用 ② 福祉やボランティア活動等による地域貢献 (5) 教職員の働き方改革に沿った良好な教育環境づくりの推進 |
|------------------|--|

(5) 研究テーマ

「学び合い」を活かした教師力向上の取組
 一 フィジカルディスタンスを取り入れながらの学び合いで、
 どのように生徒と生徒をつなげていくか 一
 (市「特色ある学校づくり推進事業」R04. 4 ~)